



**BMW
MOTORRAD**

RIDER'S MANUAL

F 900 R



MAKE LIFE A RIDE

モーターサイクルデータ

モデル

車両識別番号

カラー

初度登録

ライセンスプレート

ディーラーデータ

アフターサービス担当者

氏名

電話番号

ディーラー所在地／電話(スタンプ)

BMWの世界へようこそ。

BMW Motorradをご購入いただき、ありがとうございます。世界中で多くの熱狂的なファンを持つBMW Motorradのライダーの一員となられたことを、心から歓迎いたします。あらゆる交通状況のなかで、安全にライディングを楽しんでいただくためには、購入された新規車両をよく理解し、親しんでいただくことが大切です。

本書について

新しいBMW モーターサイクルを使用される前に、まず本書をお読みください。本書には、BMW モーターサイクルを操作し、あらゆる機能を十分に活かすための情報が掲載されています。

また、ライダーの安全やモーターサイクルの信頼性を確保し、愛車の価値を末永く維持するための整備とお手入れに関する情報が掲載されています。

将来、もしご使用のBMW モーターサイクルを売却される場合には、本書も一緒にお渡しくださいますようお願いいたします。本書は、本車両にとって重要な構成部品のひとつです。

BMW と共に、安全で快適なライディングをお楽しみください。

BMW Motorrad.

01 一般的な情報	2	04 取扱方法	46
全体図	4	イグニッションスイッチ	
記号と意味	4	／ステアリングロック	48
装備	5	Keyless Ride によるイグ	
仕様(諸元)	5	ニッション	49
本書の記述について	6	電子式エンジン始動ロッ	
補足情報	6	クシステム(イモビライ	
認証および運転許可	6	ザー) (EWS)	53
データ処理について	6	イグニッションキルス	
		イッチ	54
02 全体図	12	ライト	54
左側面	14	ハザードランプ	55
右側面	15	ウインカー	56
シート下	16	トラクションコントロー	
左コンビネーションス		ル(ASC/DTC)	57
イッチ	17	電子調整式サスペンショ	
右コンビネーションス		ン(D-ESA)	58
イッチ	18	走行モード	60
メーターパネル	19	走行モードPRO	63
		クルーズコントロール	64
03 表示	20	Laptimer	66
インジケーター／警告灯	22	シフトポイント用フラッ	
TFT ディスプレイ		シュ	68
(Pure Ride 画面)	23	盗難警報装置(DWA)	69
TFT ディスプレイ(メ		グリップヒーター	72
ニュー画面)	24	シート	72
TFT ディスプレイのSport		05 TFT ディスプレイ	74
1 画面	25	一般的な情報	76
TFT ディスプレイのSport		原理	77
2 画面	26	Pure Ride 画面	83
警告表示	27	一般的な設定	84
		Bluetooth	86
		My Motorcycle	89
		オンボードコンピュー	
		ター	92

ナビゲーション	92	08 技術情報	128
メディア	94	一般的な情報	130
電話	95	アンチロックブレーキシステム(ABS)	130
ソフトウェアバージョンを表示する	96	トラクションコントロール(ASC/DTC)	133
ライセンス情報を表示する	96	エンジンブレーキトルクレギュレーター	134
06 調整	98	Dynamic ESA	135
ミラー	100	走行モード	136
ヘッドライト	100	ダイナミックブレーキコントロール	138
クラッチ	101	ギヤシフトアシスト	139
ブレーキ	102	アダプティブヘッドライト	140
スプリングプリロード	102		
ショックアブソーバー	103		
07 走行	106	09 メインテナンス	142
安全に関する注意事項	108	一般的な情報	144
定期点検	111	ツールキット	144
始動	112	サービスツールキット	145
慣らし走行	116	フロントホイールスタンド	145
ギヤチェンジ	117	ド	146
シフトポイント用フラッシュ	118	リヤホイールスタンド	146
ブレーキ	118	エンジンオイル	148
駐車	120	ブレーキシステム	148
給油	121	クラッチ	153
モーターサイクルを搬送用に固定します	126	クーラント	154
		タイヤ	155
		ホイールリム	156
		ホイール	156
		チェーン	167
		ライトバルブ	170
		ジャンプスタート	170
		バッテリー	172
		ヒューズ	175
		診断コネクタ	177

10 アクセサリー	178	性能	210
一般的な情報	180		
電源ソケット	180	13 サービス	212
ソフトケース	181	リサイクル	214
トップケース	182	BMW Motorrad サービス	215
ナビゲーションシステム	184	BMW Motorrad サービス履 歴	216
11 お手入れ	190	BMW Motorrad モビリティ サービス	216
ケア用品	192	メンテナンス作業	216
洗車	192	メンテナンススケ ジュール	218
損傷しやすい車両部品の お手入れ	193	メンテナンスの確認	219
ペイントのお手入れ	194	一般整備記録	231
保護コーティング	195		
長期保管	195	付録	234
モーターサイクルの再使 用	195	電子式エンジン始動ロッ クシステム(イモビライ ザー)に関する認証	235
12 テクニカルデータ	196	キーレスエントリーに関 する認証	238
トラブルシューティング	198	タイヤ空気圧コントロー ルに関する認証	242
ねじ止め部	200	TFT メーターパネル用認 証	243
燃料	202		
エンジンオイル	202	索引	246
エンジン	203		
クラッチ	203		
ギヤボックス	204		
リヤホイールドライブ	204		
フレーム	205		
サスペンション	205		
ブレーキ	206		
ホイールとタイヤ	206		
電装系	207		
盗難警報装置	208		
寸法	209		
重量	210		

一般的な情報

01


全体図	4
記号と意味	4
装備	5
仕様(諸元)	5
本書の記述について	6
補足情報	6
認証および運転許可	6
データ処理について	6


4 一般的な情報


全体図


本書の第2章には、ご使用になれるモーターサイクルの全体図があります。「サービス」の章には、実施されたメンテナンスおよび修理作業がすべて記録されます。保証期間が満了した後で修理や点検を依頼される場合に、それまで定期的に整備されていたことが必要条件になります。Rider's Manual は、モーターサイクルにとって重要な構成部品のひとつです。将来、もしご使用のBMW モーターサイクルを売却される場合には、本書も一緒にお渡しくさせていただきますようお願いいたします。


記号と意味

 **注意** リスクレベルの低い危険にさらされます。回避しないことにより、軽度または中程度の怪我や損傷に至るおそれがあります。

 **警告** リスクレベルが中程度の危険にさらされます。回避しないことにより、死亡または重傷を負ったり、重度の損傷に至るおそれがあります。

 **危険** リスクレベルの高い危険にさらされます。回避しないことにより、死亡または重傷を負ったり、重度の損傷に至ります。

 **重要事項** 特別な注意事項および予防処置。回避を怠ると車両や装備品の損傷を招き、保証の対象外になる可能性があります。

 モーターサイクルの制御、点検、調整などの手順に関する個々の情報と、お手入れについての一般的な情報を示します。

- 作業内容の指示を示します。
- » 作業の結果を示します。
- ➡ 説明のある参照ページを示します。

◁ アクセサリーや装備に関する情報の末尾を示します。



締付けトルク。



仕様(諸元)。

LA 国別仕様。

OE オプション装備
BMW Motorrad オプション装備は、モーターサイクルの製造時に工場で装着されます。

OA	アクセサリー BMW Motorrad アクセサ リーのご購入および 取り付けにつきましては、BMW Motorrad ディー ラーにて承ります。
ABS	アンチロックブレーキ システム。
D-ESA	電子調整式サスペン ション。
DTC	ダイナミックトラク ションコントロール。
DWA	盗難警報装置(DWA)。
EWS	電子式イモビライ ザー。
RDC	タイヤ空気圧コント ロール。

装備

BMW Motorrad のご購入に際しましては、それぞれお選びいただいたご希望の装備が装着されたモデルとなっています。本書では、BMW がご用意しているオプション(OE) および選択したアクセサリー(OA) について説明しています。そのため、ご使用のモーターサイクルには装着されていない装備についての説明が含まれている場合がございますことをご了承ください。同様に、国別の仕様により、図示されているモー

ターサイクルと異なる場合があります。ご使用のモーターサイクルに、本書に記載されていない装備が含まれている場合には、別途ある個別の説明書の記載をご参照ください。

仕様(諸元)

本書に掲載されている寸法、重量、性能に関する情報はすべて、DIN (ドイツ工業規格) およびその許容差規定に基づいて表記されています。

本取扱説明書のテクニカルデータと仕様は基準として参照してください。選択されたオプション装備、国別仕様または各国の測定方法などの理由により、モデル別のデータは本書と異なることがあります。詳細データについては自動車登録証でご確認いただけます。あるいは、BMW Motorrad ディーラー、その他の認定サービスパートナー、または専門の整備工場にお問い合わせください。車検証のデータが常にこの取扱説明書のデータより優先されます。

6 一般的な情報

本書の記述について

BMW Motorrad の高い安全性および品質は、デザイン、装備、アクセサリーに関する絶え間ない開発によって支えられています。そのため、本書の記述が実際のモーターサイクルとは異なる場合があります。また、BMW Motorrad はそのような誤りを完全に排除することはできません。したがって、記載内容や図、説明について責任を負いかねる場合がありますことをご理解くださいますようお願い申し上げます。

補足情報

BMW Motorrad ディーラー

BMW Motorrad ディーラーはいつでもご質問にお答えします。

インターネット

車両の Rider's Manual、アクセサリーの操作および取付説明書、技術関連情報など、BMW Motorrad に関する一般的な情報については、bmw-motorrad.com/manuals をご覧ください。

認証および運転許可

車両の認証およびアクセサリーに関する官庁の使用許可については、bmw-motorrad.com/certification でご確認くださいませ。

データ処理について

概要

車両にはコントロールユニットが取り付けられています。コントロールユニットは、データを車両センサーから受信したり、自身で生成または交換するなどの処理を行います。いくつかのコントロールユニットは車両の安全機能に必須であったり、ドライビングアシスタントシステムなどのように走行をサポートしたりします。さらにコントロールユニットはコンフォート機能やインフォテイメント機能を可能にします。

保存または転送されたデータの取り扱いに関する情報は、車両メーカーの個別カタログなどで得ることができます。

個人特定

各車両には一義的な車両識別番号が付けられています。国に応じて、車両識別番号、ライセンスナンバープレートおよび該当官庁により車両所有者を特定することができます。さらに、使用

した ConnectedDrive アカウ
ントなどにより車両で集められた
データによってライダーや車両
所有者を特定することもできま
す。

データ保護法

車両使用者は有効なデータ保護
法にしたがい、メーカーや個人
データを収集または処理する企
業に対して特定の権利を有しま
す。

車両使用者は、車両使用者の個人
データを保存する機関に対して
無償および包括的な情報開示請
求権を有します。

この機関とは次のようなものが
あります：

- 車両メーカー
- 認定サービスパートナー
- 専門の整備工場
- サービスプロバイダー

車両使用者はどの個人情報が入
保存され、どのような目的でその
データが利用され、どこに由来す
るのか、についての情報を請求す
ることができます。これらの情
報を請求するには、所有または使
用証明が必要です。

情報開示請求には他の企業や機
関に転送されたデータに関する
情報も含まれます。

車両メーカーのウェブページに
は、有効なデータ保護に関する
注意事項が記載されています。
このデータ保護に関する注意事

項には、データの削除や訂正を行
う権利についての情報も含まれ
ます。車両メーカーはインター
ネットでも、連絡先データやデー
タ保護委託会社の問い合わせ先
を記載しています。

車両所有者はBMW Motorrad デイ
ラーまたはその他の認定サー
ビスパートナー、専門の整備工場
において車両に保存されたデー
タを有償で読み出すことができ
ます。

車両データの読み出しは、法的に
定められた車載コンピューター
診断装置(OBD) 用ソケットから行
います。

データ開示請求のための法的要件

車両メーカーは有効な法の範囲
内で、保存されているデータを官
庁に提供する義務があります。
必要範囲のデータ提供は、犯罪証
明など個別のケースで行われま
す。

国の機関は有効な法の範囲内で、
個別のケースにおいてその機関
でデータを車両から読み出す権
利を有します。

車両の作動データ

車両を作動させる際、コントロー
ルユニットがデータを処理しま
す。

例えば以下が含まれます：

8 一般的な情報

- ホイール回転数、ホイール回転速度、動作遅延などの、モーターサイクルおよびその個々のコンポーネントのステータスメッセージ
- 温度などの環境状況

処理データは車内でのみ処理され、通常は揮発性データです。このデータは作動時間外にはメモリーされません。

コントロールユニットなどの電子部品は、技術情報を保存するためのコンポーネントを含みます。これは車両状態や部品への負荷、イベント、エラーに関する情報を一時的または長期的にメモリーすることができます。これらの情報は一般に、以下のようなコンポーネント、モジュール、システム、および環境の状態を示すものです：

- システムコンポーネントの作動状態、例えば充填レベル、タイヤ空気圧など
- 重要なシステムコンポーネントの機能異常、故障、例えばライトおよびブレーキ
- 特別な走行状況での車両の反応、例えばドライビングスタビリティコントロールの作動
- 車両損傷の状況に関する情報

これらのデータはコントロールユニット機能の実行に必要なです。さらにこれらのデータは機能不良の検出と解消、車両メー

カーによる車両機能の最適化に使用されます。

これらのデータの大部分は揮発性であり、車両自体でのみ処理されます。一部のデータのみ、状況に応じてイベントまたはディフェクトメモリーに保存されません。

例えば修理作業、サービスプロセス、保証、品質保証などでサービス業務が要求される場合、車両からこれらの技術的な情報と車両識別番号を読み出すことができます。

情報の読出しはBMW Motorradディーラーまたはその他の認定サービスパートナーあるいは専門の整備工場で行うことができます。読出しには、法律で規定された車載コンピューター診断装置(OBD)用ソケットを使用します。

データはサービスネットワークの各拠点で集計、処理、利用されます。このデータは車両の技術的な状態を記録し、故障の発見や補償義務および品質改善の遵守のために使用されます。

さらにメーカーは製造物責任法により製品監視義務を担っています。この義務を果たすために、車両メーカーは車両からの技術的なデータを必要とします。これに加えて、車両からのデータは顧客からの補償および保証要求の検査にも使用されます。

車両のエラーおよびイベントメモリーは、BMW Motorrad ディーラーまたはその他の認定サービスパートナーあるいは専門の整備工場において修理またはサービス作業の範囲でリセットすることができます。

データ入力と車両へのデータ転送

概要

装備に応じて、コンフォート設定および個人設定を車両にメモリーし、いつでも変更することができます。

例えば以下が含まれます：

- ウインドシールド位置の設定
- サスペンション設定

例えばスマートフォンを介して、データを車両のエンターテイメントおよび通信システムに送信することができます。

これは装備に応じて異なります：

- 再生用音楽などのマルチメディアデータ
- ナビゲーションシステムまたは内蔵のナビゲーションシステムと接続して利用されるアドレス帳データ
- 入力された目的地
- インターネットサービスの利用に関するデータ。これらのデータは車両にローカルでメモリーすることができます。あるいはスマートフォン、USB メモリー、

MP3 プレーヤーなど、車両と接続された機器に入っています。これらのデータを車両にメモリーした場合は、いつでも削除することができます。

これらのデータを第三者へ転送することは、オンラインサービスの利用の枠組みにおいて個人の希望に基づいてのみ行われます。これはサービス利用時の希望設定によって異なります。

モバイル端末機器の接続

装備に応じて、スマートフォンなど、車両と接続されたモバイル端末機器を車両の操作エレメントにより制御することができます。

その場合、モバイル端末機器の画像と音声をマルチメディアシステムを介して出力することができます。同時に、モバイル端末機器に特定の情報が伝送されません。接続方式によって、位置データとその他の一般車両情報などがこれに含まれます。これにより、ナビゲーションや音楽再生など、選択したアプリを最適に利用することができます。

その他のデータ処理の方式は、使用される各アプリのプロバイダーによって規定されます。可能な設定の範囲は、各アプリとモバイル端末機器のオペレーティングシステムにより異なります。

10 一般的な情報

サービス

概要

車両が無線ネットワークを使用する場合、車両とその他のシステム間でのデータ交換が可能となります。無線ネットワークは、車両固有の送受信ユニットにより、または個人的に使用するスマートフォンなどのモバイル端末機器を介して実現されます。この無線ネットワークを介していわゆるオンライン機能を利用することができます。これには、車両メーカーまたは他のプロバイダーによって提供されるオンラインサービスやアプリが含まれます。

自動車メーカーのサービス

自動車メーカーのオンラインサービスの場合、各機能の説明は取扱説明書やメーカーのウェブページなど適切な箇所にあります。そこには、関連するデータ保護法の情報も記載されています。オンラインサービスを利用する際には、個人に関するデータが使用されることがあります。データ交換は、例えば車両メーカーの専用 IT システムとの安全な接続を介して行われます。サービス提供の範囲を超える個人データの収集、処理、利用は、法律による許可、契約による取決め、または同意に基づいてのみ行われます。また、全てのデータ接続をオンまたはオフにすること

もできます。法で定められた機能については除外されます。

他のプロバイダーのサービス

他のプロバイダーのオンラインサービスを利用する場合、これらのサービスはその都度該当するプロバイダーの責任ならびにデータ保護条件および利用条件の下で行われます。その際に交換される内容に対し、車両メーカーは何ら影響を与えません。第三者のサービス範囲における個人データの収集および処理の方法、範囲、目的についての情報は、該当するサービスプロバイダーにお問い合わせください。

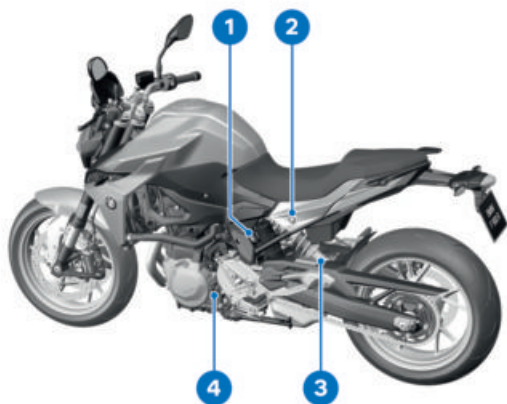
全体図

02

左側面	14
右側面	15
シート下	16
左コンビネーションスイッチ	17
右コンビネーションスイッチ	18
メーターパネル	19

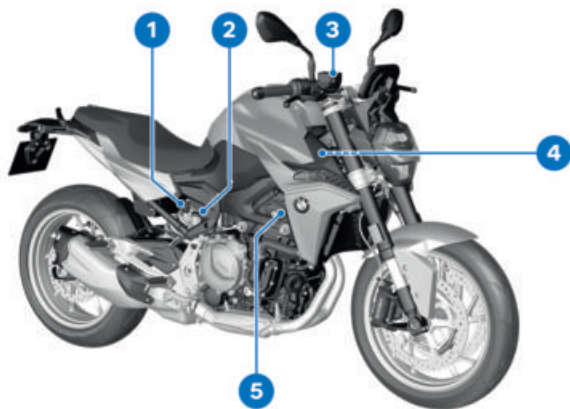
14 全体図

左側面



- 1 電源ソケット (☞ 180)
- 2 シートロック (☞ 72)
- 3 ショックアブソーバーの調整 (☞ 103)
- 4 オイル注入口とオイルレベルゲージ (☞ 146)

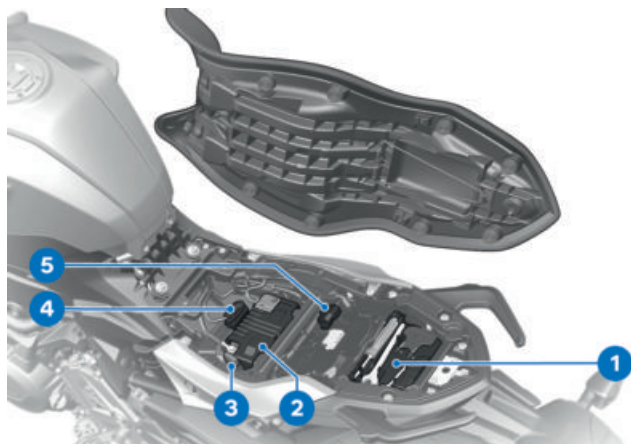
右側面



- 1 スプリングプリロードの調整 (▶▶▶▶ 102)
- 2 リヤブレーキフルードリザーバータンク (▶▶▶▶ 152)
- 3 フロントブレーキフルードリザーバータンク (▶▶▶▶ 150)
- 4 車両識別番号、型式プレート(ステアリングヘッドのところ)
- 5 クーラントレベル表示(サイドフェアリングの後ろ側) (▶▶▶▶ 154)

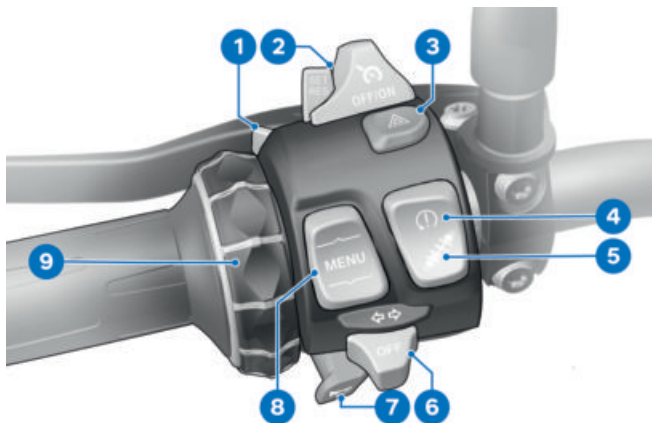
16 全体図

シート下



- 1 ツールキット (▶▶▶ 144)
- 2 バッテリー (▶▶▶ 172)
- 3 メインヒューズ (▶▶▶ 175)
- 4 診断コネクタ (▶▶▶ 177)
- 5 ヒューズ (▶▶▶ 176)

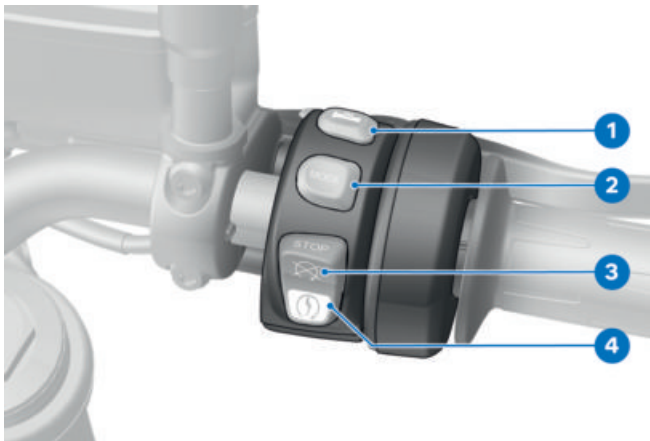
左コンビネーションスイッチ



- 1 ハイビームとパッシングライト (☞ 55)
- 2 クルーズコントロール (☞ 64)
- 3 ハザードランプ (☞ 55)
- 4 ASC/DTC (☞ 57)
- 5 Dynamic ESA (☞ 58)
- 6 ウインカー (☞ 56)
- 7 ホーン
- 8 MENU ロックスイッチ (☞ 77)
- 9 Multi-Controller 操作エレメント (☞ 77)

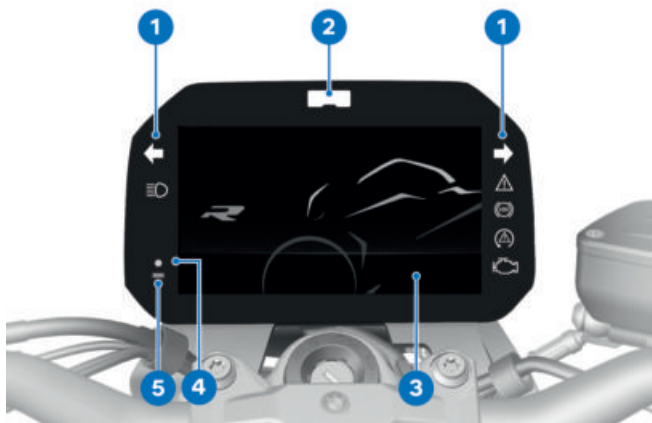
18 全体図

右コンビネーションスイッチ



- 1 グリップヒーターの操作 (▶▶▶ 72)
- 2 走行モードを選択する (▶▶▶ 61)
- 3 イグニッションキルスイッチ (▶▶▶ 54)
- 4 スターターボタン (▶▶▶ 112)

メーターパネル



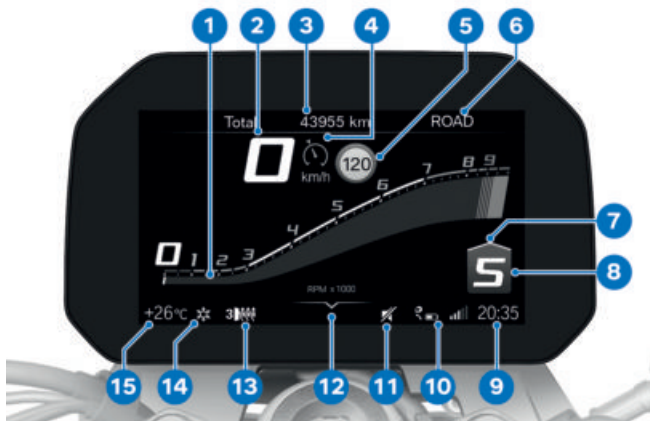
- 1 インジケーター／警告灯 (▶▶▶▶ 22)
- 2 シフトポイント用フラッシュ
- 3 TFT ディスプレイ (▶▶▶▶ 23)
(▶▶▶▶ 24)
- 4 DWA 発光ダイオード(LED)
(▶▶▶▶ 69)
-Keyless Ride^{OE} 装備
無線キー用インジケーター (▶▶▶▶ 50)
- 5 フォトダイオード(メーターパネルライトの明るさの調整用)

表示

03

インジケーター／警告灯	22
TFT ディスプレイ(PURE RIDE 画面)	23
TFT ディスプレイ(メニュー画面)	24
TFT ディスプレイのSPORT 1 画面	25
TFT ディスプレイのSPORT 2 画面	26
警告表示	27

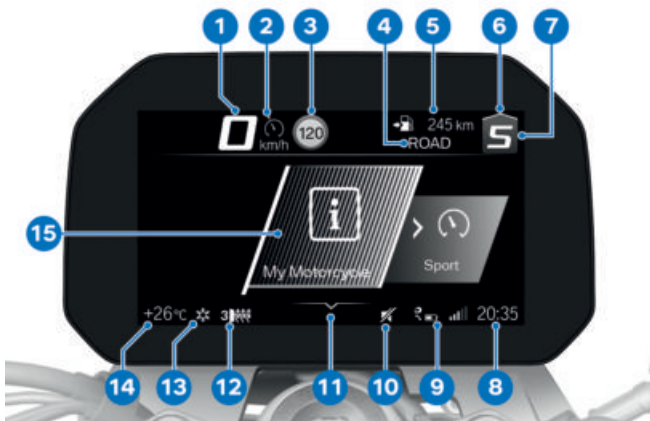
TFT ディスプレイ(PURE RIDE 画面)



- | | |
|---|-------------------------|
| 1 エンジン回転数表示 (▶▶▶ 83) | 12 操作サポート |
| 2 スピードメーター | 13 グリップヒーターレベル (▶▶▶ 72) |
| 3 ステータスバー (▶▶▶ 81) | 14 外気温度警告 (▶▶▶ 33) |
| 4 クルーズコントロール (▶▶▶ 64) | 15 外気温度 |
| 5 制限速度情報 (▶▶▶ 83) | |
| 6 走行モード (▶▶▶ 60) | |
| 7 シフトアップ推奨 (▶▶▶ 84) | |
| 8 ギヤインジケーター、ニュートラル位置で「N」(アイドリング)が表示されません。 | |
| 9 時計 (▶▶▶ 85) | |
| 10 接続ステータス (▶▶▶ 87) | |
| 11 ミュートスイッチ (▶▶▶ 84) | |

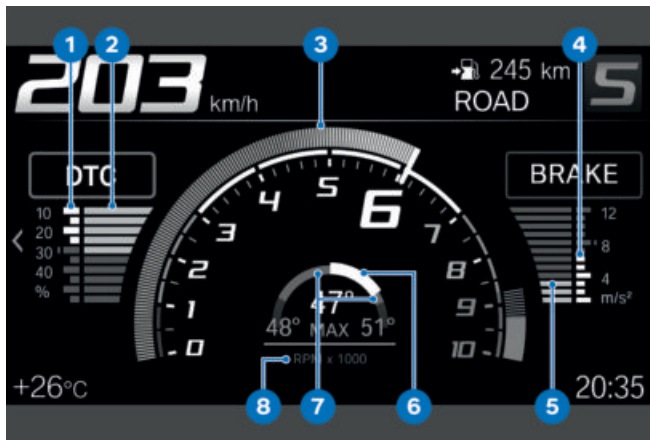
24 表示

TFT ディスプレイ(メニュー画面)



- | | | | |
|----|--|----|----------------------|
| 1 | スピードメーター | 12 | グリップヒーターレベル (▶▶▶ 72) |
| 2 | クルーズコントロー
ル (▶▶▶ 64) | 13 | 外気温度警告 (▶▶▶ 33) |
| 3 | 制限速度情報 (▶▶▶ 83) | 14 | 外気温度 |
| 4 | 走行モード (▶▶▶ 60) | 15 | メニューエリア |
| 5 | ステータスバー (▶▶▶ 81) | | |
| 6 | シフトアップ推奨 (▶▶▶ 84) | | |
| 7 | ギヤインジケーター、
ニュートラル位置で「N」(ア
イドリング)が表示されま
す。 | | |
| 8 | 時計 (▶▶▶ 85) | | |
| 9 | 接続ステータス (▶▶▶ 87) | | |
| 10 | ミュートスイッチ (▶▶▶ 84) | | |
| 11 | 操作サポート | | |

TFT ディスプレイのSPORT 1 画面

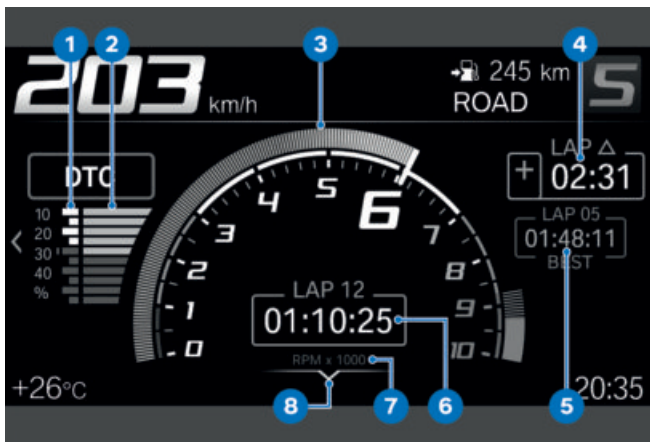


—走行モードPro^{0E} 装備

- 1 最大DTCトルク低減
- 2 現在のDTCトルク低減
- 3 エンジン回転数表示
- 4 最大制動減速度
- 5 現在の制動減速度
- 6 現在のバンク角
- 7 最大バンク角
- 8 エンジン回転数表示の単位：1分間あたり1000回転

26 表示

TFT ディスプレイのSPORT 2 画面



一走行モードPro^{OE} 装備

8 操作サポート

- 1 最大DTCトルク低減
- 2 現在のDTCトルク低減
- 3 エンジン回転数表示
- 4 前回のラップタイムと基準タイムの差または現在のラップタイムと基準タイムの差
- 5 基準タイム：現在登録されているラップで最速のもの、またはかつて登録された最速ラップ
- 6 現在のラップタイム (66)
- 7 エンジン回転数表示の単位：1分間あたり1000回転

警告表示

表示

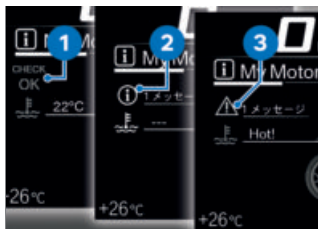
警告は対応する警告灯により表示されます。

警告はジェネラル警告灯と TFT ディスプレイのダイアログ画面の組み合わせで表示されます。警告の緊急性に応じて、ジェネラル警告灯が黄または赤に点灯します。



ジェネラル警告灯が、警告の緊急度に応じて表示されます。

以降のページに警告表示の一覧があります。



チェックコントロール表示

ディスプレイのメッセージには複数の異なる表示方法があります。優先度に応じて異なる色と記号が使用されます：

- 緑色の CHECK OK **1**：メッセージなし、値は最適。
- 白い円と小さな「i」 **2**：情報。

-黄色の三角表示 **3**：警告メッセージ、値が最適範囲から逸脱。

-赤い三角表示 **3**：警告メッセージ、値が限界に到達



値の表示

アイコン **4** には複数の異なる表示方法があります。評価に応じて異なる色が使用されます。数値 **8** と単位 **7** の代わりに、テキスト **6** も表示されます：

アイコンの色

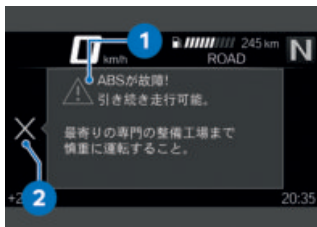
- 緑：(OK) 現在の値は最適。
- 青：(冷たい!) 現在の温度は低すぎる。
- 黄：(低い! / 高い!) 現在の値は低すぎるか高すぎる。
- 赤：(熱い! / 高い!) 現在の温度または値は高すぎる。
- 白：(---) 有効な値なし。値の代わりに線 **5** が表示されます。



個々の値の評価の一部は、一定の走行時間または速度を超えて初めて可能になります。測定条件が満たされていないために測定値が表示可能に

28 表示

なっていない場合は、値の代わりにプレースホルダーとして線が表示されます。有効な測定値がない間は、色付きアイコンの形式での評価も行われません。



チェックコントロールダイアログ画面

メッセージはチェックコントロールダイアログ画面 **1** として通知されます。

- 同じ優先度のチェックコントロールメッセージが複数ある場合、メッセージは発生した順序で切り替わりながら、了承確認するまで表示され続けます。
- アイコン **2** が有効表示されている場合、マルチコントローラーを左に傾けて了承確認することができます。
- チェックコントロールメッセージは、状況によって変化しながら、メニューMy Motorcycleのページに追加タブとして添付されます (▶▶ 79)。故障が存在している間は、メッセージを再度呼び出すことができます。

警告表示一覧

インジケーター／ディスプレイテキスト
警告灯

意味

		が表示されます。	外気温度警告 (▶▶▶ 33)	
	黄色で点灯する。		無線キーが有効範囲内にない。	無線キーが受信範囲外 (▶▶▶ 33)
	黄色で点灯する。		Keyless Ride が故障！	Keyless Ride が故障している (▶▶▶ 34)
	黄色で点灯する。		無線キーバッテリーが弱い。	無線キーのバッテリーを交換する (▶▶▶ 34)
		が黄色で表示されます。	車両電装システム電圧が低すぎる (▶▶▶ 34)	
		バッテリー電圧！		
	黄色で点灯する。		が黄色で表示されます。	車両電装システム電圧が限界値 (▶▶▶ 35)
		バッテリー電圧が低下している！		
	点滅します (黄)。		が黄色で表示されま	充電電圧が限界値 (▶▶▶ 35)
		バッテリー電圧が限界値！		
	黄色で点灯する。		不具合のあるバルブが表示されます。	ライトバルブの故障 (▶▶▶ 36)
	点滅します (黄)。		不具合のあるバルブが表示されます。	
		DWA バッテリーが弱い。	DWA バッテリーが弱っている (▶▶▶ 36)	

30 表示

インジケーター／ 警告灯	ディスプレイテキスト	意味
	盗難防止用バッテリーが放電状態。	DWA バッテリーが空になっている (▶▶▶ 37)
	DWA が故障。	DWA が故障している (▶▶▶ 37)
 黄色で点灯する。	 クーラント温度が高すぎる！	クーラント温度が高すぎる (▶▶▶ 37)
 点灯します。	 エンジン！	駆動システムの故障 (▶▶▶ 38)
 赤色で点滅する。	 エンジン制御内に深刻な故障！	駆動システムの重大な故障 (▶▶▶ 38)
 点滅します。		
 黄色で点灯する。	 エンジン制御の通信がない。	エンジンコントロール機能停止 (▶▶▶ 38)
 黄色で点灯する。	 エンジン制御内に故障。	エンジンがエマージェンシーモードになっている (▶▶▶ 38)
 赤色で点滅する。	 エンジン制御内に深刻な故障！	エンジン制御の重大な故障 (▶▶▶ 39)
 黄色で点灯する。	 転倒検知センサーが故障	転倒検知センサーが故障している (▶▶▶ 39)
 黄色で点灯する。	 サイドスタンドモニターが故障。	サイドスタンドモニター故障 (▶▶▶ 40)
 点滅します。		ABS 自己診断が終了していない (▶▶▶ 40)

インジケーター／ディスプレイテキスト 警告灯


意味

	黄色で点灯する。		ABS は制限付きで使用可能！	ABS の故障 (▶▶▶ 40)
	点灯します。			
	黄色で点灯する。		ABS が故障！	ABS 機能停止 (▶▶▶ 40)
	点灯します。			
	点灯します。		ABS Pro が故障！	ABS Pro 機能停止 (▶▶▶ 41)
	素早く点滅します。			ASC/DTC の介入 (▶▶▶ 41)
	ゆっくりと点滅します。			ASC/DTC の自己診断が完了していません (▶▶▶ 41)
	点灯します。		Off!	ASC/DTC が OFF になっている (▶▶▶ 42)
			駆動制御はOFF の状態。	
	点灯します。		駆動制御の機能を制限している！	ASC/DTC の使用に制限 (▶▶▶ 42)
	点灯します。		駆動制御が故障！	ASC/DTC の不具合 (▶▶▶ 42)
	黄色で点灯する。		サスペンション調整が故障！	D-ESA の故障 (▶▶▶ 43)
			リザーブ容量に達しました。近いうちにガソリンスタンドに向かってください	フューエルリザーブ容量に達している (▶▶▶ 43)
			点滅します。	ギヤが学習されていない (▶▶▶ 44)

32 表示

インジケーター／ディスプレイテキスト
警告灯

意味

	緑色で点滅 します。		ハザードランプ は ON の状態 で (▶▶▶ 44)
	緑色で点滅 します。		
			が白で表示され ます。 サービス期 限 (▶▶▶ 45)
			サービス実施時期！
	黄色で点灯 する。		が黄色で表示され ます。 サービス時期を過 ぎている (▶▶▶ 45)
			サービス時期超過！


外気温度

外気温度はTFTディスプレイのステータスバーに表示されます。

停車している時には、エンジン放射熱により外気温度の測定に誤差が生じる場合があります。エンジン放射熱の影響が著しい場合には、値の代わりに横線が一時的に表示されます。



外気温度が以下の限界値未満になると、路面が凍結するおそれがあります。

	外気温度の限界値
約3℃	

この温度を下回ると、TFTディスプレイのステータスバーで外気温度表示が氷結晶アイコンとともに点滅します。

外気温度警告



が表示されます。

考えられる原因:

モーターサイクル付近で測定された外気温度は3℃を下回っています。



警告

3℃以上でも路面が凍結するおそれあり

事故の危険

- 外気温度が低い場合、橋の上や陰になった暗い路面は凍結しているおそれがあることを考慮してください。

- よく注意して走行してください。

無線キーが受信範囲外

-Keyless Ride^{OE} 装備



黄色で点灯する。



無線キーが有効範囲内にならない。イグニッションを再度ONにすることができない。

考えられる原因:

無線キーとエンジンエレクトロニクス間の通信に障害が発生しています。

- 無線キーのバッテリーを点検します。

-Keyless Ride^{OE} 装備

- 無線キーのバッテリーを交換する (▶▶ 52)。

- 走行を続行するにはスペアキーを使用します。

-Keyless Ride^{OE} 装備


- 無線キーのバッテリーが空になっているか、または無線キーの紛失 (▶▶ 51)。

34 表示

- 走行中にチェックコントロールダイアログが表示されても、落ち着いてください。走行は続行できます。エンジンは停止しません。
- 故障した無線キーはBMW Motorrad ディーラーに交換を依頼してください。

Keyless Ride が故障している

 黄色で点灯する。

 Keyless Ride が故障！ エンジンを止めないこと。エンジンが再始動できないことがある。


考えられる原因:


Keyless Ride コントロールユニットで通信エラーが診断により検出されました。

- エンジンを停止させないでください。できるかぎり早くBMW Motorrad ディーラー(最善)または専門の整備工場をお訪ねください。
- » Keyless Ride を使用してのエンジン始動ができなくなっています。
- » DWA が作動不可になっています。

無線キーのバッテリーを交換する

-Keyless Ride^{OE} 装備


 黄色で点灯する。


 無線キーバッテリーが弱い。集中ロック機能が制限されている。バッテリーを交換すること。

考えられる原因:

- 無線キーのバッテリーがフル容量ではありません。無線キーの機能は、限られた時間内のみ保証されています。
- 無線キーのバッテリーを交換する (▶▶ 52)。

車両電装システム電圧が低すぎる

 が黄色で表示されます。

 バッテリー電圧！ 不要な電力消費機器をOFF にする。

車両電装システム電圧が低すぎます。走行を続けると、車両エレクトロニクスがバッテリーを放電させます。

考えられる原因:

電流消費量の大きい電装品(ヒーター機能付きベストなど) が使用されている、多くの電装品が同時に使用されている、またはバッテリーの故障。

- 不要な電装品を OFF にするか、車両電装システムから外してください。
- 不具合がまだ生じるか、接続されている電装品がなくても発生する場合には、できる限り早く BMW Motorrad ディーラー(最善) または専門の整備工場に故障の修理を依頼してください。
- 不要な電装品を OFF にするか、車両電装システムから外してください。
- 不具合がまだ生じるか、接続されている電装品がなくても発生する場合には、できる限り早く BMW Motorrad ディーラー(最善) または専門の整備工場に故障の修理を依頼してください。

車両電装システム電圧が限界値



黄色で点灯する。



が黄色で表示されます。



バッテリー電圧が低下している！ 電力消費機器がOFFになった。バッテリーを点検すること。



警告

車両システムの機能停止 事故の危険

- 走行を続けしないでください。

車両電装システム電圧が限界値です。走行を続けると、車両エレクトロニクスがバッテリーを放電させます。

考えられる原因:

電流消費量の大きい電装品(ヒーター機能付きベストなど) が使用されている、多くの電装品が同時に使用されている、またはバッテリーの故障。

充電電圧が限界値



点滅します(黄)。



が黄色で表示されます。



バッテリー電圧が限界値！ 事故の危険があるため走行を続けられないこと。



警告

車両システムの機能停止 事故の危険

- 走行を続けしないでください。

バッテリーが充電されていません。走行を続けると、車両エレクトロニクスがバッテリーを放電させます。

考えられる原因:

オルタネーターの故障またはオルタネータードライブの故障、バッテリーの故障またはヒューズの熔断。


- BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場に、でき


36 表示


るかぎり早く故障の修理を依頼してください。


ライトバルブの故障


 黄色で点灯する。


 不具合のあるバルブが表示されます：


 ハイビームが故障！


 左フロントウインカーが故障！ または右フロントウインカーが故障！


 ロービームが故障！

 フロントポジションが故障！


 テールライトが故障！


 ブレーキライトが故障！


 左リヤウインカーが故障！ または右リヤウインカーが故障！

 ライセンスプレートライトが故障！

-正規ディーラーに点検を依頼すること。

 点滅します(黄)。

 不具合のあるバルブが表示されます：

 アダプティブヘッドライトの故障。正規ディーラーに点検を依頼すること。

警告

車両の照明手段の機能停止により、車両が通行中に気付かれずに見過ごされる

安全に関わる危険

- 故障したバルブはできるかぎり早急に交換します。できれば、常に適切な予備バルブを携行してください。


考えられる原因:


ライトバルブが故障しています。

- 目視点検を行い、故障したバルブを見つけ出します。
- LED バルブをアセンブリーで交換します。その交換はBMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場に依頼してください。

DWA バッテリーが弱っている

-盗難防止装置 (DWA)^{OE} 装備

 DWA バッテリーが弱い。制約なし。正規ディーラーへ予約を入れること。

 このエラーメッセージは、短時間、Pre-Ride-Check (走行前点検) の直後にのみ表示されます。


考えられる原因:


DWA バッテリーがフル充電されていません。DWA の機能が保証されるのは、バッテリーのターミナルを外している場合、ごく限られた時間内のみです。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

DWA バッテリーが空になっている

-盗難防止装置 (DWA)^{OE} 装備

 盗難防止用バッテリーが放電状態。独自のアラームなし。正規ディーラーへ予約を入れること。

 このエラーメッセージは、短時間、Pre-Ride-Check (走行前点検) の直後にのみ表示されます。


考えられる原因:

DWA バッテリーが充電されていません。DWA の機能は、バッテリーのターミナルを外している場合、保証されません。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

DWA が故障している

-盗難防止装置 (DWA)^{OE} 装備


 DWA が故障。正規ディーラーに点検を依頼すること。


考えられる原因:


DWA コントロールユニットで通信エラーが診断により検出されました。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。
- » DWA が ON にならない、または OFF にならなくなっている。
- » 誤警報の可能性あります。

クーラント温度が高すぎる

 黄色で点灯する。

 クーラント温度が高すぎる! クーラントレベルを点検。荷重を下げた後、走行し冷却すること。

 **重要事項**

オーバーヒートしているエンジンでの走行

エンジンの損傷

- 必ず下記の処置を順守してください。

考えられる原因:

クーラントレベルが低すぎます。

- クーラントレベルを点検する (▶▶▶ 154)。
- クーラントレベルが低すぎる場合:
• クーラントを補充する (▶▶▶ 154)。

38 表示

考えられる原因:

クーラント温度が高すぎます。

- 可能であれば、エンジンを冷ますために部分負荷域で走行します。
- 渋滞中はエンジンを停止させます。ただし、ラジエターファンの作動を止めないために、イグニッションはONのままにしておきます。
- クーラント温度が頻繁に高くなりすぎる場合には、できるかぎり早くBMW Motorradディーラーに故障の修理を依頼してください。

駆動システムの故障



点灯します。



エンジン！ 正規ディーラーに点検を依頼すること。

考えられる原因:

エンジンマネジメントシステムが、有害物質の排出に影響を及ぼしたり、出力を低減させたりする故障を診断で検出しました。

- BMW Motorradディーラーに故障の修理を依頼してください。
- » 走行を続行することは可能です。ただし、有害物質の排出規定値を超えています。

駆動システムの重大な故障



赤色で点滅する。



点滅します。



エンジン制御内に深刻な故障！ 引き続き走行可能。最寄りの正規ディーラーまで慎重に運転すること。

考えられる原因:

エンジンマネジメントシステムが、エキゾーストシステムの損傷に至るおそれのある故障を診断で検出しました。

- BMW Motorradディーラー(最適)または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

» 走行を続行することは可能ですが、推奨されません。

エンジンコントロール機能停止



黄色で点灯する。




エンジン制御の通信がない。複数のシステムが該当。最寄りの正規ディーラーまで慎重に運転すること。

エンジンがエマージェンシーモードになっている



黄色で点灯する。

 エンジン制御内に故障。引き続き走行可能。最寄りの正規ディーラーまで慎重に運転すること。

 **警告**

エンジンのエマージェンシーモードにおける特殊な走行特性事故の危険

- 急激な加速や追い越しは避けてください。


考えられる原因:

エンジンコントロールユニットに故障が発生しています。極端な場合には、エンジンが停止し、その後始動できなくなります。その他の場合には、エンジンはエマージェンシーモードで作動します。

- 走行を続けることは可能ですが、通常どおりのエンジン性能は発揮できない可能性があります。
- BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

エンジン制御の重度の故障

 赤色で点滅する。

 **エンジン制御内に深刻な故障!** 引き続き走行可能。最寄りの正規ディーラーまで慎重に運転すること。

 **警告**

エマージェンシーモードでのエンジンの損傷

事故の危険

- 低速で走行し、急激な加速や追い越しは避けてください。
- 可能であれば車両の回収を依頼し、専門の整備工場に、出来ればBMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。


考えられる原因:

エンジンマネジメントシステムが重度の不具合につながるおそれが不具合を検出しました。エンジンはエマージェンシーモードにあります。

- 高負荷高回転数域での走行は、できるかぎり避けてください。
 - BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。
- » 走行を続行することは可能ですが、推奨されません。

転倒検知センサーが故障している

 黄色で点灯する。

 転倒検知センサーが故障 正規ディーラーに点検を依頼すること。


40 表示


考えられる原因:

転倒検知センサーが機能していません。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

サイドスタンドモニター故障

 黄色で点灯する。

 サイドスタンドモニターが故障。引き続き走行可能。静止してエンジン停止！ 正規ディーラーに点検を依頼すること。

考えられる原因:

サイドスタンドスイッチまたはその配線が損傷しています。5 km/h を下回るとエンジンが停止します。走行を続けることはできません。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

ABS 自己診断が終了していない


 点滅します。

考えられる原因:


自己診断が終了していないため、ABS 機能は使用できません。ホイールセンサーを点検するには、モーターサイクルを数 m 走行させる必要があります。

- ゆっくりと発進します。自己診断が完了するまで ABS 機能が使用できないことに注意してください。

ABS の故障

 黄色で点灯する。

 点灯します。


 ABS は制限付きで使用可能！ 引き続き走行可能。最寄りの正規ディーラーまで慎重に運転すること。

考えられる原因:


ABS コントロールユニットが故障を検知しました。ABS 機能は制限付きで使用可能です。

- 走行を続行することは可能です。ABS のエラーメッセージにつながる可能性のある状況について、詳細情報をご確認ください (▶▶ 131)。
- BMW Motorrad ディーラー (最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

ABS 機能停止

 黄色で点灯する。

 点灯します。

 ABS が故障！ 引き続き走行可能。最寄りの専門の整備工場まで慎重に運転すること。

考えられる原因:

ABS コントロールユニットが故障を検知しました。

- 走行を続行することは可能です。ABS 機能が使用できないことに注意してください。ABS エラーメッセージにつながりかねない特別な状況に関するその他の情報に注意してください (▶▶▶ 131)。
- BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

ABS Pro 機能停止

-走行モードPro^{OE} 装備



点灯します。



ABS Pro が故障！ 引き続き走行可能。最寄りの正規ディーラーまで慎重に運転すること。

考えられる原因:

ABS Pro コントロールユニットが故障を検知しました。ABS Pro 機能は使用できません。ABS 機能は引き続き制限付きで使用可能です。ABS は直進走行でのブレーキでのみサポートを行います。

- 走行を続行することは可能です。ABS Pro のエラーメッセージにつながる可能性のある特別な状況についての詳細情報をご確認ください (▶▶▶ 131)。

- BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

ASC/DTC の介入



素早く点滅します。

ASC/DTC がリヤホイールの不安定な状態を検知し、トルクを制限します。インジケーター／警告灯は、ASC/DTC の介入よりも長く点滅し続けます。これにより、厳しい走行状態の後でも、ライダーは制御が正常に行われた旨のフィードバック表示を目的することができます。

ASC/DTC の自己診断が完了していません



ゆっくりと点滅します。

考えられる原因:



ASC/DTC の自己診断が完了していません

ASC/DTC は、自己診断が完了しなかったため、使用できません。(ホイールセンサーを点検するには、モーターサイクルが最低速度に達する必要があります : min 5 km/h)

- ゆっくりと発進します。数 m 走行後、ASC/DTC インジケーターおよび警告灯は消灯しなければなりません。

42 表示

ASC/DTC インジケーター／警告灯が点滅し続けます。

- BMW Motorrad ディーラーに点検を依頼してください。

ASC/DTC が OFF になっている



点灯します。



Off!



駆動制御はOFFの状態。

考えられる原因:

ASC/DTC システムが、ライダーによって OFF にされました。

- ASC/DTC 機能を ON にする (▶▶ 57)。

ASC/DTC の使用に制限



点灯します。



駆動制御の機能を制限している！ 引き続き走行可能。最寄りの正規ディーラーまで慎重に運転すること。

考えられる原因:

ASC/DTC コントロールユニットが故障を検知しました。



重要事項

コンポーネントの損傷

センサーなどの故障、それに起因する機能不良

- ライダーまたはリアシートの下に物を搬送しないようにします。
- ツールキットをロックします。

- 角速度センサーを損傷しないようにします。
- ASC/DTC 機能の使用に制限があることに注意してください。
- 走行を続行することは可能です。ASC/DTC の故障につながりかねない状況についての詳細情報をご確認ください (▶▶ 133)。
- BMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

ASC/DTC の不具合



点灯します。



駆動制御が故障！ 引き続き走行可能。最寄りの正規ディーラーまで慎重に運転すること。

考えられる原因:

ASC/DTC コントロールユニットが故障を検知しました。

重要事項

コンポーネントの損傷

センサーなどの故障、それに起因する機能不良

- ライダーまたはリアシートの下に物を搬送しないようにします。
- ツールキットをロックします。
- 角速度センサーを損傷しないようにします。
- ASC/DTC ならびにエンジンブレーキトルクレギュレーターの使用できないことに注意してください。
- 走行を続行することは可能です。ASC/DTC の故障につながりかねない状況についての詳細情報をご確認ください (▶▶▶ 133)。
- BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

D-ESA の故障



黄色で点灯する。



サスペンション調整が故障! 引き続き走行可能。最寄りの正規ディーラーまで慎重に運転すること。

考えられる原因:

D-ESA コントロールユニットが故障を検知しました。原因はショックアブソーバーまたはスプリング調整、あるいはその両方である可能性があります。この状態にあるモーターサイクルでは、ショックアブソーバーが極めて硬くなっている可能性があり、特に悪路では乗り心地が不快になります。それとは別に、スプリングプリロードの調整が誤っている可能性もあります。

- BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

フューエルリザーブ容量に達している



リザーブ容量に達しました。近いうちにガソリンスタンドに向かってください。

警告


燃料不足による不規則なエンジン回転またはエンジン停止
触媒コンバーターの損傷、事故を起こす危険

- フューエルタンクを空にしないでください。

44 表示

考えられる原因:

フューエルタンクには、リザーブ用フューエルがまだ最大容量入っています。

 フューエルリザーブ容量
約 3.5 l

●給油手順 (▶▶ 122)。

ギヤが学習されていない

-シフトアシストPro^{OE} 装備

N ギヤインジケーターが点滅します。ギヤシフトアシストProは機能していません。

考えられる原因:

-シフトアシストPro^{OE} 装備

トランスミッションセンサーの学習が不完全です。

- アイドルリングの学習を行うには、ニュートラル N に入れ、停止状態でエンジンを 10 秒以上作動させます。
- クラッチ操作によりすべてのギヤに切り替えて、それぞれのギヤで 10 秒以上走行します。
▶トランスミッションセンサーの学習が正常に行われると、ギヤインジケーターの点滅が止まります。
- トランスミッションセンサーの学習が完全に行われると、ギヤシフトアシスト Pro が記載通りに機能します (▶▶ 139)。
- 学習に失敗した場合は、BMW Motorrad デイラー(最

適) または専門の整備工場に不具合の修理を依頼してください。

ハザードランプは ON の状態です



緑色で点滅します。



緑色で点滅します。

考えられる原因:

ハザードフラッシャーはライダーによって ON にされました。

- ハザードランプを操作する (▶▶ 55)。

サービス表示



サービス時期を過ぎた場合には、日付表示または走行 j 距離に加えてジェネラル警告灯(黄) が点灯します。

サービス時期を過ぎた場合、チェックコントロールメッセージが黄色で表示されます。さらに、サービス、サービス時期、残余走行距離が、メニュー画面 MY MOTORCYCLE およびサービス実施時期にエクスクラメーションマーク (!) 付きで強調表示されます。



サービス期日まで 1 カ月以上あるのにサービス表示が表示されている場合、実際に即した日付に再度調整する必要があります。この症状は、バッテリーの接続が切られた場合に発生することがあります。

サービス期限



が白で表示されます。

サービス実施時期！ 専門の整備工場にサービスの実施を依頼すること。

考えられる原因：

走行距離または日付に基づくサービスの実施時期が来ています。

- サービスを定期的
にBMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場を受けてください。
- » 車両の作動安全性および走行安全性が維持されます。
- » 車両価値の最適な維持が保証されます。

- » 車両の作動安全性および走行安全性が維持されます。
- » 車両価値の最適な維持が保証されます。

サービス時期を過ぎている



黄色で点灯する。



が黄色で表示されます。

サービス時期超過！ 専門の整備工場にサービスの実施を依頼すること。

考えられる原因：

走行距離または日付が原因で、サービスの期限が切れています。

- サービスを定期的
にBMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場を受けてください。

取扱方法

04

イグニッションスイッチ／ステアリングロック	48
KEYLESS RIDE によるイグニッション	49
電子式エンジン始動ロックシステム(イモビライザー) (EWS)	53
イグニッションキルスイッチ	54
ライト	54
ハザードランプ	55
ウインカー	56
トラクションコントロール(ASC/DTC)	57
電子調整式サスペンション(D-ESA)	58
走行モード	60
走行モードPRO	63
クルーズコントロール	64
LAPTIMER	66
シフトポイント用フラッシュ	68
盗難警報装置(DWA)	69
グリップヒーター	72
シート	72

48 取扱方法

イグニッションスイッチ／ステアリングロック

キー

車両キーは2本あります。

キーを紛失した場合は、電子式イモビライザー(EWS)に関する注意事項に従ってください(▶▶ 53)。イグニッションスイッチ／ステアリングロック、タンクキャップ、シートロックは、1本の同じキーで操作できます。

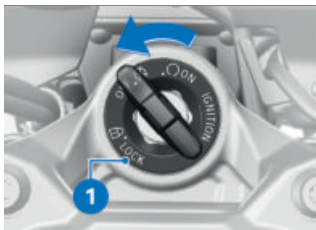
-ケース^{0A} 装備

-トップケース^{0A} 装備

ご要望により、ケースおよびトップケースも同じキーで操作することができます。この件につきましては、BMW Motorradディーラー(最適)または専門の整備工場にお問い合わせください。

ステアリングロックをロックする

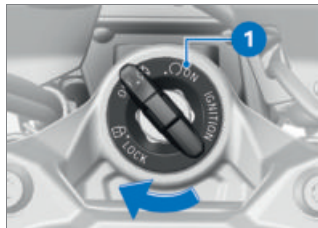
- ハンドルを左に回します。



- ハンドルバーを少し動かしながら、キーをポジション1に回します。

- ▶ イグニッション、ライトとすべての電気回路がOFFになります。
- ▶ ステアリングロックがロックされています。
- ▶ キーを抜き取ることができません。

イグニッションをONにする



- キーをポジション1に回します。
- ▶ ポジション／パーキングライトとすべての機能回路がONの状態。
- ▶ エンジンを始動することができます。
- ▶ Pre-Ride-Checkが実行されます。(▶▶ 113)
- ▶ ABS自己診断が実施されません。(▶▶ 114)
- ▶ ASC自己診断が実施されません。(▶▶ 114)
- ▶ DTC自己診断が実施されません。(▶▶ 115)

ウェルカムライト

- イグニッションを ON にします。
- » ポジション／パーキングライトが短時間点灯します。

イグニッションを OFF にする



- キーをポジション 1 に回します。
- » ライトが OFF になります。
- » ステアリングロックが解除されます。
- » キーを抜き取ることができます。
- » 追加装備機器は限られた時間内で使用可能です。
- » 電源ソケットからバッテリーの充電ができます。

KEYLESS RIDE によるイグニッション

-Keyless Ride^{OE} 装備

キー

i 無線キーを検索している間は、無線キー用表示灯が点滅します。無線キーまたは予備キーが検出された場合は消えます。無線キーまたは予備キーが認識されない場合は、一時的に点灯します。

お客様にお渡しするのは、無線キー 1 本ならびにスペアキー 1 本です。キーを紛失した場合には、電子式イモビライザー(EWS)に関する注意事項に従ってください (▶ 53)。

イグニッション、タンクキャップ、盗難警報装置は、無線キーを使用して制御します。シートロック、トップケース、ケースは手動で操作することができます。

i 無線キーが手に届く範囲にないと(ケース内またはトップケース内など)、車両を始動することはできません。無線キーがない状態が続くと、バッテリーを保護するため、イグニッションが約 1.5 分後に OFF になります。

無線キーを身に着けておく(ジャケットのポケットなど)か、または予備キーを携行することをお勧めします。

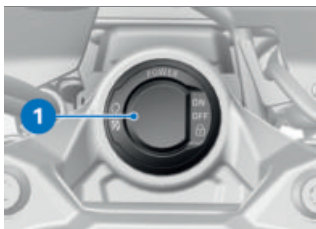
50 取扱方法

 Keyless Ride の走行可能 距離無線キー
-Keyless Ride ^{OE} 装備
約 1 m<

ステアリングロックをロックする

前提条件

ハンドルバーを左方向へ回します。無線キーは受信範囲内です。

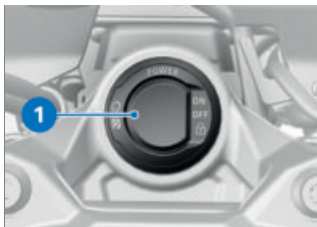


- ボタン **1** を押し続けます。
 - » ステアリングロックが音をたててロックします。
 - » イグニッション、ライトとすべての電気回路が OFF になります。
- ステアリングロックをロック解除するには、ボタン **1** を短く押します。

イグニッションを ON にする

前提条件

無線キーは受信範囲内です。



- イグニッションは、以下の2通りの方法で ON にすることができます。

バリエーション 1：

- ボタン **1** を短押しします。
 - » スモールライトおよびすべての電気回路が ON になります。
 - » Pre-Ride-Check が実行されます。(▶▶▶ 113)
 - » ABS 自己診断が実施されます。(▶▶▶ 114)
 - » ASC 自己診断が実施されます。(▶▶▶ 114)
 - » DTC 自己診断が実施されます。(▶▶▶ 115)

バリエーション 2：

- ステアリングロックがロックされている状態で、ボタン **1** を押したまま保ちます。
 - » ステアリングロックがロック解除されます。
 - » ポジション/パーキングライトとすべての機能回路が ON の状態。
 - » Pre-Ride-Check が実行されます。(▶▶▶ 113)

- » ABS 自己診断が実施されます。(114)
- » ASC 自己診断が実施されます。(114)
- » DTC 自己診断が実施されます。(115)

イグニッションを OFF にする 前提条件

無線キーは受信範囲内です。



- イグニッションは、以下の2通りの方法で OFF にすることができます。

バリエーション 1:

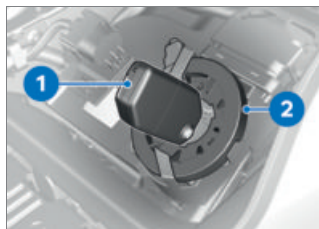
- ボタン 1 を短押しします。
 - » ライトが OFF になります。
 - » ステアリングロックが解除されます。

バリエーション 2:


- ハンドルを左に回します。
- ボタン 1 を押し続けます。
 - » ライトが OFF になります。
 - » ステアリングロックがロックされます。

無線キーのバッテリーが空になっているか、または無線キーの紛失

- キーを紛失した場合には、電子式エンジン始動ロックシステム (イモビライザー) (EWS) に関する注意事項に従ってください。
- 走行中に無線キーを紛失した場合には、スペアキーを使用して車両を始動させることができます。
- 無線キーのバッテリーが空になっている場合、無線キーを折りたたんでシート下のリングアンテナの中に潜り込ませれば、車両を始動させることができます。



- シートを取り外す (72)。
- スペアキーまたはバッテリーが空になって折りたたんだ無線キー 1 を、リングアンテナ 2 に潜り込ませます。

 スペアキーまたは閉じられている空の無線キーは、リングアンテナの開口部に収める必要があります。

52 取扱方法



エンジン始動をその間に行わなければならない時間。その後、再度ロック解除を行う必要があります。

30 s

- » Pre-Ride-Check が実行されま
す。
- キーが検知されました。
- エンジンを始動することができ
ます。
- エンジンを始動する (112)。

無線キーのバッテリーを交換する

前提条件

バッテリーが弱くなっているため、無線キーが反応しません。



無線キーバッテリーが弱い。集中ロック機能が制限されている。バッテリーを交換すること。

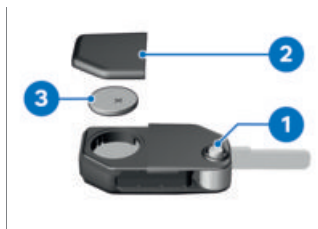


危険

バッテリーを飲み込んだ場合
負傷のおそれや生命にかかわ
る危険

- 車両キーにはバッテリーとしてボタン電池が含まれています。バッテリーまたはボタン電池が飲み込まれると、体内の炎症や化学熱傷などにより、2時間以内に重態に陥ったり、致命傷を負うことになるおそれがあります。
- 車両キーおよびバッテリーは、お子様の手の届かないところに保管してください。
- バッテリーやボタン電池を飲み込んだ疑いや、それらが体内にある疑いがある場合には、直ちに医師に連絡してください。

- バッテリーを交換します。



- ボタン **1** を押します。
» キーが開きます。

- バッテリーカバー 2 を押し上げます。
- バッテリー 3 を取り外します。
- 使用済みバッテリーは法規に従って廃棄処分してください。バッテリーを家庭ごみとして捨てないでください。



重要事項

不適切なバッテリー、または入れ方が正しくないバッテリー

コンポーネントの損傷

- 規定のバッテリーを使用してください。
- バッテリーを組み込む際に、極性が正しいか確認してください。
- 新しいバッテリーをプラスターミナルを上にして組み込みます。



バッテリータイプ

Keyless Ride 無線キー

CR 2032

- バッテリーカバー 2 を取り付けます。
- » メーターパネルで LED (赤) が点滅します。
- » 無線キーは再び機能することができます。

電子式エンジン始動ロックシステム(イモビライザー) (EWS)

モーターサイクルの電子制御システムは、イグニッションスイッチ/無線ロックのリングアンテナを介して、車両キーに内蔵されているデータを確認します。車両キーが「権限あり」と認識されてはじめて、エンジンコントロールユニットが、エンジン始動を許可します。



その他の車両キー(スペアキーなど)が始動に使用されている車両キー/無線キーと一緒に取り付けられていると、電子機器が「認識されない」ことがあり、エンジンの始動が許可されない場合があります。その他の車両キー(スペアキーなど)は必ず車両キー/無線キーと別に保管してください。

車両キーを紛失したときには、BMW Motorrad ディーラーでそのキーの使用を停止することができます。そのためには、必ず、モーターサイクルに付属している他のすべてのキーもお持ちください。使用停止となった車両キーでエンジンを始動させることはできなくなります。しかし、使用停止となった車両キーを再度登録し直すことは可能です。追加のスペアキーは、BMW Motorrad ディーラーからの

54 取扱方法

み入手できます。車両キーはセイフティシステムの一部ですので、ディーラーではお渡しする方の身元を確認させていただきます。

イグニッションキルスイッチ



- 1 イグニッションキルスイッチ



警告

走行中のイグニッションキルスイッチの操作

リヤホイールのロックによる転倒の危険

- 走行中はイグニッションキルスイッチを操作しないでください。

イグニッションキルスイッチにより、エンジンを素早く簡単に停止させることができます。




- A エンジン停止
B 通常の操作ポジション


ライト

ロービームおよびポジションライト／パーキングライト

イグニッションを ON にすると、ポジション／パーキングライトは自動的に点灯します。

 ポジション／パーキングライトはバッテリーを消耗させます。必要な場合にのみ、イグニッションを ON にしてください。

ロービームは以下の条件下で自動的に ON になります：
- エンジンを始動した場合。
- イグニッション ON の状態で車両が動かされる場合。

 イグニッションを ON にして、ハイビームあるいはパッシングスイッチを操作すると、エンジンを停止した状態でもライトを点灯させることができます。

ハイビームとパッシングライト

- イグニッションを ON にする (▶▶ 48)。



- スイッチ 1 を前方へ押し、ハイビームヘッドライトを ON にします。
- スイッチ 1 を後方へ引き、パッシングライトを操作します。

フォロワーホームライト

- イグニッションを OFF にします。



- イグニッションをオフにした直後、スイッチ 1 を後方へ引き、ホームライトが点灯するまで引いたまま維持します。
- » 車両照明が 1 分間点灯し、自動的に再び消灯します。

—これは、駐車後に家のドアまでの通路を照らすためなどに使用することができます。

パーキングライト

- イグニッションを OFF にする (▶▶ 49)。



- イグニッションを OFF にした直後、パーキングライトが ON になるまで、ボタン 1 を左方向へ押した状態で保ちます。
- パーキングライトを OFF にするため、イグニッションを ON にしてから再び OFF にします。

ハザードランプ


ハザードランプを操作する

- イグニッションを ON にします。



ハザードランプはバッテリーを消耗させます。ハザードランプは必要な場合にだけ使用するようによしてください。

56 取扱方法

 ハザードランプが ON の状態で片方のウインカースイッチを押すと、押ししている間はハザードランプ機能に代わってウインカー機能が作動します。ウインカースイッチを押すのをやめると、再びハザードランプ機能が作動します。



- ハザードフラッシャーを ON にするには、ボタン 1 を操作します。
- » イグニッションを OFF にすることができます。
- ハザードフラッシャーをオフにするには、必要に応じてイグニッションをオンにし、ボタン 1 を再度操作します。

ウインカー

ウインカーを操作する

- イグニッションを ON にします。



- 左側ウインカーを ON にするには、ボタン 1 を左方向へ押しします。
- 右側ウインカーを ON にするには、ボタン 1 を右方向へ押しします。
- ウインカーを OFF にするには、ボタン 1 を中間の位置にします。

コンフォートターンインジケータ



ボタン 1 を右または左に押し、以下の条件ではターンインジケータが自動的にオフになります：


- 車速 30 km/h 未満 : 50 m 走行後。
- 車速 30 km/h ~ 100 km/h : 車速に応じた走行距離後または加速時。
- 車速 100 km/h 超過 : 5 回点滅後。

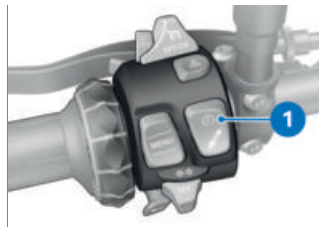
ボタン **1** を少し長く右または左に押ししても、速度に応じた走行距離到達後にターンインジケータは自動的にオフになります。

トラクションコントロール(ASC/DTC)

ASC/DTC 機能を OFF にする


- イグニッションを ON にする (▶▶ 48)。

 ASC/DTC 機能は走行中も OFF にすることができます。




- ASC/DTC インジケータおよび警告灯の表示が変化するまで、ボタン **1** を押し続けます。

ボタン **1** を操作した直後にASC/DTC システムステータス ON が表示されます。

 点灯します。

可能性のある ASC システムステータスOFF! が表示されます。

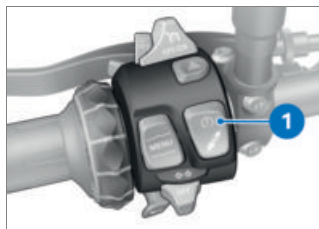
- ASC/DTC システムステータスが切り替わったら、ボタン **1** から手を放します。

 引き続き点灯します。

新しいASC/DTC システムステータス OFF! が短時間表示されます。


▶ ASC/DTC 機能は OFF の状態です。

ASC/DTC 機能を ON にする




- ASC/DTC インジケータおよび警告灯の表示が変化するまで、ボタン **1** を押し続けます。ボタン **1** を操作した直後にASC/DTC システムステータス OFF! が表示されます。

58 取扱方法

 消灯します。自己診断が完了していない場合には、点滅し始めます。


可能性のある ASC システムステータス ON が表示されます。

- ステータスが切り替わったら、ボタン **1** から指を離します。

 消灯したままか、点滅を続けます。

新しい ASC/DTC システムステータス ON が短時間表示されます。

- » ASC/DTC 機能は ON の状態です。
- 代わりに、イグニッションを OFF にしてから再び ON にすることも可能です。

 イグニッションを OFF / ON にして、さらに以下の最低速度で走行した後に ASC/DTC インジケーター／警告灯が引き続き点灯する場合には、ASC/DTC が故障しています。

min 5 km/h

- トラクションコントロール (ASC/DTC) に関する詳しい情報については、「技術情報」の章をご覧ください (▶▶▶ 133)。

電子調整式サスペンション (D-ESA)

-Dynamic ESA^{OE} 装備

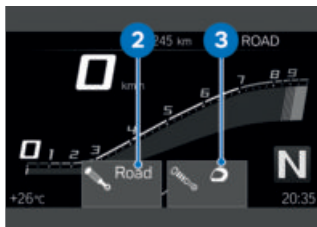
調整方法

電子調整式サスペンション Dynamic ESA により、リヤホイールのダンピングを路面状況に合わせて快適に調整することができます。ダンピング調整は 2 種類、スプリングプリロードは 3 段階あります。

サスペンション設定を表示する



- イグニッションを ON にする (▶▶▶ 48)。
- 現在の設定を表示させるには、ボタン **1** を短押しします。

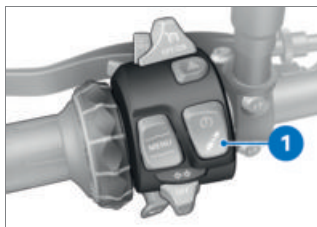


ダンピング **2** およびスプリングプリロード **3** 用サスペンション設定が表示されます。

» 少し経つと、表示は再び自動的に消えます。

ショックアブソーバーを調整する


- イグニッションを ON にする (▶▶ 48)。

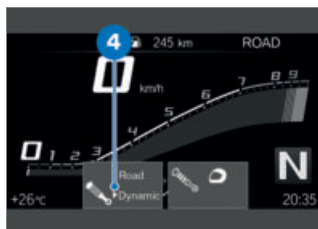


- 現在の設定を表示させるには、ボタン **1** を短押しします。

ショックアブソーバーを調整するには：

- ご希望の設定が表示されるまで、ボタン **1** を繰り返し短く押しします。

 ダンピングの調整は、走行中もできます。



選択矢印 **4** が表示されます。

» 選択矢印 **4** はステータスが切り替わった後に非表示になります。

以下の設定が可能です：

- Road：快適なオンロード走行用のダンピング
- Dynamic：ダイナミックなオンロード走行用のダンピング


60 取扱方法

スプリングプリロードを調整する



スプリングプリロードを調整するには：

- エンジンを始動する (▶▶▶ 112)。
- ご希望の設定が表示されるまで、ボタン **1** を繰り返し長く押しします。

 走行中は、スプリングプリロードを調整することはできません。

以下の設定が可能です：



1名乗車時



1名乗車＋荷物積載時



2名乗車(＋荷物積載)時

調整ができない場合は、以下のメッセージが通知されます：荷重調整機能は静止状態でのみ使用可。



選択矢印 **4** が表示されます。

- ▶▶▶ 選択矢印 **4** はステータスが切り替わった後に非表示になります。
- 走行を続行する前に、調整作業が終了するのを待ちます。
- ▶▶▶ ボタン **1** をしばらく操作しないでおくと、そのとき表示されていたショックアブソーバーおよびスプリングプリロードが設定されます。

走行モード

走行モードの使用

BMW Motorrad は、お客様がご自身の状況に合わせて選択できるように、モーターサイクルの使用についてのシナリオを作成しました：

標準装備

- RAIN：雨でぬれた路面でのライディング。
- ROAD：乾いた路面でのライディング。


-走行モードPro^{OE} 装備

走行モード Pro 装備

-DYNAMIC：乾いた路面でのダイナミックな走行。

-DYNAMIC PRO：ライダーによる設定を考慮した上での、乾いた路面でのダイナミックな走行。

これらのシナリオでは、エンジン特性曲線、ABS 制御、ASC/DTC 制御による最適な相互作用がそれぞれ可能となっています。

 選択可能な走行モードの詳細情報については、「技術情報」の章をご覧ください。

-Dynamic ESA^{OE} 装備

サスペンション調整も選択されたシナリオに合わせることができます。

走行モード事前選択

-走行モードPro^{OE} 装備

走行モード事前選択を使用することにより、個人的に気に入っている走行モードを事前選択でまとめることができます。

2～4 種類の走行モードを走行モード事前選択に追加することができます。

工場設定：

RAIN、ROAD、DYNAMIC およびDYNAMIC PRO

走行モード事前選択を設定する

-走行モードPro^{OE} 装備

- イグニッションを ON にする (▶▶▶ 48)。
- メニュー設定、車両設定、走行モードの事前選択 を呼び出します。
- 走行モードを走行モード事前選択用にアクティブまたは非アクティブにします。
 - ▶ アクティブな走行モードを選択に使用することができます。
 - ▶ アクティブな走行モードが2種類未満の場合に表示されるメッセージ：処置の実行不可。最低数に達した。
 - ▶ アクティブな走行モードが4種類を上回る場合に表示されるメッセージ：処置の実行不可。最大数に達した。
 - ▶ 走行モード事前選択にまとめられている走行モードの構成は、イグニッションを OFF にした後も維持されます。

走行モードを選択する

- イグニッションを ON にする (▶▶▶ 48)。

62 取扱方法



- ボタン 1 を押します。



- ポップアップ内にご希望の走行モードが表示されるまで、ボタン 1 を繰り返し押します。



アクティブな走行モード 2 がバックグラウンドに移動し、ポップアップ 3 に表示されます。ガイドサポート 4 に、利用可能な走行モード数が表示されます。

- ① 走行モードまたはその設定に応じて、走行ダイナミクス制御システムの介入が制限されることがあります。起こりうる制限については、注意！ ABS+DTC の設定。などのポップアップメッセージで表示されます。

ABS および ASC/DTC のような走行ダイナミクス制御システムに関する詳細情報については、「技術情報」の章をご覧ください。

—走行モード Pro^{OE} 装備

- » 走行モードの使用可能性については、走行モード事前選択の個々の設定に応じて異なります。◁
- » 停車している場合には、選択した走行モードは約 2 秒後に ON になります。
- » 走行中に新しい走行モードを ON するには、以下の前提条件が必要です：

- スロットルグリップがアイドルリ
ング位置にある。
- ブレーキが操作されていない。
- クルーズコントロールが OFF の
状態。
- » 設定されている走行モードは、
エンジン特性曲線、ABS、ASC/
DTC、Dynamic ESA の適切な調整
も含めて、イグニッションを
OFF にした後も維持されます。

走行モードPRO

-走行モードPro^{OE} 装備

設定方法

走行モード PRO は個別に設定す
ることができます。

走行モードDYNAMIC PRO の設定を 行う

- イグニッションを ON にす
る (▶▶▶ 48)。
- メニュー設定、車両設定、走行
モードの事前選択 を呼び出し
ます。
- 走行モード DYNAMIC PRO を選択
し、ON にします。
- 設定 を選択し、確定します。



システムエンジン が選択されて
います。現在の設定がダイアグ
ラム 1 として、システムに関す
る説明 2 付きで表示されます。
• システムを選択し、確定しま
す。



可能な設定 3 およびそれに関す
る説明 4 に目を通すことができ
ます。
• システムを調整します。
» システムエンジン、DTC、ABS は
同じ方法で調整することができ
ます。
• 設定は工場設定にリセットする
ことができます：
• 走行モードの設定をリセットす
る (▶▶▶ 64)。

64 取扱方法

走行モードの設定をリセットする

- 走行モード DYNAMIC PRO の設定を行う (▶▶▶ 63)。
 - リセットを選択し、確定します。
- » 走行モード DYNAMIC PRO には以下の工場設定が適用されます：
- DTC: DYNAMIC PRO
 - ABS: DYNAMIC
 - エンジン: DYNAMIC

クルーズコントロール

-クルーズコントロール^{OE} 装備

設定時の表示(制限速度情報が無効)



クルーズコントロールのアイコン 1 は、Pure Ride 画面と上側のステータス欄に表示されます。

設定時の表示(制限速度情報が有効)



クルーズコントロールのアイコン 1 は、Pure Ride 画面と上側のステータス欄に表示されます。

クルーズコントロールを ON にする



- スイッチ 1 を右方向へスライドさせます。
- » ボタン 2 を操作することができます。


車速を設定する



- ボタン 1 を前方向へ短押しします。

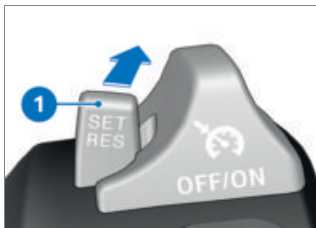
 クルーズコントロールの調整範囲

30...210 km/h

 クルーズコントロール用インジケーターが点灯します。

- » その時の車速を維持し、記憶します。

加速する



- ボタン 1 を前方向へ短押しします。
- » 押すたびに速度が約 1 km/h ずつ加速します。

- ボタン 1 を前方へ押し続けます。
- » 車速が無段階に加速します。
- » ボタン 1 がそれ以上操作されないと、到達した車速が維持され、保存されます。

減速する



- ボタン 1 を後方へ短押しします。
- » 操作ごとに速度が約 1 km/h ずつ減速します。
- ボタン 1 を後方へ押し続けます。
- » 車速が無段階に減速します。
- » ボタン 1 がそれ以上操作されないと、到達した車速が維持され、保存されます。

クルーズコントロールを作動解除する

- ブレーキ、クラッチまたはスロットルグリップ(スロットルを基本位置よりさらに戻し、完全に閉じる)を操作し、クルーズコントロールを作動解除します。


66 取扱方法


» クルーズコントロール用インジケーターが消灯します。

前回の速度を再設定する

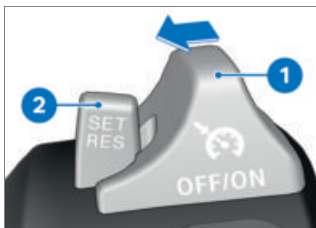


- ボタン 1 を後方へ短押しして、保存されている車速に再び設定します。

 スロットルを操作することでは、クルーズコントロールは作動解除されません。たとえ登録速度以下に減速するつもりでも、スロットルグリップから手を放した後、速度は登録速度までしか下がりません。

 クルーズコントロール用インジケーターが点灯します。

クルーズコントロールを OFF にする



- スイッチ 1 を左方向へずらし
ます。
» システムが OFF になります。
» ボタン 2 がブロックされています。

LAPTIMER

—走行モードPro^{OE} 装備

タイム計測を開始する

- メニューSport を呼び出し、表示Sport 2 に切り替えます。
- エンジンを始動する (112)。



- ボタン 1 を押します。
» タイム計測が進行中です。

- 次の走行ラップの記録を開始するため、スタートライン／ゴールラインを越えるごとに、ボタン **1** を改めて押します。
- » 前の走行ラップのデータが保存されます。
- » 現在のラップのタイムが 00:00:00 で再開します。
- » 走行ラップの停止時間は、現在の走行ラップの進行中のタイムに切り替わる前に、調整可能な表示時間用に表示されます。
- » 記録中に表示モードが閉じられても、記録はそのまま続けて行われます。

時間計算を終了し、タイムを管理する

前提条件

表示 Sport 2 が表示されます。

- MENU ロッカーボタン下側を押します。
- » メニュー LAPTIMER が表示されます。
- 記録の終了により、進行中の記録を終了することができます。
- ラップにより、現在のラップタイムおよび走行データ呼び出すことができます。99 ラップを保存可能です。その間にラップが削除されない場合、さらに続くラップは最初のラップを上書きしていきます。

- すべてのラップを削除により、すべてのラップを削除することができます。
- Best Ever を削除により、過去のベスト走行ラップ (Best Ever) をリセットすることができます。

ラップタイマーを調整する

- メニュー設定、車両設定、ラップタイマー を呼び出します。
- » 以下の設定が可能です：
 - デバウンス時間：パッシングライトが操作された場合、ラップタイム測定に影響を及ぼすことなく、この時間内にパッシングライトを再度操作することができます。
 - 表示時間：現在のラップタイムが表示される前に、この時間内にラップの停止時間が表示されず。
 - 記録：どのベストタイムを基準として表示するかを選択。Best：現在の記録のベストタイム、または、Best Ever：過去に測定されたベストタイム。
 - 進行中のベストラップ：この機能が ON になっている場合には、前回のラップタイムと基準タイムの差は表示されず、現在のラップタイムと基準タイムの差が表示されます。

68 取扱方法

過去のベスト走行ラップ

過去のベスト走行ラップ(Best Ever) は記録されている全走行ラップで最速のものであり、さらに速いラップが記録されるとただちに更新されます。

過去のベスト走行ラップは、記録されている走行ラップが削除されるときにも、登録されたまま残ります。これにより、他の時点において新しい走行を記録し、以前の走行のベスト走行ラップと比較することができます。

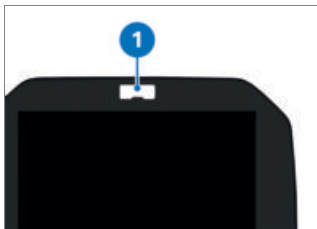
過去のベスト走行ラップは、メニューLAPTIMER で削除することができます。

過去のベスト走行ラップが、登録されている記録からのもの場合には、対応するラップ番号と一緒に表示されます。過去のベスト走行ラップにラップ番号がない場合には、その過去のベスト走行ラップはすでに削除されている記録からのものです。

シフトポイント用フラッシュ

-走行モードPro^{OE} 装備

シフトポイント用フラッシュをオンおよびオフにする



- メニューSettings、車両設定 を呼び出します。
- シフトポイント を ON または OFF にします。

シフト表示を調整する

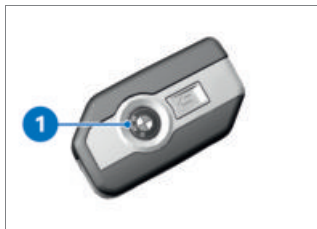
- 機能シフトポイント を ON にします。
 - メニュー設定、車両設定、設定 (シフトポイント の下) を呼び出します。
- » 以下の設定が可能です：
- 回転数(開始)
 - 回転数(終了)
 - 明るさ
 - 周波数。点滅周波数 0 Hz は常時点灯です。
- » 明るさと点滅周波数の変化は、シフトポイント用フラッシュの短時間の点灯または点滅で明示されます。

盗難警報装置(DWA)

作動

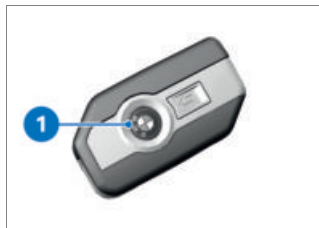
-盗難防止装置 (DWA)^{OE} 装備

- イグニッションを ON にする (▶▶▶ 48)。
 - DWA を調整する (▶▶▶ 71)。
 - イグニッションを OFF にします。
 - ▶▶ DWA をオンにすると、イグニッションオフ後に DWA が自動的に作動します。
 - ▶▶ 作動状態にするには約 30 秒かかります。
 - ▶▶ ウィンカーが 2 回点灯します。
 - ▶▶ 操作音が 2 回鳴ります(プログラミングされている場合)。
 - ▶▶ DWA は ON の状態です。
- Keyless Ride^{OE} 装備



- イグニッションを OFF にします。
- 無線キーのボタン **1** を 2 回押します。
- ▶▶ 作動状態にするには約 30 秒かかります。
- ▶▶ ウィンカーが 2 回点灯します。

- ▶▶ 操作音が 2 回鳴ります(プログラミングされている場合)。
- ▶▶ DWA は ON の状態です。



- モーションセンサーをオフにするには(モーターサイクルを列車で輸送し、激しい動きでアラームが作動するおそれがある場合など)、無線キーのボタン **1** をオンになる間に再度押します。
- ▶▶ ウィンカーが 3 回点灯します。
- ▶▶ 確認音が 3 回鳴ります (プログラミングされている場合)。
- ▶▶ モーションセンサーはオフの状態です。◀

アラーム信号

-盗難防止装置 (DWA)^{OE} 装備


DWA アラームの発報は、以下によっても引き起こされることがあります：

- モーションセンサー
- 不正な車両キーによる始動の試み。
- DWA の接続の車両バッテリーからの切り離し(DWA バッテリーが

70 取扱方法

電源供給を行う。アラーム音の
み、ウインカーの点灯なし)

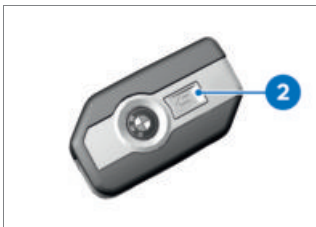
-Keyless Ride^{OE} 装備

 無線キーが受信範囲内にあ
るときには、傾斜センサー
によるアラームが抑えられま
す。◁

DWA バッテリーが放電している場
合には、車両バッテリーから接続
が切り離されている場合に行わ
れるアラームの発報ができなく
なる以外は、全機能が保持されて
います。

アラームの発報時間は約 26 秒で
す。発報中は、アラーム音が鳴
り、ウインカーが点滅します。ア
ラーム音の種類はBMW Motorrad
ディーラーで調整することがで
きます。

-Keyless Ride^{OE} 装備



発報しているアラームは、無線
キーのボタン 2 を押すことで中
断できます(DWA の作動解除不
要)。

ライダー不在時にアラームが発
報していた場合には、イグニッ
ションを ON にした時にアラーム
音が 1 回鳴ってそれを知らせま
す。引き続き、DWA LED がアラ
ームの原因について 1 分間、信号を
発信します。

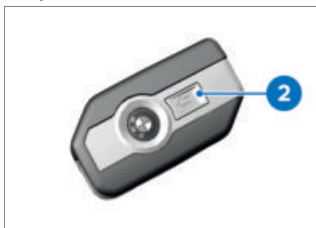
DWA LED のライト信号：

- 1 回点滅：モーションセンサー
1
- 2 回点滅：モーションセンサー
2
- 3 回点滅：権限のないキーを使
用して、イグニッションが ON に
された
- 4 回点滅：車両バッテリーから
DWA の接続が切り離されている
- 5 回点滅：モーションセンサー
3

作動解除

-盗難防止装置 (DWA)^{OE} 装備

- イグニッションを ON にする (▶▶ 48)。
 - » ウィンカーが1回点灯します。
 - » 操作音が1回鳴ります(プログラミングされている場合)。
 - » DWA は OFF の状態です。
- Keyless Ride^{OE} 装備



- 無線キーのボタン 2 を1回押します。

i アラーム機能が無線キーを介して OFF になり、そのままイグニッションが ON にされない場合、「イグニッション OFF 後に ON の状態にする」がプログラミングされていると、アラーム機能は約 30 秒後に自動的に再び ON の状態になります。

- » ウィンカーが1回点灯します。
- » 操作音が1回鳴ります(プログラミングされている場合)。
- » DWA は OFF の状態です。◀

DWA を調整する

- イグニッションを ON にする (▶▶ 48)。
- メニュー設定、車両設定、盗難警報装置 を呼び出します。
- » 以下の設定が可能です：
 - 警告音 を調整する
 - 傾斜センサー を ON および OFF にする
 - 確認音 を ON および OFF にする
 - 自動設定 を ON および OFF にする
- 盗難防止装置 (DWA)^{OE} 装備
- » 調整方法 (▶▶ 71)◀

調整方法

-盗難防止装置 (DWA)^{OE} 装備

警告音：立ち上がりおよび立ち下がりまたは間欠的なアラーム音を設定します。

傾斜センサー：傾斜センサーを作動させ、車両の傾きをモニターします。DWA はホイール盗難や牽引などの際に反応します。

i 車両の輸送時には、DWA が作動するのを防ぐため、傾斜センサーを作動解除してください。

確認音：DWA ON / OFF 後のウィンカーの点灯に確認アラーム音を加えます。

自動設定：イグニッション OFF 時にアラーム機能を自動的に ON にします。


72 取扱方法


グリップヒーター


-グリップヒーターOE 装備


グリップヒーターの操作


- エンジンを始動する (112)。

 グリップヒーターは、エンジン作動時にのみ作動させることができます。

 低回転域では、グリップヒーターによって電力消費が増すことによりバッテリーの放電に至ることがあります。バッテリーの充電が十分でない場合、始動性能を保持するために、グリップヒーターが OFF になります。

 ヒーター出力(高)

 ヒーター出力(中)

 ヒーター出力(低)

» それ以上変更が行われないと、選択した暖房レベルが設定されず。

- グリップヒーターを OFF にするには、ボタン **1** を、グリップヒーターのアイコン **3** がディスプレイに表示されなくなるまで繰り返し押します。

シート

シートを取り外す

前提条件

モーターサイクルを、平坦で硬い路面の上に駐車します。

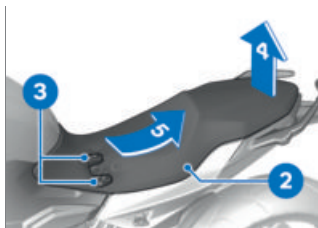


- ボタン **1** を繰り返し押して、希望の暖房レベル **2** をグリップヒーターアイコン **3** の前に表示させます。

グリップは3段階で暖めることができます。高いヒーター出力はグリップを素早く温めるのに役立ちます。その後、低いヒーター出力に戻してください。

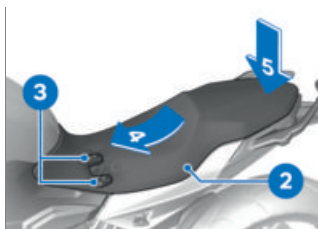


- シートロック **1** を、車両キーを使用して反時計回り(左回り)に回します。
» ベンチシートがロック解除されます。



- シート 2 を矢印の方向 4 に持ち上げます。
- シート 2 を矢印の方向 5 にホルダー 3 から引きます。
- シート 2 を汚れ等のないきれいな面の上に置きます。

シートを取り付ける



- シート 2 矢印の方向に 4 ホルダー 3 の上にずらします。
- ベンチシートを矢印方向 5 へ力を入れて押します。
- » かみ合う音が聞こえるようにベンチシートをロックします。

TFTディスプレイ

05

一般的な情報	76
原理	77
PURE RIDE 画面	83
一般的な設定	84
BLUETOOTH	86
MY MOTORCYCLE	89
オンボードコンピューター	92
ナビゲーション	92
メディア	94
電話	95
ソフトウェアバージョンを表示する	96
ライセンス情報を表示する	96

76 TFTディスプレイ

一般的な情報

警告



警告

走行中またはエンジン作動中にスマートフォンを操作する事故が起こる危険

- それぞれ適用される道路交通規則を確認し、遵守してください。
- 走行中は使用しないこと(ハンズフリーユニットを使用している場合、操作する必要のない利用を除く)。



警告

交通状態から注意が逸れ、制御不能になる危険

統合型情報システムおよび通信機器を走行中に操作することで事故を起こす危険

- これらのシステムおよび装置の操作は、それが可能な交通状況のもとでのみ行ってください。
- 必要に応じて停車し、システムまたは装置を停止状態で操作してください。

Connectivity機能

Connectivity機能にはメディア、電話とナビゲーション領域が含まれます。Connectivity機能は、TFTディスプレイが携帯端末機器およびヘルメットと接続されている場合に利用することができます (▶▶▶ 86)。Connectivity機能に関する詳細情報についてはこちらをご覧ください：

bmw-motorrad.com/connectivity




燃料タンクが携帯端末機器とTFTディスプレイの間にあると、Bluetooth接続が制限される可能性があります。BMW Motorradは、携帯端末機器を燃料タンクの上(ジャケットポケットの中など)に収納することをお勧めします。



携帯端末機器によっては、Connectivity機能の範囲が制限される可能性があります。

BMW Motorrad Connected App

BMW Motorrad Connected Appで、利用情報および車両情報を呼び出すことができます。ナビゲーションなどの一部の機能を利用するには、Appを携帯端末機器にインストールして、TFTディスプレイと接続しておく必要があります。Appを使用して目的地ガイドをスタートさせて、ナビゲーションを調整します。

 iOS オペレーティングシステム搭載機器などの一部の携帯端末機器では、使用前にBMW Motorrad Connected App を呼び出す必要があります。

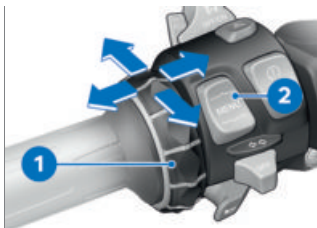
本書の記述について

編集終了後に TFT ディスプレイが更新されることがあります。そのため、本書の記述が実際のモーターサイクルとは異なる場合があります。更新情報についてはこちらをご覧ください：

bmw-motorrad.com/service

原理

操作エレメント



ディスプレイの全内容の操作は、マルチコントローラー **1** および MENU ロッカーボタン **2** で行います。状況に応じて以下の機能が可能です。

マルチコントローラーの機能

マルチコントローラーを上に戻す：

- リストのカーソルを上に移動させます。
- 設定を行います。
- 音量を上げます。

マルチコントローラーを下に戻す：

- リストのカーソルを下に移動させます。
- 設定を行います。
- 音量を下げます。

マルチコントローラーを左に傾ける：

- 機能をチェックコントロールメッセージに合わせて作動させます。
- 機能を左に、または前に戻るように作動させます。
- 設定後、メニュー画面に戻ります。
- メニュー画面で：一階層上に切り替えます。
- 私の車両メニューで：メニュー画面を先にめくります。


マルチコントローラーを右に傾ける：

- 選択を確定します。
- 設定を確定します。
- メニューステップを先にめくります。
- リストで右にスクロールします。

78 TFTディスプレイ

-私の車両メニューで：メニュー画面を先にめくります。

MENU ロッカーボタンの機能

メニューナビゲーションが呼び出されていない場合、ナビゲーション指示はダイアログ形式で表示されます。 momentanari ボタン MENU の操作は一時的に制限されます。

MENUの上を短押しする：

- メニュー画面で：一階層上に切り替えます。
- Pure Ride 画面で：ステータスバー用の表示を切り替えます。

MENUの上を長押しする：

- メニュー画面で：Pure Ride 画面を開きます。
- Pure Ride 画面で：操作焦点を Navigator に切り替えます。

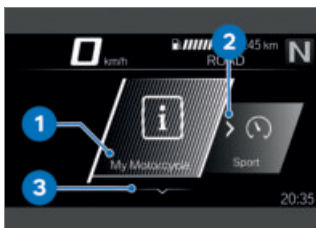
MENUの下を短押しする：

- 一階層下に切り替えます。
- 最下層に達した場合は機能しません。

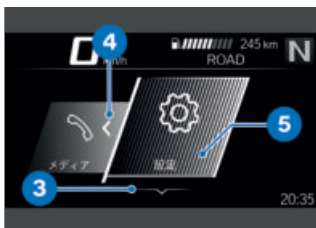
MENUの下を長押しする：

- MENU ロッカーボタンの上を長押ししてメニューを切り替えた後に、前回呼び出したメニューに戻ります。

スタートメニューでの操作情報



操作情報は、どのような操作が可能／不可能であることを示します。

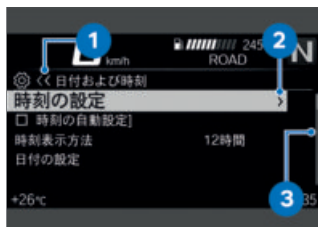


操作情報の意味：

- 操作情報 1：左端に達していません。
- 操作情報 2：右にめくることができます。
- 操作情報 3：下にめくることができます。
- 操作情報 4：左にめくることができます。
- 操作情報 5：右端に達していません。

サブメニューの操作情報

スタートメニューの操作情報に加えて、サブメニューにもそれ以外の操作情報があります。



操作情報の意味：

- 操作情報 1：現在の表示は階層メニューの中にあります。アイコンの数はサブメニューを3つまで示します。上の階層に戻るかどうかに応じて、アイコンの色は変化します。
- 操作情報 2：さらにサブメニュー階層を呼び出すことができます。
- 操作情報 3：項目の数が表示できる数を超えています。

Pure Ride 画面を表示する

- MENU ロッカーボタン上側を長押しします。

機能を ON または OFF にする



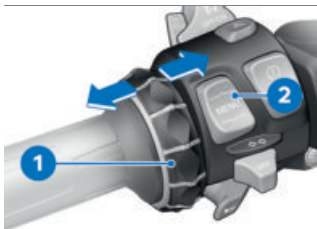
メニュー項目の一部の前にはボックスが表示されています。このボックスは、機能が ON または OFF であることを示しています。メニュー項目の後ろにあるアクションアイコンは、マルチコントローラーを右に短く傾けると何かどのように切り替わるのかを具体的に示しています。

ON と OFF の例：

- アイコン 1 は、機能が ON であることを示しています。
- アイコン 2 は、機能が OFF であることを示しています。
- アイコン 3 は、機能を OFF にできることを示しています。
- アイコン 4 は、機能を ON にできることを示しています。

80 TFTディスプレイ

メニューの呼出し




- Pure Ride 画面を表示する (▶▶▶ 79)。
- ボタン 2 を下方へ短く押します。

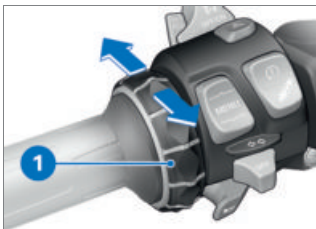
以下のメニューを呼び出すことができます：

- My Motorcycle
- ナビゲーション
- メディア
- 電話
- 設定

- マルチコントローラー 1 を右に繰り返し短押しして、希望のメニュー項目をマークします。
- ボタン 2 を下方へ短く押します。

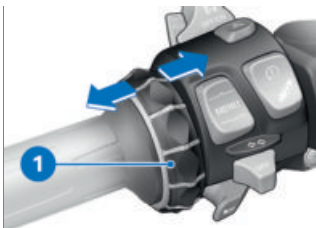
 メニュー設定は停車時のみ呼び出すことができます。

リストのカーソルを移動させる



- メニューの呼出し (▶▶▶ 80)。
- リストのカーソルを下に移動させるには、希望の項目がマークされるまで、マルチコントローラー 1 を下に回します。
- リストのカーソルを上を移動させるには、希望の項目がマークされるまで、マルチコントローラー 1 を上に回します。

選択を確定する



- 希望の項目を選択します。
- マルチコントローラー 1 を右に短押しします。

前回使用したメニューを呼び出す

- Pure Ride 画面で：MENU ロッカーボタンを長押しします。
- » 前回使用したメニューが呼び出されます。前回マークした項目が選択されています。

操作対象の切り替え

—NAV 取付けキット^{OE} 装備

Navigator が接続されている場合、Navigator と TFT ディスプレイの操作を切り替えることができます。

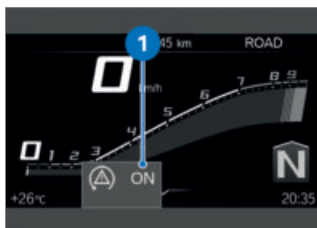
操作対象を切り替える

—NAV 取付けキット^{OE} 装備

- ナビゲーションユニットをしっかりと取り付ける (▶▶▶ 184)。
- Pure Ride 画面を表示する (▶▶▶ 79)。
- MENU ロッカーボタン上側を長押しします。
- » 操作焦点が Navigator または TFT ディスプレイに切り替わります。上部ステータスバー左側に、その都度、有効になっている機器がマークされています。操作対象を改めて切り替えるまで、操作の対象はその都度有効になっている機器となります。
- » ナビゲーションシステムを操作する (▶▶▶ 186)

システムステータスの表示

機能が ON または OFF になると、システムステータスは下側のメニュー領域に表示されます。



システムステータスの意味の例：

—システムステータス 1：ASC/DTC 機能が ON です。

ステータスバー用の表示を切り替える

前提条件

モーターサイクルが立てられていること。Pure Ride 画面が表示されていること。

- イグニッションを ON にする (▶▶▶ 48)。
- » TFT ディスプレイでは、オンボードコンピューター(例：TRIP 1) およびトリップコンピューター(例：TRIP 2) からの公道での走行用に必要なすべての情報が利用可能です。この情報は上側のステータス欄に表示することができます。

82 TFTディスプレイ

- ステータスバーの内容を選択する (⇒ 82)。



- ボタン 1 を長押しして、Pure Ride 画面を表示させます。
- ボタン 1 を繰り返し短押しして、上側のステータス欄 2 の値を選択します。

次の値を表示可能です：



オドメーター



トリップメーター 1



トリップメーター 2



燃費 1(平均)



燃費 2(平均)



走行時間 1



走行時間 2



停止 1



停止 2



速度 1(平均)



速度 2(平均)



フューエルレベル

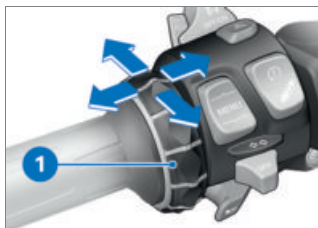


走行可能距離

ステータスバーの内容を選択する

- メニュー設定、表示、コンテンツステータスライン を呼び出します。
- ご希望の表示を ON にします。
 - » ステータスバー内で、選択されている表示を切り替えることができます。表示が選択されていない場合は、航続可能距離のみが表示されます。

設定を行う



- 希望の設定メニューを選択して確定します。
 - マルチコントローラー 1 を下に回して、希望の設定をマークします。
 - 操作情報がある場合は、マルチコントローラー 1 を右に傾けます。
 - 操作情報がない場合は、マルチコントローラー 1 を左に傾けます。
- » 設定が保存されました。

制限速度情報を ON または OFF にする

前提条件

車両は互換性のある携帯端末機器と接続されています。モバイル端末機器にBMW Motorrad Connected アプリがインストールされています。

- 速度制限の情報は、(ナビゲーションのマップデータの編集者により使用されている範囲内で) 現在許容されている最高速度を示します。

- メニュー設定、表示 を呼び出します。
- 速度制限の情報を ON または OFF にします。

PURE RIDE 画面

エンジン回転数表示



- 1 目盛り
- 2 低回転域
- 3 高回転域/レッドゾーン
- 4 指針
- 5 第2指針
- 6 回転数表示の単位：
1000 rpm

84 TFTディスプレイ

航続可能距離



航続可能距離 1 は、残りの燃料であとどのくらいの距離を走行可能かを示します。算出は、平均燃費およびフューエルレベルに基づいて行われます。

-モーターサイクルがサイドスタンドで立てられている場合、傾いているために、フューエルレベルが正確に測れないおそれがあります。そのため、航続可能距離の再算出はサイドスタンドが格納されている状態でのみ行います。

-航続可能距離はフューエルリザーブ容量に達した後に、警告と共に表示されます。

-燃料補給後にフューエルレベルがフューエルリザーブ容量を超えている場合、航続可能距離は新たに算出されます。

-算出された航続可能距離は、概算数値です。

シフトアップ推奨



シフトアップ推奨は、Pure Ride 1 またはの画面またはステイタスバー 2 において、経済的に最適な時点でシフトアップを勧める信号を発します。

一般的な設定

音量を調整する

- ライダー用ヘルメットとパッセンジャー用ヘルメットを接続する (▶▶ 87)。
- 音量を上げる：マルチコントローラーを上を回します。
- 音量を下げる：マルチコントローラーを下を回します。
- ミュートにする：マルチコントローラーを一番下まで回します。

日付を設定する

- イグニッションを ON にする (▶▶ 48)。
- メニュー設定、システム設定、日付および時刻、日付の設定を呼び出します。
- 日、月 および年 を調整します。

- 設定を確定します。

日付の表示形式を設定する

- メニュー設定、システム設定、日付および時刻、日付表示方法を呼び出します。
- 希望の設定を選択します。
- 設定を確定します。

時計を調整する

- イグニッションを ON にする (▶▶ 48)。
- メニュー設定、システム設定、日付および時刻、時刻の設定を呼び出します。
- 時間 および分 を調整します。

表示時刻形式を設定する

- メニュー設定、システム設定、日付および時刻、時刻表示方法を呼び出します。
- 希望の設定を選択します。
- 設定を確定します。

表示単位を設定する

- メニュー設定、システム設定、単位 を呼び出します。
- 設定可能な単位は以下の通りです：
- 車速
 - 燃費
 - 温度

言語を設定する

- メニュー設定、システム設定、言語 を呼び出します。
- 設定可能な言語は以下の通りです：

- ドイツ語
- 英語(UK)
- 英語(US)
- スペイン語
- フランス語
- イタリア語
- オランダ語
- ポーランド語
- ポルトガル語
- トルコ語
- ロシア語
- ウクライナ語
- 中国語
- 日本語
- 韓国語
- タイ語

明るさを調整する

- メニュー設定、表示、明るさを呼び出します。
 - 明るさを調整します。
- » ディスプレイの明るさは、所定の周囲輝度を下回ると設定されている値に調光されます。

すべての設定をリセットする

- メニュー設定 のすべての設定を工場設定にリセットすることができます。
 - メニュー設定 を呼び出します。
 - すべてリセットする を選択し、確定します。
- 以下のメニューの設定がリセットされます：
- 車両設定
 - システム設定

86 TFTディスプレイ

- 接続
- 表示
- 情報

» 現在ある Bluetooth 接続は削除されません。

BLUETOOTH

近距離無線技術

Bluetoothでは、周辺の無線技術が問題となります。Bluetooth機器はショートレンジデバイス(限定された受信可能距離で伝送)として、使用料のかからない2.402 GHz~2.480 GHzのISM帯(産業、科学および医療帯)で通信します。この機能は世界中で免許不要で利用することができます。

Bluetoothは、接続を短距離でできるかぎり確実に確立するように設計されてはいるものの、各種の無線技術により障害が発生するおそれがあります。接続が障害されたり、短時間中断されたり、まったく機能しなくなることもありえます。特に、複数の機器を1つのBluetoothネットワークで利用している場合、あらゆる状況で操作がスムーズに行われるという保証はありません。

考えられるノイズ源：

- 電波塔などによる妨害磁界。
- 実装されている Bluetooth 標準規格が不十分な機器。
- 周辺に他の Bluetooth 対応機器がある。

Pairing

2つのBluetooth機器間の通信接続を確立する前に、双方の機器がお互いを認識できている必要があります。この相互認識の手順を「ペアリング」と言います。一度認識したデバイスはメモリーされるので、ペアリングの作業は最初に行うだけですみます。



iOS オペレーティングシステム搭載機器などの一

部の携帯端末機器では、使用前にBMW Motorrad Connected Appを呼び出す必要があります。

ペアリングの際、TFTディスプレイは自分の受信範囲内にある他のBluetooth対応機器をサーチします。ユニットが認識されるためには、以下の条件が満たされなくてはなりません。

- 当該機器のBluetooth機能がONになっていること
- 当該機器が他から「検知可能」になっていること
- ユニットはレシーバーとしてA2DPプロファイルをサポートしていなければなりません。

-その他の Bluetooth 対応機器が OFF になっていなければなりません(携帯電話やナビゲーションシステムなど)。

そのために必要な手順については、お客様コミュニケーションシステムの取扱説明書を確認してください。

ペアリングを行う

- メニュー設定、接続 を呼び出します。
 - »メニュー接続 では、Bluetooth 接続を設定、管理、削除することができます。以下の Bluetooth 接続が表示されます：
 - 携帯機器
 - ライダー
 - パッセンジャー
- 携帯端末機器の接続ステータスが表示されます。

モバイル端末機器を接続する

- ペアリングを行う (▶▶ 87)。
- モバイル端末機器の Bluetooth 機能を ON にします (モバイル端末機器の取扱説明書を参照)。
- 携帯機器 を選択し、確定します。
- 新しい携帯機器のペアリング を選択し、確定します。携帯端末機器をサーチします。



ペアリング中、Bluetooth アイコンが下側のステータス欄で点滅します。

認識可能な携帯端末機器が表示されます。

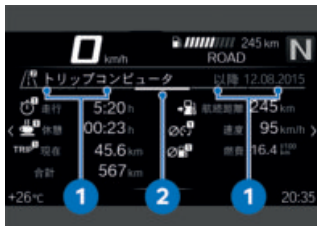
- モバイル端末機器を選択し、確定します。
- モバイル端末機器に関する指示を確認し、遵守してください。
- コードが一致していることを確認します。
- »接続が確立され、接続ステータスが更新されます。
- »接続が確立されない場合には、「仕様(諸元)」の章のトラブルシューティングを参照してください。(▶▶ 198)
- »モバイル端末機器によっては、電話データが自動的に車両に伝送されます。
- »電話データ (▶▶ 96)
- »電話帳が表示されない場合には、「仕様(諸元)」の章のトラブルシューティングを参照してください。(▶▶ 199)
- »Bluetooth 接続が期待通りに機能しない場合には、「仕様(諸元)」の章のトラブルシューティングを参照してください。(▶▶ 199)

ライダー用ヘルメットとパッセンジャー用ヘルメットを接続する

- ペアリングを行う (▶▶ 87)。

90 TFTディスプレイ

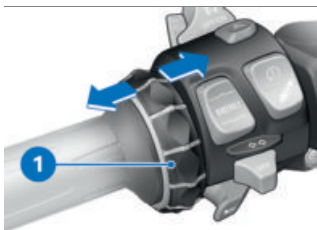
操作情報



-操作情報 1：左または右にどの程度めくることができるかを示すタブ。

-操作情報 2：現在のメニュー画面の位置を示すタブ。

メニュー画面でスクロールする




- メニューMy Motorcycle を呼び出します。
- 右にスクロールするには、マルチコントローラー 1 を右に短押しします。
- 左にスクロールするには、マルチコントローラー 1 を左に短押しします。

メニュー「My Motorcycle」には以下の画面が含まれています：

-MY MOTORCYCLE

- オンボードコンピュータ
- トリップコンピュータ
- サービス実施時期
- チェックコントロール(現存する場合)
- タイヤ空気圧およびチェックコントロールメッセージに関する詳細情報は、「表示」の章に記載されています(▶▶ 27)。

 チェックコントロールメッセージが、状況に合わせて、メニューMy Motorcycle のメニュー画面に追加タブとして付加されます。

オンボードコンピュータおよび トラベルボードコンピュータ

メニュー画面オンボードコンピュータ およびトリップコンピュータ は、平均値などの車両データおよび走行データを表示します。

サービス実施時期



次回サービスまでの期間が1か月以内になるか、次回サービスま

での距離が 1000 km 以内になると、チェックコントロールメッセージが白色で表示されます。

92 TFTディスプレイ

オンボードコンピューター

オンボードコンピューターを呼び出す

- メニューMy Motorcycle を呼び出します。
- メニューパネルオンボードコンピューターが表示されるまで、右にめくります。

オンボードコンピューターをリセットする

- オンボードコンピューターを呼び出す (▶▶▶ 92)。
- MENU ロッカーボタン下側を押します。
- すべての値をリセットする または個々の値をリセットする を選択し、確定します。

以下の値を個別にリセットすることができます：

- 休憩
- 走行
- 現在 (TRIP 1)
- 速度
- 燃費

トラベルボードコンピューターを呼び出す

- オンボードコンピューターを呼び出す (▶▶▶ 92)。
- メニューパネルトリップコンピューターが表示されるまで、右にめくります。

トラベルボードコンピューターをリセットする

- トラベルボードコンピューターを呼び出す (▶▶▶ 92)。
- MENU ロッカーボタン下側を押します。
- 自動的にリセットする またはすべての値をリセットする を選択し、確定します。
- »自動的にリセットする が選択されている場合、イグニッションOFF後に6時間以上が経過して日付が変わると、トラベルボードコンピューターは自動的にリセットされます。

ナビゲーション

警告



警告

走行中またはエンジン作動中にスマートフォンを操作する事故が起こる危険

- それぞれ適用される道路交通規則を確認し、遵守してください。
- 走行中は使用しないこと(ハンズフリーユニットを使用しての電話など、操作する必要のない利用を除く)。

**警告****交通状態から注意が逸れ、制御不能になる危険**

統合型情報システムおよび通信機器を走行中に操作することで事故を起こす危険

- これらのシステムおよび装置の操作は、それが可能な交通状況のもとでのみ行ってください。
- 必要に応じて停車し、システムまたは装置を停止状態で操作してください。

前提条件

車両が互換性のある携帯端末機器と Bluetooth 経由で接続されていること。

接続されている携帯端末機器に BMW Motorrad Connected App がインストールされていること。



iOS オペレーティングシステム搭載機器など一部の携帯端末機器では、使用前に BMW Motorrad Connected App を呼び出す必要があります。

目的地アドレスを入力する

- モバイル端末機器を接続する (▶▶▶ 87)。
- BMW Motorrad Connected アプリを呼び出し、目的地ガイドをスタートさせます。

- TFT ディスプレイでメニューナビゲーションを呼び出します。
- ▶▶ ON になっている目的地ガイドが表示されます。
- ▶▶ アクティブなルートガイドが表示されない場合には、「仕様(諸元)」の章のトラブルシューティングを参照してください。(▶▶▶ 199)

目的地を直近の目的地から選択する

- メニューナビゲーション、前回の目的地を呼び出します。
- 目的地を選択し、確定します。
- ルート案内を開始を選択します。

目的地をお気に入りから選択する

- メニューお気に入りには、BMW Motorrad Connected アプリでお気に入り登録されているすべての目的地を表示します。TFT ディスプレイでは新しいお気に入りを登録することはできません。
- メニューナビゲーション、お気に入りを呼び出します。
- 目的地を選択し、確定します。
- ルート案内を開始を選択します。

94 TFTディスプレイ

追加目的地を入力する

- 観光地などの追加目的地を地図に表示させることができます。
- メニューナビゲーション、POIを呼び出します。

以下の場所を選択することができます：

- 現在地で
- 目的地で

-ルートに沿って

- どの場所で追加目的地を検索するか、選択してください。

例えば、以下の追加目的地を選択することができます：

-ガソリンスタンド

- 追加目的地を選択し、確定します。
- ルート案内を開始を選択し、確定します。

ルート基準を決定する

- メニューナビゲーション、ルートの基準を呼び出します。

以下の基準を選択することができます：

- ルートタイプ
- 回避

- 希望のルートタイプを選択します。
- ご希望の回避をONまたはOFFにします。

有効にした回避の数がカッコ内に表示されます。

ルート案内を終了する

- メニューナビゲーション、作動中のルート案内を呼び出します。
- ルート案内を終了を選択し、確定します。

音声指示をONまたはOFFにする

- ライダー用ヘルメットとパッセンジャー用ヘルメットを接続する (▶▶▶ 87)。
- ナビゲーションはコンピューター音声による読み上げが可能です。そのためには音声案内がONになっている必要があります。
- メニューナビゲーション、作動中のルート案内を呼び出します。
- 音声案内をONまたはOFFにします。

直前の音声指示を繰り返す

- メニューナビゲーション、作動中のルート案内を呼び出します。
- 現在の音声案内を選択し、確定します。

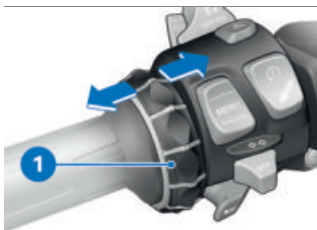
メディア

前提条件

車両が互換性のある携帯端末機器および互換性のあるヘルメットと接続されていること。

96 TFTディスプレイ

電話をする



- メニュー電話 を呼び出します。
- 電話を受ける：マルチコントローラー 1 を右に傾けます。
- 電話を拒否する：マルチコントローラー 1 を左に傾けます。
- 通話を終了する：マルチコントローラー 1 を左に傾けます。

ミュートスイッチ

通話が有効な際に、ヘルメットのマイクロフォンをミュートに切り替えることができます。

複数の相手との通話

通話中に、別の相手からの着信を受けることができます。最初の通話は保留になります。継続中の通話の数がメニュー電話 に表示されます。2つの通話間で切り替えを行うことができます。

電話データ

モバイル端末機器によっては、ペアリング (▶▶ 86) 後に電話データが車両に自動的に伝送されます。

電話帳：モバイル端末機器に保存されているコンタクトリスト

通話履歴：モバイル端末機器での通話リスト

お気に入り：モバイル端末機器に保存されているお気に入りリスト

ソフトウェアバージョンを表示する

- メニュー設定、情報、ソフトウェアバージョン を呼び出します。

ライセンス情報を表示する

- メニュー設定、情報、ライセンス を呼び出します。

調整

06

ミラー	100
ヘッドライト	100
クラッチ	101
ブレーキ	102
スプリングプリロード	102
ショックアブソーバー	103

100 調整

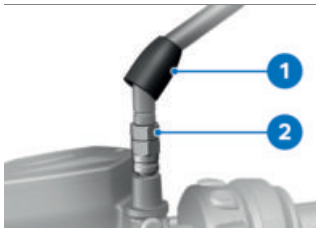
ミラー

ミラーを調整する




- ミラーを回してご希望の位置にくるように調整します。

ミラーアームを調整する



- ミラーアーム接続部にかぶせてある保護キャップ **1** を上へずらします。
- ナット **2** を緩めます。
- ミラーアームをご希望の位置に回します。
- ミラーアームを保持しながら、ナットをトルクで締め付けます。

 ミラー(ロックナット)
とクランプ

M10 x 1.25

22 Nm (左ネジ)


- 保護キャップをねじ止め部の上
にずらします。

ヘッドライト

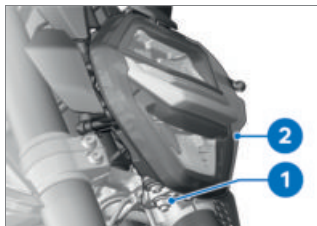
光軸およびスプリングプリロード

通常、積載条件に応じてスプリングプリロードを調整することにより、光軸は常に一定になります。

積載荷重による負荷が非常に高い場合、スプリングプリロードの調整が不十分になっていることがあります。その場合は、光軸を重量に合わせて調整する必要があります。

 光軸が正しく調整されているか疑わしい場合には、できればBMW Motorrad、もしくは専門の整備工場に調整状態を確認するよう依頼してください。

光軸を調整する



積載負荷が高く、スプリングプリロードの調整が適切でない場合には、対向車を眩感しないようにするため、以下の手順を実行します：

- 左右ヘッドライトの光軸の高さの調整をアジャストスクリュー 1(左右)で行います。

モーターサイクルを再度、積載を少なくして走行する場合：

- ヘッドライトを基本設定に戻します。
- ナット 1 を緩めます。
- ヘッドライト 2 を軽く傾けて調整します。
- ナット 1 を締め付けます。

クラッチ

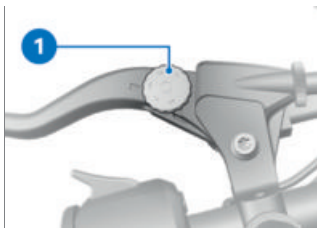
クラッチレバーを調整する



警告

**走行中のクラッチレバーの調整
事故の危険**

- クラッチレバーの調整はモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。



- クラッチレバーとハンドルグリップ間の間隔を大きくするには、アジャストスクリュー 1 を時計回りに回します。
- クラッチレバーとハンドルグリップ間の間隔を小さくするには、アジャストスクリュー 1 を反時計回りに回します。



クラッチレバーを前に向かって押すと、アジャストスクリューをより簡単に回せるようになります。

102 調整

ブレーキ

ブレーキレバーを調整する



警告

ブレーキフルードタンクの位置の変更

ブレーキシステム内のエア

- ハンドルバーフィッティングまたはハンドルバーを回せない。

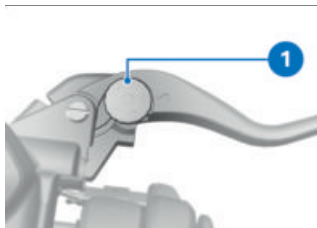


警告

走行中にブレーキレバーを調整する

事故が起こる危険

- ブレーキレバーの調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。



- 調整ボルト **1** を反時計回りに回し、ハンドブレーキレバーとハンドルグリップの間隔を広げます。

- 調整ボルト **1** を時計回りに回し、ハンドブレーキレバーとハンドルグリップの間隔を狭めます。



- ブレーキレバーを前方へ押すと、アジャストスクリューは簡単に回ります。

スプリングプリロード

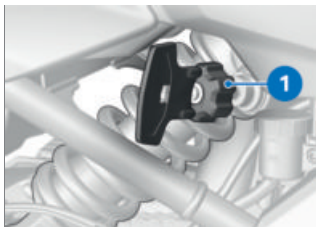
-Dynamic ESA^{OE} 非装備

調整

リヤホイールのスプリングプリロードを、モーターサイクルの積載荷重に合わせて調整してください。積載荷重が重くなれば、スプリングプリロードを高く調整し、重量が軽くなれば、それに合わせてスプリングプリロードも低く調整する必要があります。

リヤホイールのスプリングプリロードを調整する

- シートを取り外す (▶▶ 72)。
- ツールキットを取り外します。

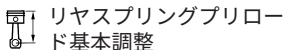
**警告**

スプリングプリロードとスプリングストラットダンピングの調整が適合していない。

走行特性の低下。

- スプリングストラットダンピングをスプリングプリロードに合わせて調整します。

- スプリングプリロードを高くするには、ツールキットを使用してアジャストノブ **1** を時計回りに回します。
- スプリングプリロードを低くするには、ツールキットを使用してアジャストノブ **1** を反時計回りに回します。



アジャストノブを反時計回り(左回り)にストップ位置まで回します。(1名乗車時、荷物積載なし)



アジャストノブをストップ位置まで反時計回りに回してから、時計回りに 20 回転回します。(1名乗車時、荷物積載あり)

アジャストノブをストップ位置まで時計回りに回します。(2名乗車+荷物積載時)

- ツールキットを再び組み込みます。
- シートを取り付ける (▶▶▶ 73)。

ショックアブソーバー

-Dynamic ESA^{OE} 非装備

調整

ショックアブソーバーは、必ず路面状態およびスプリングプリロードに合わせて、調整してください。

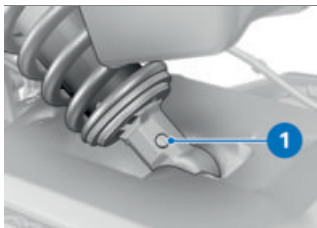
-凸凹のある路面では、平坦な路面の場合よりも、ショックアブソーバーはソフトに設定されている方が効果的です。

-スプリングプリロードが高い場合は、ショックアブソーバーもハードに調整し、スプリングプリロードが低い場合は、ショックアブソーバーもソフトに調整する必要があります。

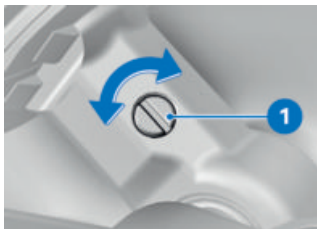
104 調整

リヤホイールのショックアブソーバーを調整する


- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。



- ショックアブソーバーをアジャストスクリュー 1 で調整します。



- ダンピングをハードにするには、アジャストスクリュー 1 を時計回りに回します。
- ダンピングをソフトにするには、アジャストスクリュー 1 を反時計回りに回します。

 リヤショックアブソーバーの基本調整

アジャストスクリューをストップ位置まで時計回りに回してから、1.5 回転戻します。(1 名乗車時、荷物積載なし)

調整ボルトをストップ位置まで時計回りに回してから、0.5 回転戻します。(1 名乗車時、荷物積載あり)

アジャストスクリューをストップ位置まで時計回りに回してから、0.25 回転戻します。(後席乗車時、荷物積載あり)

走行

07

安全に関する注意事項	108
定期点検	111
始動	112
慣らし走行	116
ギヤチェンジ	117
シフトポイント用フラッシュ	118
ブレーキ	118
駐車	120
給油	121
モーターサイクルを搬送用に固定します	126

安全に関する注意事項

ライダーエクイップメント

正しい装備品を装着／着用しないでモーターサイクルに乗ることは、極めて危険です。次のアイテムを、必ず装着／着用してください。

- ヘルメット
- ライディングスーツ
- グローブ
- ブーツ

走行距離の長短や季節にかかわらず、これらのアイテムは必ず装着／着用しなければなりません。BMW Motorrad ディーラーは喜んでご相談に応じます。また、それぞれの目的に合わせた、適切なアイテムをご用意しています。



警告

むき出しで動いている車両部品(ホイール、ドライブシャフト)に、荷物、ゆったりと着用した衣服、ベルトなどが巻き込まれる

事故が起こる危険

- むき出しで動いている車両部品に、ゆったりと着用した衣服などが決して巻き込まれることがないようにしてください。
- 荷物やテンションベルト、ラッシングストラップなどは、むき出しで動いている車両部品から離れたところに保持してください。

最大許容バンク角の減少

-ローダウン^{OE} 装備

ローダウンサスペンションを装着しているモーターサイクルの場合、標準サスペンションを装備しているモーターサイクルよりも、可能なバンク角度が小さくなり、最低地上高が低くなります(「仕様(諸元)」の章を参照)。

警告

ローダウン仕様のモーターサイクルでコーナリングを行う場合に、車両部分を通常より早めに起こすことができます。

転倒の危険

- 車両の最大許容バンク角を注意深く確認し、走行スタイルをそれに合わせて調整してください。

危険のない状況で、ご使用のモーターサイクルの許容バンク角を点検してください。縁石の角や障害物などを乗り越えるときには、車両の最低地上高が低く制限されていることを考慮に入れてください。

ローダウンサスペンションのモーターサイクルでは、スプリングトラベルが短くなります。それまでの走行快適性も制限される可能性があります。タンデム走行においては専用スプリングプリロードを調整する必要があります。

荷物の積み方

警告

積載超過や不均等な積載により、走行安定性が損なわれる転倒の危険

- 許容総重量を超えないようにし、積載に関する注意をお守りください。
- スプリングプリロードおよびショックアブソーバーの設定を車両重量に合わせて調整します。
- ケース^{0A} 装備
- ケースの容量が左右均等になっているか確認します。
- 重量が左右均等になっているか確認します。
- 重いものはケースの下部の内側に入れます。
- 最大積載荷重および最高速度を確認し、遵守してください(「アクセサリー」の章も参照 (▶▶ 182))。



ケースごとの積載荷重

max 5 kg◁

- トップケース^{0A} 装備

- 最大積載荷重および最高速度を確認し、遵守してください(「アクセサリー」の章も参照 (▶▶ 184))。

110 走行



トップケースの積載荷重

max 5 kg\leq

車速

高速走行時には、以下のようなさまざまな周辺条件が、モーターサイクルの走行特性に悪影響を及ぼす可能性があります：

-スプリングプリロードおよびショックアブソーバーの間違った調整

-荷物積載のアンバランス

-不適切な服装

-タイヤ空気圧が低すぎる

-タイヤトレッドの摩耗

-ケース、トップケース、タンクバッグなどのラゲッジシステムが取り付けられている。

有毒物質

排気ガスは無色無臭ですが、たいへん有毒な一酸化炭素を含有しています。



警告

健康を害するおそれのある排ガス

窒息の危険

- 排ガスを吸い込まないようにしてください。
- 閉め切った場所で、エンジンを作動させないでください。



警告

健康を損なう蒸気などを吸い込むこと

健康を損なう危険

- フルード類およびプラスチック類から生じる蒸気を吸い込まないでください。
- モーターサイクルは屋外でのみ使用してください。

火傷の危険



注意

走行中のエンジンおよびエキゾーストシステムの過熱

火傷の危険

- 車両を駐車した後、誰も、何も、エンジンやエキゾーストシステムに触れないように注意してください。



警告

ラジエーターキャップを開く

火傷の危険

- ラジエーターキャップは、熱くなっている状態のときには開かないでください。
- クーラントレベルをリザーバータンクでのみ点検し、必要に応じて補給してください。

触媒コンバーター

ミスファイアーにより触媒コンバーターに未燃焼のガソリンが流入した場合、オーバーヒートや損傷が生じるおそれがあります。

以下の規定を遵守してください：

- フューエルタンクを空にしない
- スパークプラグのキャップを外したままエンジンを作動させない
- ミスファイアーが発生した場合は、ただちにエンジンを停止させる
- 無鉛ガソリンのみを使用する
- 指定されているメンテナンススケジュールを遵守する。

重要事項

触媒コンバーター内の未燃焼燃料

触媒コンバーターの損傷

- 触媒コンバーターの保護のため、作動ポイントに注意してください。

オーバーヒート

重要事項

長時間のアイドリング

- 冷却不足によるオーバーヒート、極端な場合には車両の燃焼
- エンジンを不必要にアイドリングしたままにしないでください。
 - エンジンを始動したら、ただちに発進してください。

改造

重要事項

モーターサイクルの改造(例：エンジンマネジメントシステム、スロットルバタフライ、クラッチ)

関連するコンポーネントの損傷、安全に関わる機能の故障、保証の失効

- いかなる改造も行わないでください。

定期点検

チェックリストを確認し、遵守する

- モーターサイクルを定期的に点検するため、以下のチェックリストを使用してください。

112 走行

積載状態に変化があった場合：

- Dynamic ESA^{OE} 非装備
- リヤホイールのスプリングプリロードを調整する (▶▶▶ 102)。
- リヤホイールのショックアブソーバーを調整する (▶▶▶ 104)。◁
- Dynamic ESA^{OE} 装備
- ショックアブソーバーを調整する (▶▶▶ 59)。◁

走行開始のたびに：

- ブレーキシステムの機能を点検します。
- 照明および信号装置の機能を点検します。
- クラッチの機能を点検する (▶▶▶ 153)。
- タイヤのトレッド溝の深さを点検する (▶▶▶ 155)。
- タイヤ空気圧を点検する (▶▶▶ 155)。
- ケースおよび荷物が確実に固定されているか確認します。

燃料補給3回目ごと：

- エンジンオイルレベルを点検する (▶▶▶ 146)。
- フロントブレーキパッド厚を点検する (▶▶▶ 149)。
- リヤブレーキパッド厚を点検する (▶▶▶ 150)。
- フロントブレーキフルードレベルを点検する (▶▶▶ 150)。
- リヤブレーキフルードレベルを点検する (▶▶▶ 152)。

- クーラントレベルを点検する (▶▶▶ 154)。
- チェーンの潤滑を行う (▶▶▶ 167)。
- チェーンの張り具合を点検する (▶▶▶ 167)。

始動

エンジンを始動する



重要事項

エンジン作動状態でのみ、ギヤボックスの潤滑が十分に行われている。

ギヤボックスの損傷

- エンジンを停止した状態でモーターサイクルを長時間前進させたり、長い距離を惰行させないでください。

- イグニッションを ON にする (▶▶▶ 48)。
 - » Pre-Ride-Check が実行されます。 (▶▶▶ 113)
 - » ABS 自己診断が実施されます。 (▶▶▶ 114)
 - » DTC 自己診断が実施されます。 (▶▶▶ 115)
- ニュートラルに設定するか、ギヤを入れた状態でクラッチを切ります。




サイドスタンドを立てている状態でもギヤを入れることはできますが、モーターサイクルを発進させることはできません


ん。モーターサイクルをニュートラルで始動させ、サイドスタンドを出した状態で1速に入れると、エンジンは停止します。



- スターターボタン **1** を操作します。

 バッテリー電圧が十分でない場合、始動動作は自動的に中断されます。始動操作を続ける前に、バッテリーを充電するか、ジャンプスタートを行ってください。

詳細については、「メンテナンス」の章の「ジャンプスタート」を参照してください。

 エンジンが始動します。

» エンジンが始動しない場合は、「仕様(諸元)」の章のトラブルシューティングを参照してください。(▶▶ 198)

Pre-Ride-Check (走行前点検)

イグニッションを ON にした後、メーターパネルがインジケーター／警告灯のテスト、いわゆるPre-Ride-Check (走行前点検) を実施します。その終了前にエンジンを始動すると、テストは中断されます。

ステップ1

すべてのインジケーター／警告灯が点灯します。

車両が比較的長い間停止状態にあった後にシステムをスタートされると、アニメーションが表示されます。

段階2

ジェネラル警告灯が赤から黄に変わります。


ステップ3

点灯しているすべてのインジケーター／警告灯が逆の順序で消灯します。

駆動システム故障警告灯は 15 秒後に消灯します。

インジケーター／警告灯が点灯しなかった場合：

- BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

 走行モードまたはその設定に応じて、走行ダイナミック

114 走行

ス制御システムの介入が制限されていることがあります。起こりうる制限については、注意！ ABS+DTC の設定。などのポップアップメッセージで表示されます。


ABS および ASC/DTC のような走行ダイナミクス制御システムに関する詳細情報については、「技術情報」の章をご覧ください。

ABS 自己診断

BMW Motorrad ABS の作動可能状態は、自己診断により点検されません。自己診断は、イグニッションを ON にすると自動的に始まりません。


ステップ 1

» 停止状態で診断可能なシステムコンポーネントの点検。

 ABS インジケーター／警告灯が点滅します。

段階 2

» 発進時のホイール回転数センサーの点検。

 ABS インジケーター／警告灯が点滅します。

ABS 自己診断が終了

» ABS 表示灯／警告灯が消灯します。

 ABS 自己診断が完了していません

ABS は、自己診断が完了しなかったため、使用できません。(ホイール回転数センサーを点検するには、モーターサイクルが最低速度に達する必要があります : 5 km/h)

ABS 自己診断の完了後に、ABS の不具合が表示される場合：


- 走行を続行することは可能です。ABS 機能が使用できないことに注意してください。
- BMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

ASC 自己診断

BMW Motorrad ASC の作動可能状態は、自己診断により点検されません。自己診断は、イグニッションを ON にすると自動的に始まりません。


ステップ 1

» 診断可能なシステムコンポーネントを停止状態で点検します。

 ASC インジケーター／警告灯がゆっくりと点滅します。

段階 2


» 走行中に診断可能なシステムコンポーネントを点検します。

 ASC インジケーター／警告灯がゆっくりと点滅します。

ASC 自己診断が終了

» ASC 表示灯／警告灯が消灯します。

- すべてのインジケーター／警告灯の表示に注意してください。

 ASC の自己診断が完了していません

自己診断が完了しなかったため、ASC は使用できません。(ホイールセンサーを点検するには、モーターサイクルが最低速度に達する必要があります：min 5 km/h)

ASC 自己診断の終了後、ASC の故障が表示される場合：


- 走行を続行することは可能です。ASC 機能が使用できないことに注意してください。
- BMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

DTC 自己診断

BMW Motorrad DTC の作動可能状態は、自己診断により点検されません。自己診断は、イグニッションを ON にすると自動的に始まりません。


ステップ 1

» 停止状態で診断可能なシステムコンポーネントの点検。

 ゆっくりと点滅します。

段階 2


» 発進時に診断可能なシステムコンポーネントの点検。

 ゆっくりと点滅します。

DTC 自己診断が終了しました

» DTC アイコンが表示されなくなります。

- すべてのインジケーター／警告灯の表示に注意してください。

 DTC 自己診断が完了していません

自己診断が完了していないため、DTC 機能を使用できません。(ホイール回転数センサーの点検を行うには、モーターサイクルがエンジン作動状態で最低速度に達していなければなりません：min 5 km/h)

116 走行

DTC 自己診断の完了後に、DTC の不具合が表示される場合：

- 走行を続行することは可能です。DTC 機能が使用できない、または機能の使用に制限があることに注意してください。
- BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

慣らし走行

エンジン

- 初回点検までは、スロットル開度とエンジン回転数を頻繁に変化させてください。一定の回転数での長時間の走行は避けてください。
- できる限り高速道路は避け、カーブが多く、なだらかな坂のある道を選んでください。
- 慣らし走行中のエンジン回転数を遵守してください。



慣らし走行中のエンジン
回転数

<6500 min⁻¹ (走行距離
0...1200 km)

フルロードなし (走行距離
0...1200 km)

- 慣らし運転を行う際に従うべき走行距離を守ってください。



最初の慣らし運転までの
走行距離

500...1200 km

ブレーキパッド

新品のブレーキパッドは、最適な摩擦力に達するまで、慣らし走行が必要です。この段階のブレーキの効きの弱さは、ブレーキレバーを強く握ることで補うことができます。



警告

新しいブレーキパッド

制動距離の延長、事故を起こす危険

- 早めにブレーキングしてください。

タイヤ

新しいタイヤの表面はきわめてなめらかな状態です。したがって、表面が適度に荒れるまで、慎重に慣らし走行を行う必要があります。タイヤの持つ最大のグリップ力を引き出すためには、この慣らし手順を必ず実行してください。



警告


路面が濡れている場合や著しく傾斜している場所で新しいタイヤのグリップが失われる事故の危険

- よく前方に注意して走行し、急な傾斜のある場所は回避してください。

ギヤチェンジ

-シフトアシストPro^{OE} 装備

ギヤシフトアシストPro

 ギヤシフトアシストPro を使用してシフトダウンを行う場合には、安全上の理由から、クルーズコントロールは自動的にOFFになります。



●ギヤ入れは、従来と同様に、シフトペダルにかかる踏力で行われます。

»ギヤシフトアシストはシフトアップ/シフトダウンにおいてライダーをサポートするものであり、シフトアップ/シフトダウンの際に、クラッチやスロットルグリップを操作する必要がありません。

-オートマチックは関係がありません。

-ライダーがシステムの重要な構成要素であり、シフトを行う時点を決定します。

-シフトシャフトのセンサー **1** がシフトの希望を検知し、シフトサポートを開始させます。

»定速走行時にローギヤのまま高回転域に達している場合、クラッチ操作なしでのギヤシフトは過度な荷重移動による反応を招くおそれがあります。

-BMW Motorrad は、このような走行条件においてはクラッチ操作を伴うシフト切替のみをお勧めします。

-限度回転域におけるギヤシフトアシストProの使用は避けてください。

»以下の状況では、シフトアシストは作動しません：

-クラッチが操作されている場合。

-シフトレバーが初期位置にない場合

-スロットルバタフライを閉じた状態(惰性走行)または減速時のシフトアップ。

-スロットル開時、またはスロットルバタフライが開いている状態でのシフトダウン時。

●ギヤシフトアシストProを使用してさらにギヤ切替を行えるようにするには、シフト動作後に、シフトレバーにかかる負荷を完全に解除します。詳細情報：ギヤシフトアシストPro (▶▶▶ 139)

118 走行

シフトポイント用フラッシュ

-走行モードPro^{OE} 装備

機能



シフトポイント用フラッシュ **1** は、高速へのシフトチェンジのタイミングに近づいていることを知らせます。

-設定されている周波数でシフトポイント用フラッシュが点滅：シフト回転数に間もなく到達します

-シフトポイント用フラッシュが消灯：シフト回転数に達しています

回転数しきい値およびシフトポイント用フラッシュの点灯方法については、メニュー設定、車両設定で調整することができます（「操作」の章も参照（▶▶ 68））。

ブレーキ

制動距離を最短にするには？

フロント／リヤホイール間の力学的な負荷配分は、ブレーキングによって変わります。ブレーキングが強くなるほど、フロントホイールにはより大きな負荷がかかります。そしてホイールにかかる負荷が大きくなるほど、より大きな制動力が伝達されます。制動距離を最短にするには、徐々に強くなるようフロントブレーキをかけることが必要です。それにより、フロントホイールにかかる負荷の力学的な増加が、最も効果的に利用されます。同時に、クラッチは切っておく必要があります。しばしばトレーニングされる「緊急ブレーキ」では、ブレーキ圧ができるかぎり早急に最大の力で生成されます。力学的な負荷配分が減速に追いつけなくなり、制動力が完全には路面に伝達できなくなります。フロントホイールがロックするおそれがあります。フロントホイールのロックは、BMW Motorrad ABSによって回避されます。

ハザードブレーキング

50 km/h を超える速度で急ブレーキをかけると、ブレーキライトが素早く点滅することで、後方の運転者に対する追加警告が発せられます。

その際 15 km/h 未満までに減速すると、ハザードランプが ON になります。速度が 20 km/h 以上になると、ハザードランプは自動的に再び OFF になります。

下り坂



警告

山道や狭い通路などを抜けるときに強烈なリヤブレーキをかける

オーバーヒートによるブレーキの破損、制動作用の損失

- フロントおよびリヤブレーキを作動させて、エンジンブレーキを使用してください。

濡れて汚れたブレーキ

ブレーキディスクやブレーキパッドが濡れていたり汚れていたりすると、ブレーキの効きが悪くなります。

以下の状況では、ブレーキの効きが遅れたり悪くなったりすることを、必ず考慮してください：

- 雨天走行時や、水たまりの中を走行した場合。
- 洗車の後。
- 塩が撒かれた路面を走行したとき。
- ブレーキ関連作業の後で、オイルやグリースの残留物による。
- 汚れている路面や、オフロードの走行時。



警告

濡れや汚れが原因でブレーキの効きが悪くなる

事故の危険

- ブレーキを乾燥させて汚れをとり、必要に応じて清掃します。
- 再び制動力を完全に発揮できるようになるまでは、ブレーキを早めに操作してください。

ABS Pro

- 走行モードPro^{OE} 装備

120 走行

走行における物理的境界



警告

コーナーにおけるブレーキング
ABS Pro 装備でもある転倒の危険性

- どのような走行スタイルを適切とするか、ライダーの責任が問われます。
- 安全のためのサポートを、リスクな走行により制限しないでください。

ABS Pro はDynamic PRO 以外のすべての走行モードで使用することができます。

転倒をなくすことはできない

たとえABS Pro がライダーのために、バンク時のブレーキングの際に 100%のサポートを行い、安全性において著しいプラス効果を発揮しても、走行における物理法則の限界を超えられるものではありません。従来と同様に、誤った判断や運転ミスなどにより、この限界を超えることがあります。極端なケースでは、それが転倒につながることもあります。

公道での使用

ABS Pro は、公道においてモーターサイクルをより安全に使用するためのものです。コーナーにおける思いがけない危険な状況が原因のブレーキング時に、

走行における物理的境界の範囲内で、ホイールのロックやスリップを回避します。



ABS Pro はバンク時の個々のブレーキ性能の向上のために開発されたものではありません。

駐車

サイドスタンド

- エンジンを停止させます。



重要事項

スタンドを使用している路面の状態が悪い

転倒によるコンポーネントの損傷

- スタンドを立てる路面が、平坦で固くしっかりとしているか確認してください。



重要事項

追加重量によるサイドスタンドの負荷

転倒によるコンポーネントの損傷

- 車両がサイドスタンドで立てられている状態のときには、着座しないでください。
- サイドスタンドを出し、モーターサイクルを立てます。

- 路面の傾斜に無理がなければ、ハンドルバーを左へ回しておきます。
- 勾配のある路面では、モーターサイクルを「上り」方向に向けて立て、1速に入れます。

メイン(センター) スタンド

-センタースタンド^{OE} 装備

- エンジンを停止させます。



重要事項

スタンドを使用している路面の状態が悪い

転倒によるコンポーネントの損傷

- スタンドを立てる路面が、平坦で固くしっかりとしているか確認してください。



重要事項

激しい動きとともにメイン(センター) スタンドを格納する

転倒によるコンポーネントの損傷

- メイン(センター) スタンドを出したままの状態でもーターサイクルに着座しないでください。
- メイン(センター) スタンドを出し、モーターサイクルを立てます。

給油

燃料品質

前提条件

最適な燃費となるよう、サルファー(硫黄)フリーの燃料、またはできる限り硫黄が少ない燃料を使用してください。



重要事項

有鉛ガソリンを給油する
触媒コンバーターの損傷

- 有鉛ガソリンや金属添加物(マンガン/鉄など)を含む燃料は決して給油しないでください。

- 燃料に含まれるエタノールの最大比率に注意してください。



ガソリン添加剤はフューエルインジェクションシステムおよび燃焼エリアを洗浄する効果があります。低品質の燃料を給油した場合、または、長期間使用しなかった場合には、ガソリン添加剤を使用する必要があります。詳しい情報につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。



推奨されている燃料品質 F 900 R A2 (OK31)

A2 バージョンは異なる燃料品質のものと一緒に給油することができます。詳細情報については

122 走行

「仕様(諸元)」の章をご確認ください。



推奨フューエルグレード

無鉛プレミアムガソリン(ハイオク) (最大 15 %エタノール、E15)

95 ROZ/RON

90 AKI

給油手順



警告

**フューエルは簡単に引火します
火災や爆発の危険**

- フューエルタンクに関する作業時には、いかなる場合でも、決してタバコを吸ったり、火を使ったりしないでください。



警告

**燃料タンクの充填量が多すぎると、熱の影響で燃料が膨張した場合に漏れる
転倒の危険**

- フューエルタンクを充填しすぎないでください。



重要事項

**プラスチック表面に燃料が付着
表面の損傷(見苦しくなる、またはつやのない状態になる)**

- プラスチック表面が燃料に触れた場合には、ただちに清掃します。

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをサイドスタンドで立てます。
-センタースタンド^{OE} 装備
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン(センター) スタンドで立てます。◁




- 保護キャップ **1** を開きます。
- フューエルタンクのロック **2** を、車両キーを使用して時計回りに回してロック解除し、開きます。




- 燃料を最高でフィラーネックの下端まで補給してください。

i 燃料残量を下回った後に給油を行う場合、給油後の充填量が燃料残量を上回る必要があります。これにより新たな充填レベルが検知され、燃料残量警告灯がOFFになります。

i テクニカルデータ(仕様諸元)に記載されている「フューエル容量」は、フューエルタンクが空に近づき、燃料不足でエンジンが停止したときに給油できる燃料の量です。

 フューエルタンク容量

約 13 l

 フューエルリザーブ容量

約 3.5 l

- フューエルタンクキャップを強く押して閉めます。
- 車両キーを抜き取り、保護キャップを閉めます。

給油手順

-Keyless Ride^{OE} 装備

前提条件

ステアリングロックはロック解除された状態です。

警告

フューエルは簡単に引火します
火災や爆発の危険

- フューエルタンクに関する作業時には、いかなる場合でも、決してタバコを吸ったり、火を使ったりしないでください。

警告

燃料タンクの充填量が多すぎると、熱の影響で燃料が膨張した場合に漏れる
転倒の危険

- フューエルタンクを充填しすぎないでください。

重要事項

プラスチック表面に燃料が付着
表面の損傷(見苦しくなる、またはつやのない状態になる)


- プラスチック表面が燃料に触れた場合には、ただちに清掃します。


124 走行

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルをサイドスタンドで立てます。
- センタースタンド^{OE} 装備
- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルをメイン(センター) スタンドで立てます。◁

- Keyless Ride^{OE} 装備

- イグニッションを OFF にする (▶▶ 51)。

 イグニッションを OFF にした後、無線キーが受信範囲内にない場合でも、タンクキャップを特定のアフターランニング時間以内に開くことができます。

 タンクキャップを開くためのアフターランニング時間

2 min

- » タンクキャップは、以下の2つの方法で開くことができます：
- アフターランニング時間内。
 - アフターランニング時間の経過後。

バリエーション1

- Keyless Ride^{OE} 装備

前提条件

アフターランニング時間内



- タンクキャップのタブ **1** をゆっくりと引き上げます。
- » タンクキャップはロック解除されています。
- タンクキャップを完全に開きます。

バリエーション2

- Keyless Ride^{OE} 装備

前提条件

アフターランニング時間の経過後

- 無線キーを受信範囲内に持ち込みます。
- タブ **1** をゆっくりと引き上げます。
- » 無線キーを検索している間は、無線キー用表示灯が点滅します。
- タンクキャップのタブ **1** を再びゆっくりと引き上げます。
- » タンクキャップはロック解除されています。
- タンクキャップを完全に開きます。



- 前述のグレードのフューエルをフィラーネックの下端(MAX位置)まで補給します。

i 燃料残量を下回った後に給油を行う場合、給油後の充填量が燃料残量を上回る必要があります。これにより新たな充填レベルが検知され、燃料残量警告灯がOFFになります。

i テクニカルデータ(仕様諸元)に記載されている「フューエル容量」は、フューエルタンクが空に近づき、燃料不足でエンジンが停止したときに給油できる燃料の量です。



フューエルタンク容量

約 13 l



フューエルリザーブ容量

約 3.5 l

- フューエルタンクのタンクキャップを、力を込めて下へ押しします。

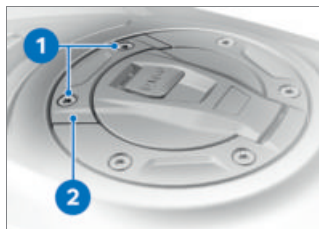
- » タンクキャップが音をたててかみ合います。
- » アフターランニング時間の経過後、タンクキャップが自動的にロックします。
- » しっかりとかみ合ったタンクキャップは、ハンドルロックのロックまたはイグニッションONに伴い、ただちにロックがかかります。

タンクキャップ緊急ロック解除機構を開く

—Keyless Ride^{OE} 装備

タンクキャップが開きません。

- BMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。



- ボルト **1** を取り外します。
- 緊急ロック解除機構 **2** を取り外します。
- » タンクキャップはロック解除されています。
- タンクキャップを完全に開きません。

126 走行

- 給油 (▶▶▶ 123)。
- タンクキャップ緊急ロック解除機構を閉じる (▶▶▶ 126)。

タンクキャップ緊急ロック解除機構を閉じる

-Keyless Ride^{OE} 装備

前提条件

タンクキャップは閉じている状態です。



- 緊急ロック解除機構 2 を位置決めします。
- ボルト 1 を取り付けます。

モーターサイクルを搬送用に固定します

- 固定用ベルトが取り回されているすべてのコンポーネントを、損傷しないように保護します (接着テープや柔らかなウェスなどを使用してください)。



重要事項

リフトアップのときに車両が左右に傾く
転倒によるコンポーネントの損傷

- 車両が倒れないよう、サポートする方と一緒に作業するようにしてください。
- モーターサイクルを搬送用プレートの上へ移動させます。サイドスタンドやメイン(センター)スタンドで立てないでください。



重要事項

コンポーネントの挟み込み

コンポーネントの損傷

- コンポーネント(ブレーキラインやケーブルなど)が挟み込まれないようにしてください。
- フロント側固定ベルトをロアーフォークブリッジに取り付けてピンと張ります(左右)。



- リヤ側テンションストラップをフットレストプレートに取り付けて固定し、ピンと張ります(左右)。
- すべての固定ベルトを均等にピンと張ります。

技術情報

08

一般的な情報	130
アンチロックブレーキシステム(ABS)	130
トラクションコントロール(ASC/DTC)	133
エンジンブレーキトルクレギュレーター	134
DYNAMIC ESA	135
走行モード	136
ダイナミックブレーキコントロール	138
ギヤシフトアシスト	139
アダプティブヘッドライト	140

一般的な情報

技術に関するさらに詳しい情報については、以下を参照してください：

bmw-motorrad.com/technik

アンチロックブレーキシステム (ABS)

ABS はどのように作動するのでしょうか？

路面に伝達される最大ブレーキフォースは、様々な要因の中でも、路面の摩擦係数に依存しています。砂利、凍結、雪、水に覆われた路面の摩擦係数は、乾いた、クリーンなアスファルトの路面に比べてはるかに低いものになります。路面の摩擦係数が低くなるほど、制動距離は長くなります。

ライダーがブレーキ圧を上げたときに、路面にかかる最大制動力が限界を越えると、ホイールがロックし、方向安定性が失われます。そのため、転倒するおそれがあります。このような状況になる前に、ABS が介入して、伝達される最大制動力にブレーキ圧を適応させます。それによりホイールが回転し続け、路面状態に関係なく走行安定性が維持されます。

凸凹のある路面で起こることは？

起伏や凸凹のある路面によって、タイヤと路面のコンタクトが一時的に失われ、その結果、伝達されるブレーキフォースがゼロに落ち込むということが起こります。このような状況でブレーキングが行われる場合、路面とのコンタクトが復活したときに走行安定性を確保するため、ABS はブレーキ圧を下げる必要があります。このときBMW Motorrad ABS は、想定しうるいかなる状況においてもホイールが回転し、それによりモーターサイクルの安定性が確実になるよう、摩擦係数(ぬかるみ、凍結、雪の場合) をかなり低く見積もっています。実際の状況が明らかになった後、システムはブレーキ圧を最適な値にセットしなおします。

リヤホイールの浮き上がり

減速が著しく急激な場合、状況によってはBMW Motorrad ABS はリヤホイールの浮き上がりを回避できないことがあります。このような場合、モーターサイクルの横転もありえます。



警告

急激なブレーキによるリヤホイールの浮き上がり

転倒の危険

- 急ブレーキの際には、ABS 制御は、必ずしも常にリヤホイールの浮き上がりを防ぐものではないことに注意してください。

BMW Motorrad ABS はどのように設計されているのでしょうか？

BMW Motorrad ABS は、物理的限界内で、さまざまな路面における走行安定性を確保するためのものです。

車速が 4 km/h を超えると、BMW Motorrad ABS は物理的限界内でそれぞれの路面において走行安定性を確保することができます。より低速の場合には、BMW Motorrad ABS はシステム上の制約によりすべての路面では最適にサポートすることができません。

このシステムは、オフロードレースやレーストラックの過酷な状況で生じるような、特別な要求を満たすために設計されたものではありません。

特殊な状況

ホイールのロックを検知するために、特にフロントホイールとリヤホイールの回転数が比較されます。比較的長い時間にわたって妥当でない値が検出されると、安全上の理由からABS機能がOFFになり、ABSの故障の表示が出ます。エラーメッセージの表示には、自己診断が終了していることが前提となります。

BMW Motorrad ABS における問題の他にも、特殊な走行状態が原因でエラーメッセージが表示される場合があります：

- 長時間の後輪走行(ウィーリー)。
- フロントブレーキをかけた際に、その場で後輪が回転(空転)(バーンアウト)。
- センタースタンドまたは補助スタンドで車両を立てた状態で、ニュートラルでまたはギヤを入れて暖機運転する。
- エンジンブレーキによる長時間のリヤホイールのロック(滑りやすい路面での発進時など)。

特殊な走行状態によりエラーメッセージが表示された場合には、ABS機能は、イグニッションをOFF / ONにすることにより再び作動させることができます。

132 技術情報

定期的なメンテナンスの役割 りとは？



警告

**定期的にメンテナンスされ
ていないブレーキシステム
事故の危険**

- BMW Motorrad ABS を確実に最
適な整備状態にしておくため
に、規定の定期点検時期を必
ず順守してください。

安全を確保するための予防措置

BMW Motorrad ABS により制動距離が短くなるからといって、不用意にブレーキすることは避けなければなりません。この装備は、基本的には緊急事態における安全性を確保するための予防措置です。

コーナリング時のブレーキには特に注意してください。コーナリング時にブレーキをかけると、モーターサイクルの重量と慣性が勝り、BMW Motorrad ABS といえどもその影響を補正することはできません。

ABS から ABS Pro へ、さらなる発展

-走行モード Pro^{OE} 装備

これまで BMW Motorrad ABS は、直進走行時のブレーキングにおける安全性に関して極めて高い基準を設定し、実現してきました。そして今、ABS Pro がコーナーにおけるブレーキプロセスにおいても、より高い安全性を提供します。ABS Pro は、もちろん急なブレーキ操作時にも、ホイールのロックを防ぎます。ABS Pro は、特に急ブレーキ時における急激な操舵力の変動を低減させ、思いがけない車両の立ち上がりを起こりにくくします。

ABS 制御

技術的には、ABS Pro は ABS 制御をその都度ごとの走行条件に合わせ、モーターサイクルのバンク角に適合させています。モーターサイクルのバンク角を算出するため、ロールレート信号、ヨーレート信号、横方向加速度信号が使用されます。

バンク角が大きくなると共に、ブレーキ開始時のブレーキ圧の変化度の制限がますます厳しくなります。これにより、圧力上昇に時間がかかります。さらに ABS 制御において均等に圧力変換が行われます。

ライダーにとっての利点

ライダーにとってのABS Proの利点は、コーナーにおいてもベストな減速を可能にする繊細な応答性、高い制動安定性および走行安定性です。

トラクションコントロール(ASC/DTC)

トラクションコントロールはどのように機能するのでしょうか？

トラクションコントロールには2つの特徴があります

- バンク角を考慮しない場合：
オートマチックスタビリティコントロールASC
- ASCは、転倒を回避するための基本的な機能です。
- バンク角を考慮する場合：ダイナミックトラクションコントロールDTC
- DTCの制御はバンク角と加速に関する追加情報を通して、より精細かつ快適になります。

トラクションコントロールは、フロントホイールとリアホイールのホイール回転速度を比較します。速度の差から、リアホイールのスリップおよび安定性レベルを算出します。スリップ限界値を超えると、エンジンマネジメントシステムがエンジントルクを調整します。

BMW Motorrad ASC/DTCは、ライダーおよび公道での走行のため

のアシストシステムとして考案されています。特に物理的制限領域では、ライダーがASC/DTCの制御性能に大きな影響を与えません(コーナーでの荷重移動、積載状態など)。

このシステムは、オフロードレースやレーストラックの過酷な状況で生じるような、特別な要求を満たすために設計されたものではありません。このような場合は、BMW Motorrad ASC/DTCをOFFにできます。



警告

リスクな走行

ASC / DTCを装備していても事故の危険性があります

- どのような走行スタイルを適切とするか、ライダーの責任が問われます。
- 安全のためのサポートを、リスクな走行により制限しないでください。

特殊な状況

車体の傾きが増すにつれ、物理的法則に従って、加速はますます強く制限されます。このため、非常にタイトなコーナーでは加速が低減される場合があります。

134 技術情報

リヤホイールの回転(空転) やスリップを検知するため、特にフロントおよびリヤホイールの回転数が比較され、DTC ではASC に対してバンク角が考慮されます。

-走行モードPro^{OE} 装備

一定の時間以上、検出される値が正常でない場合には、バンク角用に代替値が使用されるか、DTC が OFF になります。この場合には、DTC の不具合が表示されます。エラーメッセージの表示には、自己診断が終了していることが前提となります。

次のような、通常とは異なる運転/走行状態においては、BMW Motorrad トラクションコントロールが自動的に OFF になる場合があります。

特殊な運転/走行状態：

- 長時間の後輪走行(ウィーリー)。
- フロントブレーキをかけた際に、その場で後輪が回転(空転)(バーンアウト)。
- 補助スタンドを立てたまま、ニュートラル位置またはギヤを入れた状態でウォームアップ。

-走行モードPro^{OE} 装備

極端な加速によってフロントホイールの接地が失われた場合には、フロントホイールが路面を再び確実に捉えるようになるまで、DTC が走行モードRAIN およびROAD でトルクを抑えます。DTC 設定DYNAMIC では、フロントホイール浮き上がり検知は短時間のウィリー走行を許容します。

走行モードDYNAMIC PRO では、フロントホイール浮き上がり検知はOFF になっています。BMW Motorrad は、フロントホイールの浮き上がり時にスロットルグリップを少し戻して車両をできるだけ早く安定した運転/走行状態に戻すよう、お勧めします。

走行モードRAIN、ROAD およびDYNAMIC では、DTC 設定は走行モードに準じます。

走行モードDYNAMIC PRO では、DTC について異なる設定が可能です。

エンジンブレーキトルクレギュレーター

-走行モードPro^{OE} 装備



DTC を ON にするための最低速度

min 5 km/h

エンジブレーキトルクレギュレーターはどのように機能するのでしょうか？

エンジブレーキトルクレギュレーターは、高いエンジブレーキトルクによってリヤホイールで引き起こされる不安定な運転／走行状態を確実に回避するという役割があります。路面状態および走行特性によっては、高すぎるエンジブレーキトルクがリヤホイールスリップの発生を著しく増大させ、走行安定性が損なわれることがあります。エンジブレーキトルクレギュレーターは、走行モードに応じた目的のある安全なスリップを目指し、リヤホイールのスリップを制限します。

リヤホイールでの過大なスリップの原因：

- 摩擦係数の低い路面での惰性走行(濡れた木の葉の上など)。
- シフトダウン時のリヤホイールホップ。
- スポーツ走行時の激しいブレーキング。

BMW Motorrad DTC トラクションコントロールと同様に、エンジブレーキトルクレギュレーターはホイール回転数およびタイヤ半径から算出されたフロントおよびリヤのホイール回転速度を比較します。その速度差から、エンジブレーキトルクレ

ギュレーターはリヤホイールのスリップやそれに伴う安定性レベルについて割り出します。スリップが限界値を上回ったら、スロットルパタフライを少し開いてエンジントルクを増大させます。スリップが軽減され、モーターサイクルが安定します。

エンジブレーキトルクレギュレーターの作用

- 走行モードRAIN およびROAD：最大限の安定性。
- 走行モードPro^{OE} 装備
- 走行モードDYNAMIC およびDYNAMIC PRO：走行モードRAIN およびROAD よりも少ない制御介入。

DYNAMIC ESA

-Dynamic ESA^{OE} 装備

Dynamic ESA の機能

Dynamic ESA は車高レベルセンサーを介してフレームの動きを検知し、それに反応してショックアブソーバーバルブを調整します。これにより、サスペンションは路面状況に適合するように調整されます。

Dynamic ESA は定期的にキャリブレーションを行い、システムの正常な作動を確保します。

136 技術情報

調整方法

ダンピングモード

-Road：快適なオンロード走行用のダンピング

-Dynamic：ダイナミックなオンロード走行用のダンピング

荷重設定

-1名乗車時

-1名乗車+荷物積載時

-2名乗車(+荷物積載)時

走行モード

選択

モーターサイクルを路面状態に合わせ、ご希望の走行体験に適したものにするため、走行モードを以下のものから選択することができます：

標準装備

-RAIN

-ROAD (標準モード)

-走行モードPro^{OE} 装備

走行モード Pro 装備

-DYNAMIC

-DYNAMIC PRO

これらの走行モードそれぞれに、ABS、ASCDC、エンジンブレーキトルクレギュレーターならびにスロットルレスポンス用に調整されている設定があります。

-Dynamic ESA^{OE} 装備

Dynamic ESAは選択された走行モードとは関係なく調整可能です。

すべての走行モードでASCDCをOFFにすることができます。以下の説明は、常に走行安全システムがONの場合に関するものです。

スロットルレスポンス

-走行モードRAIN：エンジンレスポンスはソフト。

-走行モードROAD：エンジンレスポンスは最適。

-走行モードDYNAMIC：エンジンレスポンスはダイレクト。

-走行モードDYNAMIC PRO：エンジンレスポンスは個別に調整可能。

ABS

-リアホイール浮き上がり検知は、すべての走行モード(DYNAMIC PROの工場設定を除く)で作動しています。

-走行モードDYNAMICではブレーキ作用を高めるために、リアホイール浮き上がり検知が抑制されます。

-走行モードDYNAMIC PROではABSについて異なる設定を行うことができます。

-走行モードPro^{OE} 装備

ABS Pro

-走行モードRAIN およびROAD では、ABS Pro をフル使用することができます。コーナーにおけるブレーキング時のモーターサイクルの傾きを最小限に抑えます。

-走行モードDYNAMIC では、ABS Pro を利用できるのは摩擦係数が良好な場合に限られます。サポートは走行モードRAIN およびROAD よりも少なくなります。その代わりに最高のブレーキ作用が得られるように設計されています。

-走行モードDYNAMIC PRO ではABS Pro は工場設定で OFF になっています。

ASC

-ASC はオンロード走行用に調整されています。

-ASC 設定RAIN では、最大限の走行安定性が得られるように、ASC の介入が早期に行われます。

-ASC 設定ROAD では、ASC の介入が走行モードRAIN よりも遅く行われます。リヤホイールの空転ができる限り回避されます。

-走行モードPro^{OE} 装備

DTC

タイヤの取り付け

-全走行モードにおいて、DTC はオンロードタイヤでのオンロード走行に調整されています。

走行安定性

-DTC 設定RAIN では、最大限の走行安定性が得られるように、DTC の介入が早期に行われます。

-DTC 設定ROAD では、DTC の介入が走行モードRAIN よりも遅く行われます。リヤホイールの空転ができる限り回避されます。

-DTC 設定RAIN およびROAD では、フロントホイールの浮き上がりが回避されます。

-DTC 設定DYNAMIC では、DTC の介入は走行モードROAD より遅く行われ、コーナー出口での軽いドリフトや短時間のウィリー走行が可能になります。

DTC 設定RAIN、ROAD およびDYNAMIC では、DTC 設定は走行モードに準じます。

DTC 設定DYNAMIC PRO では、DTC について異なる設定を行うことができます。

切替

走行モードは、イグニッションがONで車両が停止しているときに変更することができます。走行中の切替は、以下の条件が満たされていれば可能です：

- リアホイールにドライビングトルクがかかっていない
- ブレーキシステム内でブレーキ圧が生成されていない。

走行中に切り替えるには、以下のステップを踏む必要があります：

- スロットルグリップを回し戻します。
- ブレーキレバーは操作しませんが。
- クルーズコントロールを作動解除します。

ご希望の走行モードをまず事前に選択します。該当するシステムが必要とされる状態になって初めて、切替が行われます。走行モードの切替が行われた後、ディスプレイの選択メニューが消えます。

ダイナミックブレーキコントロール

- 走行モードPro^{OE} 装備

Dynamic Brake Control の機能

Dynamic Brake Control の機能は緊急ブレーキ時にライダーをサポートします。

緊急ブレーキの検知

- フロントブレーキが瞬間的に強く操作されると、緊急ブレーキとして検知されます。

緊急ブレーキの際の挙動

- 10 km/h を超える車速で走行しているときに緊急ブレーキが行われると、ABS 機能に加えてDynamic Brake Control が作動します。

スロットルグリップの誤操作時の動作

- 緊急ブレーキ時にスロットルグリップが誤って操作された場合(グリップ位置 > 5%)、Dynamic Brake Control が「スロットル開」を無視することにより、本来のブレーキ効果を確保します。緊急ブレーキの効果が確保されます。
- Dynamic Brake Control の介入中にスロットルが閉じられると(スロットルグリップ位置 < 5%)、ABS ブレーキシステムによって要求されたエンジントルクが再び確立されます。
- 緊急ブレーキが終了してもスロットルグリップが操作されたままの場合、Dynamic Brake Control はエンジントルクを制

御し、ライダーの要望に合うように戻します。

ギヤシフトアシスト

-シフトアシストPro^{OE} 装備

ギヤシフトアシストPro

この車両には、元々レンシュポルト(レーシングスポーツ)において開発されたギヤシフトアシストProが装備されています。この装備はツーリング走行に合うように適合化されています。これにより、全負荷範囲および全回転域において、シフトアップ/シフトダウンをクラッチ操作およびスロットル操作なしで行うことができます。

利点


- 走行時における全シフト動作の70~80%をクラッチ操作なしで行うことができます。
- シフト待ち時間が短くなり、ライダーとパッセンジャー間の動きが少なくてすみます。
- 加速時にスロットルバタフライを閉じる必要がありません。
- 減速およびシフトダウン(スロットルバタフライは閉じた状態)の際には、ダブルクラッチにより回転数の調整を行います。
- 切替時間はクラッチ操作に伴うシフト動作と比べて短くなります。

ご希望のシフトを認識させるには、ライダーは、シフトレバーを事前に操作されていない状態からアキュムレーターのスプリングの抵抗を感じる「切替位置」に向かって操作します。この操作は通常、素早くご希望の方向に行い、シフト動作が終了するまで保持している必要があります。シフト動作中にシフト力をさらに高める必要はありません。ギヤシフトアシストProを使用してさらにギヤ切替を行えるようにするには、シフト動作後に、シフトレバーにかかる負荷を完全に解除する必要があります。ギヤシフトアシストProを使用してのシフト動作では、その都度、シフト動作前およびシフト動作中の負荷の状態(スロットルグリップ位置)を一定に保つ必要があります。シフト動作中にスロットルグリップ位置が変わると、機能の中断および/またはミスシフトを招くおそれがあります。クラッチ操作を伴うシフト動作では、ギヤシフトアシストProによるサポートは行われません。

シフトダウン


- シフトダウンは、ターゲットギヤにおける最高回転数に達するまでサポートされます。これにより、過回転も避けられます。

140 技術情報

 最高回転数
max 9000 min ⁻¹

シフトアップ

- シフトアップは、ターゲットギヤにおけるアイドル回転数に達するまでサポートされません。
- それにより、アイドル回転数を下回らないようにします。

 アイドリング回転数
1250 ^{±50} min ⁻¹ (エンジン作動温度時)

アダプティブヘッドライト

- アダプティブヘッドライト^{OE} 装備

機能

ロービーム、ハイビームおよびデイライト、またはポジション／パーキングライトに加え、ヘッドライトにセパレートタイプのLEDエレメントが専用リフレクター付きで備わっています。LEDエレメントは、コーナー内側をより良く照射するために、バンク角に応じてロービームに加えて使用されます。アダプティブヘッドライトは軽く傾けた程度の緩やかなバンク角用に最適化されています。

アダプティブヘッドライトは下記の条件下で作動します：

- 軽く傾けた程度の緩やかなバンク角での走行。
- 車速が 10 km/h を上回ること。
- ロービームが ON の状態であること。

メンテナンス

09

一般的な情報	144
ツールキット	144
サービスツールキット	145
フロントホイールスタンド	145
リヤホイールスタンド	146
エンジンオイル	146
ブレーキシステム	148
クラッチ	153
クーラント	154
タイヤ	155
ホイールリム	156
ホイール	156
チェーン	167
ライトバルブ	170
ジャンプスタート	170
バッテリー	172
ヒューズ	175
診断コネクタ	177

144 メンテナンス

一般的な情報

「メンテナンス」の章では、簡単に実施できる消耗部品の点検および交換作業について説明します。

マイクロカプセルボルト

マイクロカプセルは化学的なねじ固定方法です。接着剤により、ボルトとナット、あるいはコンポーネント間の強固な接合を可能にします。そのため、マイクロカプセルボルトは1回限りの使用にのみ適しています。

取り外しの後には、内側のねじ山から接着剤を取り除く必要があります。取り付ける際には、必ず新しいマイクロカプセルボルトを使用してください。そのため、取り外す前には、ねじ山清掃用の適切なツールおよび交換用ボルトを持ち合わせていることを確認してください。不適切な作業が行われると、ボルトの固定機能が保証されなくなり、あなたに危険が及ぶおそれがあります。

追加情報

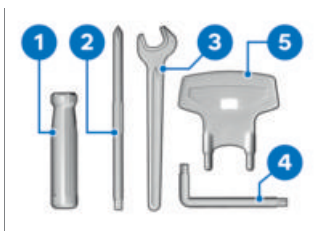
取り付ける際に専用の締付けトルクがある場合には、その締付けトルクも記載されています。必要なすべての締め付けトルクを記した一覧表が「仕様(諸元)」の章にあります。

さらに詳しいメンテナンスおよび修理作業に関する情報

は、ご使用の車両に対応するDVD版リペアマニュアルをご覧ください。リペアマニュアルはBMW Motorradディーラーで入手できます。

記述されている作業の実施にあたっては、スペシャルツールと確かな専門知識が必要です。疑問に思われることが生じた場合には、BMW Motorradディーラー(最適)または専門の整備工場にお問い合わせください。

ツールキット



- 1 ドライバーグリップ
- 2 リバーシブルブレードドライバーインサート
プラスおよびマイナスヘッドブレード付き
-バッテリーを取り外す (1173)。
-リヤホイールのショックアブソーバーを調整する (104)。
- 3 オープンエンドレンチ
口径 14 mm

- 3 -ミラーアームを調整する (▶▶▶ 100)。
- 4 トルクスレンチ T25/T30
T25 はショートナックル、
T30 はロングナックル
- 5 キー
-リヤホイールのスプリ
ングプリロードを調整す
る (▶▶▶ 102)。

サービスツールキット

-サービスツールセット^{0A} 装備



さらに行われるサービス作業(ホイールの脱着など)のために、BMW Motorradでは、あなたのモーターサイクルに対応する適切なサービスツールキットをご用意しています。このツールキットはBMW Motorradディーラーでお求めいただけます。

フロントホイールスタンド

フロントホイールスタンドを取り付ける

重要事項

追加の補助スタンドを使用しないBMW Motorrad フロントホイールスタンドの使用
転倒によるコンポーネントの損傷

- モーターサイクルは、BMW Motorrad フロントホイールスタンドで持ち上げる前に、補助スタンドで立ててください。
- モーターサイクルがしっかりと立っているか確認してください。
- モーターサイクルを補助スタンドで立てます。BMW Motorrad は、BMW Motorrad 補助スタンドの使用をお勧めします。
- リヤホイールスタンドを取り付ける (▶▶▶ 146)。

146 メンテナンス



- 正しい取り付け方の説明は、フロントホイールスタンドの説明書に記載されています。
- BMW Motorrad はそれぞれのモーターサイクルに適した補助スタンドを提供しています。適した取付けスタンドを選択する際は、BMW Motorrad ディーラーがお手伝いさせていただきます。

リヤホイールスタンド

リヤホイールスタンドを取り付ける



- 正しい取り付け方の説明は、リヤホイールスタンドの説明書に記載されています。
- BMW Motorrad はそれぞれのモーターサイクルに適した補助スタ

ンドを提供しています。適した取付けスタンドを選択する際は、BMW Motorrad ディーラーがお手伝いさせていただきます。

エンジンオイル

エンジンオイルレベルを点検する

重要事項

オイル充填についての誤った解釈。オイルレベルは温度に対応して変化するため(温度が高くなるとオイルレベルも高くなる)

エンジンの損傷

- オイルレベルの点検は、長距離走行後またはエンジン温時にのみ、行います。

- オイル注入口周辺を清掃します。
- ファンが作動を始めるまでエンジンをアイドル回転させ、さらに1分間作動させます。
- エンジンを停止させます。

重要事項

モーターサイクルの転倒

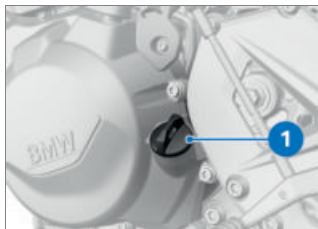
転倒によるコンポーネントの損傷

- モーターサイクルを、転倒しないようにしっかりと支えます。もう1人、サポートできる人がいると最善です。

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、作動温度に達しているモーターサイクルをまっすぐに立てます。BMW Motorradは適切な補助スタンドの使用をお勧めします。

—センタースタンド^{OE} 装備

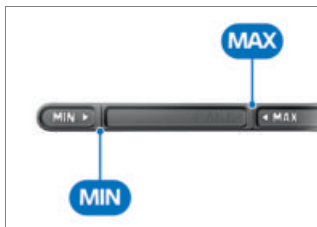
- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、作動温度に達しているモーターサイクルをメイン(センター)スタンドで立てます。◁




- オイルがオイルパンに集まるまで、5分間待ちます。
- オイルレベルゲージ 1 を取り外します。




- 測定範囲 2 を乾いたウエスで拭き取ります
- オイルレベルゲージをオイル注入口に載せます。ただし、まだ取り付けしないでください。
- オイルレベルゲージを抜き取り、オイルレベルを読み取ります。



 エンジンオイル規定レベル

MIN と MAX マークの間

 エンジンオイル補充量

max 0.5 l (MIN と MAX 間の差)


148 メンテナンス

オイルレベルがMIN マークを下回っている場合：

- エンジンオイルを補充する (▶▶ 148)。

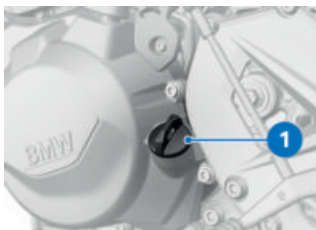
オイルレベルがMAX マークを上回っている場合：

- BMW Motorrad デイラーにオイルレベルの点検を依頼してください。
- オイルレベルゲージを取り付けます。

 環境保護のため
にBMW Motorrad は 50 km 以上走行した場合には時折エンジンオイルを点検するように推奨しています。

エンジンオイルを補充する

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。
- 注入口周辺を清掃します。



- オイルレベルゲージ **1** を取り外します。

重要事項

エンジンオイルの使用量が少なすぎる、または多すぎる。

エンジンの損傷

- エンジンオイルレベルが正しいか確認してください。
- エンジンオイルを規定レベルまで補充します。
- エンジンオイルレベルを点検する (▶▶ 146)。
- オイルレベルゲージを取り付けます。

ブレーキシステム

ブレーキの作動を点検する

- ブレーキレバーを操作します。
» はっきりと抵抗が感じられる必要があります。
 - ブレーキペダルを操作します。
» はっきりと抵抗が感じられる必要があります。
- はっきりした抵抗が感じられない場合：

重要事項

ブレーキシステムにおける不適切な作業

ブレーキシステムの動作信頼性が危険にさらされる

- ブレーキシステムに関するすべての作業は、専門スタッフに実行を依頼してください。

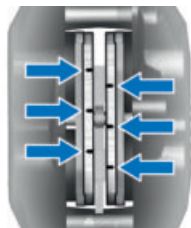
- BMW Motorrad ディーラーにブレーキシステムの点検を依頼してください。


フロントブレーキパッド厚を点検する

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。



- 左右ブレーキパッド厚を目視点検します。目視点検方向：ホイールとフロントサスペンション間からブレーキパッド 1 へ。



 フロントブレーキパッドの摩耗限度

min 1.0 mm (ライニングのみ (キャリアプレートなし)。摩耗インジケーター、すなわち溝が、はっきりと確認できなければなりません。)

摩耗インジケーターがはっきりと見えなくなっている場合：



警告

パッドの使用限度厚を下回る
制動作用の低下、ブレーキの損傷

- ブレーキシステムの動作信頼性を確実にするため、パッドの使用限度厚を下回らないようにしてください。
- ブレーキパッドの交換を BMW Motorrad ディーラー (最適) または専門の修理工場に依頼してください。


150 メンテナンス

リヤブレーキパッド厚を点検する

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。



- ブレーキパッド厚を目視点検します。目視点検方向：後方からブレーキキャリア **1** の方へ。

 リヤブレーキパッドの摩
耗限度

min 1.0 mm (ライニングのみ
(キャリアプレートなし。))

ブレーキパッドが摩耗している
場合：



警告

パッドの使用限度厚を下回る
制動作用の低下、ブレーキの損傷

- ブレーキシステムの動作信頼性を確実にするため、パッドの使用限度厚を下回らないようにしてください。
- BMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場にブレー

キパッドの交換を依頼してください。

フロントブレーキフルードレベルを点検する



警告

ブレーキフルードリザーバー
タンクのブレーキフルードが
少なすぎる、または汚れている
ブレーキシステム内の空気、汚
れ、または水によるブレーキ性
能の著しい低下

- 直ちに走行を調整し、不具合を解消します。
- ブレーキフルードレベルを定期的に点検します。
- ブレーキフルードリザーバータンクのキャップを開く前に、キャップの汚れを取り除いてください。
- ブレーキフルードは必ず密封容器からのもののみを使用してください。


—センタースタンド^{OE} 装備

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン(センター)スタンドで立てます。
- ハンドルを直進位置にします。◁
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをまっすぐに立てます。


- ハンドルを直進位置にします。




- フロントブレーキフルードリザーバータンクのブレーキフルードレベル **1** を読み取ります。

 ブレーキパッドが徐々に摩耗してゆくことによって、リザーバータンクのブレーキフルードレベルは下がってきます。



 フロントブレーキフルードレベル

ブレーキフルード、DOT4

 フロントブレーキフルードレベル

ブレーキフルードレベルが**MIN**マークを下回らないようにしてください。(ブレーキフルードリザーバータンクが水平になるように、車両をまっすぐに立てます)

ブレーキフルードレベルが規定値を下回った場合：

- BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

152 メンテナンス

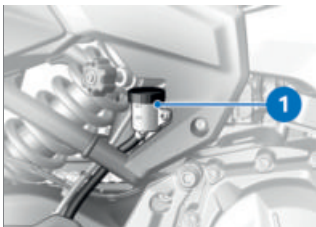
リヤブレーキフルードレベルを点検する



警告

ブレーキフルードリザーバータンクのブレーキフルードが少なすぎる、または汚れているブレーキシステム内の空気、汚れ、または水によるブレーキ性能の著しい低下

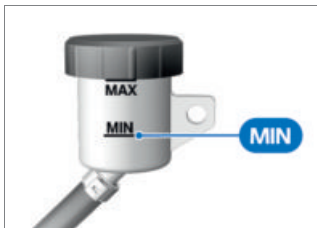
- 直ちに走行を調整し、不具合を解消します。
 - ブレーキフルードレベルを定期的に点検します。
 - ブレーキフルードリザーバータンクのキャップを開く前に、キャップの汚れを取り除いてください。
 - ブレーキフルードは必ず密封容器からのもののみを使用してください。
- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルをまっすぐに立てます。
- センタースタンド^{OE} 装備
- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルをメイン(センター)スタンドで立てます。◁



- リヤブレーキフルードリザーバータンクのブレーキフルードレベル **1** を読み取ります。



ブレーキパッドが徐々に摩耗してゆくことによって、リザーバータンクのブレーキフルードレベルは下がってきます。



リヤブレーキフルードレベル(目視点検)

ブレーキフルード、DOT4

ブレーキフルードレベルが**MIN**マークを下回らないようにしてください。

ブレーキフルードレベルが規定値を下回った場合：

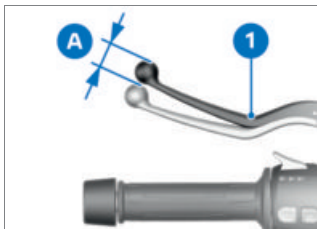
- BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

クラッチ

クラッチの機能を点検する

- クラッチレバーを操作します。
 》操作するにつれて、力の上昇が感じられるはずです。
 操作するにつれて、力の上昇が感じられない場合：
- BMW Motorrad ディーラーにクラッチシステムの点検を依頼してください。

クラッチの遊びを点検する



- クラッチレバー **1** をグリップに密着するまで何回か操作します。
- 抵抗が感じられるまでクラッチレバー **1** を軽く操作し、その間にクラッチの遊び **A** を観察します。

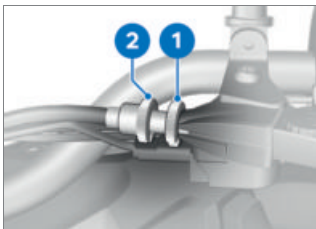
クラッチの遊び

3...5 mm (レバーの外側、ハンドルバーは直進方向、エンジン冷間時)

クラッチの遊びが許容範囲を越えている場合：

- クラッチの遊びを調整する (➡ 153)。

クラッチの遊びを調整する



- ロックナット **1** を緩めます。
- クラッチの遊びを大きくするには：アジャストスクリュー **2** をハンドルバーフィッティングにねじ込みます。
- クラッチの遊びを小さくするには：アジャストスクリュー **2** をハンドルバーフィッティングから緩めます。

i ロックナットとナットの間隔(内側を測定)が、14 mmを上回ってはなりません。さらに回して緩めなければ、クラッチの遊びを正しく調整できない場合は、専門の整備工場または可能な限り BMW Motorrad

154 メインテナンス

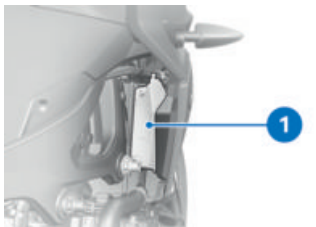
ディーラーに問い合わせてください。

- クラッチの遊びを点検する (▶▶▶ 153)。
- アジャストスクリュー **2** を保持しながら、ロックナット **1** を締め付けます。

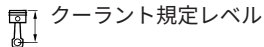
クーラント

クーラントレベルを点検する

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。



- リザーバータンク **1** でクーラントレベルを読み取ります。目視点検方向: 後方から右サイドトリムパネル開口部を通して。

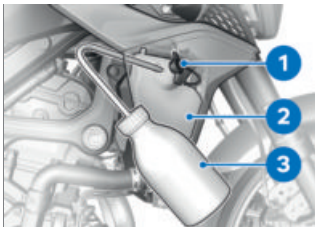


リザーバータンクの**MIN** と**MAX** マークの間 (エンジンが冷たい状態)

クーラントレベルが規定値を下回った場合：

- クーラントを補充します。

クーラントを補充する



- リザーバータンク **2** のキャップ **1** を開きます。
- ビーカーなどの適切な容器 **3** を使用して、クーラントを規定レベルまで補充します。
- クーラントレベルを点検する (▶▶▶ 154)。

- リザーバータンク 2 のキャップ 1 を閉じます。

タイヤ

タイヤ空気圧を点検する



警告

タイヤ充填圧が不適切

モーターサイクルの走行特性が悪化、タイヤ耐用年数の減少

- タイヤ充填圧が正しいか確認してください。



警告

垂直に取り付けられているバルブコアが高速走行時に勝手に開く

タイヤ空気圧の突然の喪失

- ラバーシール付きバルブキャップを使用し、しっかりと締め付けます。

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。
- タイヤ充填圧を、以下のデータを使用して点検します。



タイヤ空気圧(フロント)

2.5 bar (タイヤ冷間時)



タイヤ空気圧(リヤ)

2.9 bar (タイヤ冷間時)

- タイヤ充填圧が不十分な場合：
- タイヤ充填圧を調整します。

タイヤのトレッド溝の深さを点検する



警告

著しく摩耗したタイヤでの走行
走行特性の悪化により、事故に至る危険

- 必要に応じて、法的に規定されているトレッドの最小残溝量に達する前にタイヤを交換してください。

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。
- タイヤのトレッド溝の深さを、メインのトレッド溝で、摩耗インジケーターを使用して測定します。



摩耗インジケーターはタイヤごとにメインのトレッド溝に設けられています。タイヤのトレッド溝がインジケーターレベルにまで達している場合は、タイヤが完全に摩耗しています。インジケーターの位置は、タイヤの縁に TI、TWI などのアルファベットや矢印で示されています。

156 メンテナンス

トレッドが最小残溝量に達している場合：

- 当該タイヤを交換します。

ホイールリム

ホイールリムを点検する

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。
- ホイールリムに不良な部分がないか目視点検します。
- ホイールリムが損傷した場合は、BMW Motorrad ディーラーに点検を依頼し、必要に応じて交換してください。

ホイール

承認タイヤ

すべてのタイヤサイズに関して、特定のタイヤ製品がBMW Motorrad により試験が行われ、走行安全性に優れていると位置付けられています。その他のタイヤに関しては、BMW Motorrad ではその適合性を評価できず、走行安全性を保証できません。

BMW Motorrad は、BMW Motorrad によって試験が行われたタイヤのみの使用をお勧めします。

詳細についてはBMW Motorrad ディーラーにお問い合わせいただくか、下記ウェブサイトをご覧ください：

bmw-motorrad.com/service

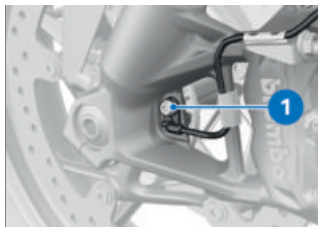
ホイールサイズがフレーム制御システムに与える影響

フレーム制御システムではホイールサイズが重要な役割を果たします。特にホイールの直径および幅は、必要となるすべての計算のベースとしてコントロールユニットにメモリーされています。標準装備ホイール以外のホイールへの変更によりこのサイズが変わると、これらのシステムの制御性に重大な影響が及ぶおそれがあります。

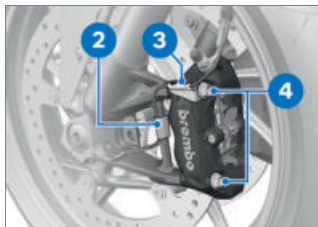
ホイール回転数の検出に必要なセンサーホイールも、装備されている制御システムに適合させる必要があります、交換はできません。ご使用のモーターサイクルに他のホイールを装着なさりたい場合には、事前にBMW Motorrad ディーラーにご相談ください。コントロールユニットにメモリーされているデータを、新しいホイールサイズに適應させることができる場合もあります。

フロントホイールを取り外す

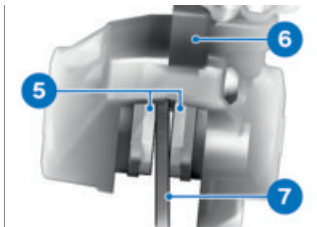
- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。



- ボルト **1** を取り外し、ホイール回転数センサーをボアから取り外します。



- ホイール回転数センサー用ケーブルをクランプ **2** および **3** から外します。
- 左右ブレーキキャリパーの固定ボルト **4** を取り外します。



- ブレーキキャリパー **6** を回転させて、ブレーキパッド **5** をブレーキディスク **7** から少し離れるように押し込みます。

重要事項

部品近辺での硬いかエッジが鋭い物の使用

コンポーネントの損傷

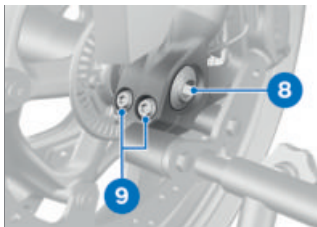
- コンポーネントに傷を付けないようにし、必要に応じて覆うか保護する。
- リム周辺をマスキングテープなどで保護し、ブレーキキャリパーを取り外す際に傷が付かないようにします。

重要事項

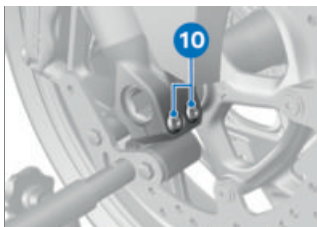
ブレーキパッドが意図せず押し付け合わされる

ブレーキキャリパーの装着時またはブレーキパッドの押し付け合わせ時のコンポーネントの損傷

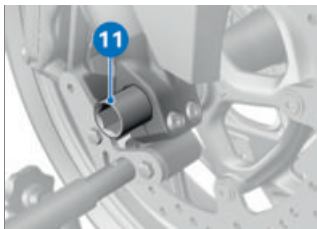
- ブレーキキャリパーが外れている(緩んでいる)状態で、ブレーキを操作しないでください。
- ブレーキキャリパーを慎重に後方外側へブレーキディスクから引き出します。
- モーターサイクルを適切な補助スタンドで立てます。
- リヤホイールスタンドを取り付ける (▶▶▶ 146)。
- センタースタンド^{OE} 装備
- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルをメイン(センター)スタンドで立てます。◁
- フロントホイールが自由に回転できるようになるまで、モーターサイクル前部を持ち上げます。モーターサイクルを持ち上げるため、適切なフロントホイールスタンドを使用します。
- フロントホイールスタンドを取り付ける (▶▶▶ 145)。



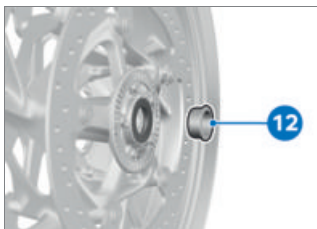
- アクスルボルト 8 を取り外します。
- 左アクスルクランプボルト 9 を外します。



- 右アクスルクランプボルト 10 を外します。



- シャフト **11** を取り外します。その際、ホイールを保持してください。
- シャフトに付着しているグリースは除去しないでください。
- フロントホイールを前へ転がして取り外します。



- ホイールハブ左側スペーサーブッシュ **12** を取り外します。

フロントホイールを取り付ける

警告

当該シリーズに適合しないホイールの使用

ABS およびASC/DTC による制御介入時の機能障害

- この章のはじめにある、ホイールサイズがフレーム制御システムABS およびASC/DTC に与える影響についての注意事項を確認し、遵守してください。

重要事項

ボルト締め付け部を誤った締め付けトルクで締め付ける

ボルト締め付け部の損傷または緩み

- 締め付けトルクの点検は、必ずBMW Motorrad デイラーに依頼してください。



- スペーサーブッシュ **12** の摺動面にグリースを塗布します。

160 メンテナンス



潤滑剤

Unirex N3

- スペーサーブッシュ **12** のカラーを外側にして、左側でホイールハブに差し込みます。

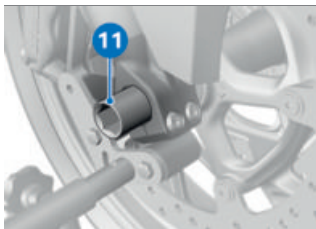


重要事項

フロントホイールの取り付けが回転方向と逆

事故の危険

- タイヤまたはリム上にある回転方向を示す矢印を確認し、遵守してください。
- フロントホイールをフロントサスペンションに転がし入れます。



- アクスルシャフト **11** にグリースを塗布します。

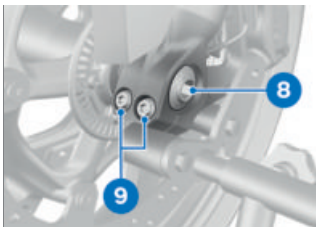


警告


アクスルシャフトの不適切な取付け

フロントホイールが外れる

- ブレーキキャリパーを取り付け、スプリングフォークのテンションを緩めた後、アクスルシャフトおよびアクスルランプを規定の締め付けトルクで締め付けます。
- フロントホイールを持ち上げて、アクスルシャフト **11** をストップ位置まで組み込みます。
- フロントホイールスタンドを外し、フロントフォークを数回、強く圧縮します。その際、ブレーキレバーを操作してはいけません。
- フロントホイールスタンドを取り付ける (▶▶ 145)。



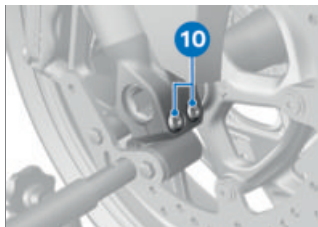
- アクスルボルト **8** を締め付けトルクで締め付けて取り付けます。その際、アクスルシャフトを右側に保持します。

 フロントアクスルシャフト内のアクスルボルト

M20 x 1.5


50 Nm

- 左アクスルクランプボルト **9** を締付けトルクで締め付けます。



- 右アクスルクランプボルト **10** を締付けトルクで締め付けます。




 アクスルシャフトのクランプ

締付け順序: ボルトを 6 回、交互に締め付ける

M8 x 35

19 Nm



 アクスルシャフトのクランプ

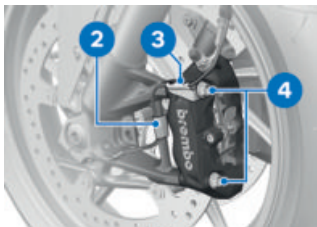
締付け順序: ボルトを 6 回、交互に締め付ける

M8 x 35


19 Nm

- 左右ブレーキキャリパーをブレーキディスクに取り付けます。

162 メインテナンス



- 左右ブレーキキャリパーの固定ボルト **4** を締め付けトルクで締め付けます。

 ブレーキキャリパーとテレスコピックフォーク

M10 x 65

38 Nm

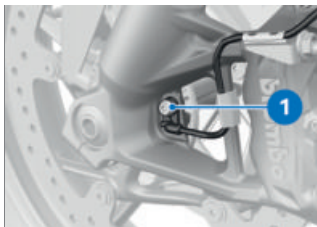
- ホイールリムに貼られているマスキングテープなどはがします。

 **警告**


ブレーキパッドがブレーキディスクに密着していない

ブレーキ作用の遅延によって事故を起こす危険あり。

- 運転開始前には、ブレーキ作用が遅延なくかかることを点検すること。
- ブレーキパッドが密着するまで、ブレーキを何回か操作します。
- ホイール回転数センサー用ケーブルをクランプ **2** および **3** にはめます。



- ホイール回転数センサーをボアに組み込み、**新品**のボルト **1** を締め付けトルクで締め付けます。

 フロントホイール回転数センサーとフォーク

M6 x 16

ボルト固定剤: マイクロカプセル加工済

8 Nm

- フロントホイールスタンドを取り外します。

—センタースタンド^{OE} 非装備

- 補助スタンドを取り外します。
- モーターサイクルをサイドスタンドで立てます。◁

リヤホイールを取り外す

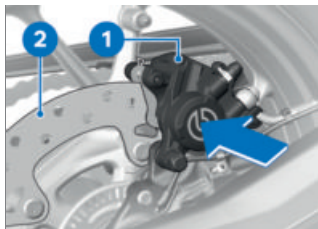


重要事項

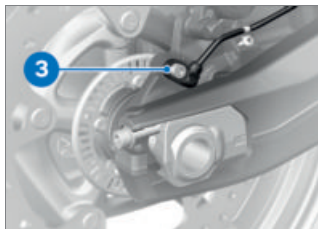
ブレーキパッドが意図せず押し付け合わされる

ブレーキキャリパーの装着時またはブレーキパッドの押し付け合わせ時のコンポーネントの損傷

- ブレーキキャリパーが外れている(緩んでいる)状態で、ブレーキを操作しないでください。
- モーターサイクルを適切なメイン(センター)スタンドで立てます。その際、路面が平坦で固くしっかりとしているか確認してください。
- リヤホイールスタンドを取り付ける (146)。
-センタースタンド^{OE} 装備
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン(センター)スタンドで立てます。◁
- アクスルシャフトを取り外した後に転がり落ちないように、リヤホイールの下に木片などを挟んで支えます。

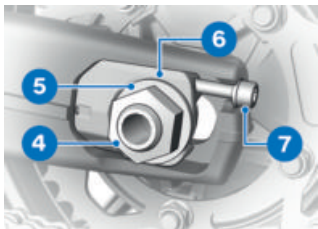


- ブレーキキャリパー **1** をブレーキディスク **2** に押しつけます。
» ブレーキピストンが押し戻されます。



- ボルト **3** を取り外し、ホイール回転数センサーをボアから取り外します。

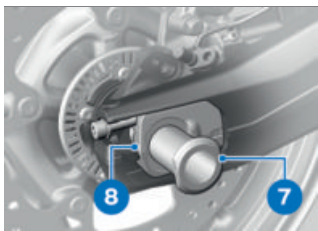
164 メンテナンス



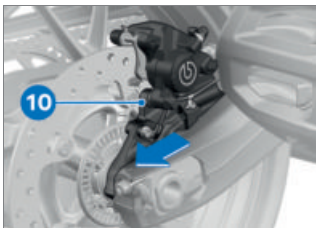
- アクスルナット 4 およびワッシャー 5 を取り外します。
- 両側のアジャストスクリュー 7 を外します。
- チェーンテンショナー 6 を取り外し、アクスルをできる限り前方へずらします。




- リヤホイールをできるかぎり前方向へ転がし、チェーン 9 をスプロケットから外します。



- アクスルシャフト 7 を取り外し、チェーンテンショナー 8 を取り外します。



- リヤホイールをスイングアームから後方へ転がして外し、同時にブレーキキャリアサポート 10 を、リヤホイールリムがそれに沿って通り過ぎることができるように、後方へ引きまします。

 スプロケットと左右のスペーサーブッシュは、ホイールに緩めに組み込まれています。取り外しの際に、部品を損傷したり紛失したりしないよう注意してください。

リヤホイールを取り付ける



警告

当該シリーズに適合しないホイールの使用

ABS およびASC/DTC による制御介入時の機能障害

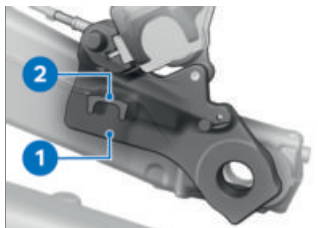
- この章のはじめにある、ホイールサイズがフレーム制御システムABS およびASC/DTC に与える影響についての注意事項を確認し、遵守してください。



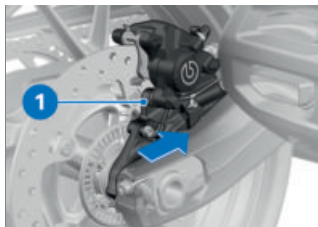
重要事項

ボルト締め付け部を誤った締め付けトルクで締め付けるボルト締め付け部の損傷または緩み

- 締め付けトルクの点検は、必ずBMW Motorrad ディーラーに依頼してください。
- リヤホイールの下側を支えながらスイングアームに転がし入れ、ブレーキキャリパーサポートを組み込めるようにします。



- ブレーキキャリパーサポート **1** をガイド **2** に組み込みます。

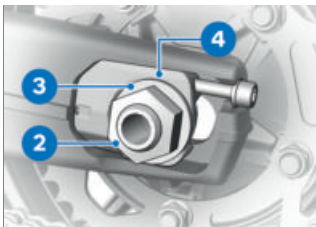


- リヤホイールをスイングアームにさらに転がし入れながら、ブレーキキャリパーサポート **1** を前方へずらします。

166 メンテナンス

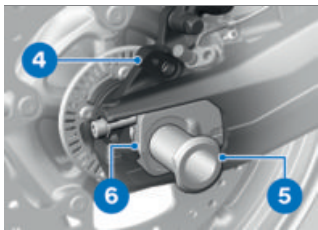


- リヤホイールをできるかぎり前方向へ転がし、チェーン 7 をスプロケットにのせます。

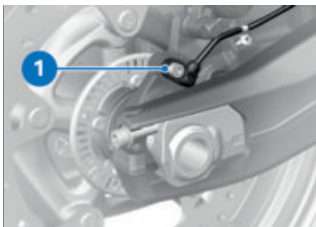


- 左側チェーンテンショナー 4 を取り付けます。
- ワッシャー 3 およびアクスルナット 2 を組み込みます。ただし、まだ締め付けません。

- －センタースタンド^{OE} 非装備
- 補助スタンドを取り外します。◁



- 右側チェーンテンショナー 6 をスイングアームに組み込みます。
- アクスルシャフト 5 にグリースを塗布し、ブレーキキャリアパーサポート 4 およびリヤホイールに取り付けます。



- ホイール回転数センサーをボアに組み込み、新品のボルト 1 を締め付けトルクで締め付けます。



潤滑剤


Unirex N3

- その際、シャフトがチェーンテンショナーの開口に適合することを確認してください。



リヤホイール回転数センサーとブレーキキャリアパーサポート

M6 x 16

 リヤホイール回転数センサーとブレーキキャリアサポート

ボルト固定剤: マイクロカプセル加工済

8 Nm

 **警告**

ブレーキパッドがブレーキディスクに密着していない


ブレーキ作用の遅延によって事故を起こす危険あり。

- 運転開始前には、ブレーキ作用が遅延なくかかることを点検すること。

- 作業終了後、ブレーキパッドが密着するまで、ブレーキを何度か操作します。
- チェーンの張り具合を点検する (⇒ 167)。
- チェーンの張り具合を調整する (⇒ 168)。

チェーン

チェーンの潤滑を行う

 **重要事項**

ドライブチェーンの不適切な清掃と潤滑

より激しい摩耗

- ドライブチェーンは定期的に清掃し、潤滑してください。

- ドライブチェーンは燃料補給3回ごとに潤滑します。
- むかるみや、塵埃の中や、汚れた場所を走行した後は、適宜、早めに行ってください。
- イグニッションを OFF にし、ニュートラルに設定します。
- ドライブチェーンを適切なクリーニング剤で清掃し、乾かして、チェーン潤滑剤を塗布します。
- チェーン性能を高く維持するため、BMW Motorrad は、BMW Motorrad チェーン潤滑剤の使用を推奨します。または：

 **潤滑剤**

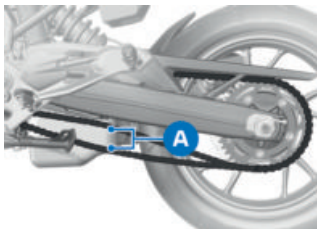
チェーンスプレー、0リングに適合

- 潤滑剤が多すぎた場合は洗い流します。

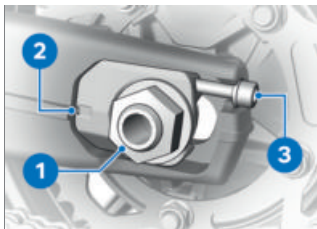
チェーンの張り具合を点検する

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。
- リヤホイールを回転させて、チェーンのたるみが一番小さくなる位置まで回します。

168 メンテナンス



- ドライブスプロケットとドリブンスプロケット間の真ん中あたりで、ドライバーを使用してチェーンを上下に押し、差 **A** を測定します。



- アクスルナット **1** を外します。
- 左右のアジャストスクリュー **3** で、チェーンの張り具合を調整します。
- チェーンの張り具合を点検する (▶▶ 167)。
- 調整値 **2** が左右で同じになるように注意してください。
- アクスルシャフトナット **1** を締め付けトルクで締め付けます。



チェーンのたるみ量

35...45 mm (モーターサイクルをサイドスタンドで立てる(無負荷状態))

ローダウン^{OE} 装備

30...40 mm (モーターサイクルをサイドスタンドで立てる(無負荷状態))◁

測定値が許容範囲を超えている場合：

- チェーンの張り具合を調整する (▶▶ 168)。

チェーンの張り具合を調整する

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。



スイングアーム内リヤホイールアクスルシャフト

M24 x 1.5

ボルト固定剤：メカニズム部分

100 Nm

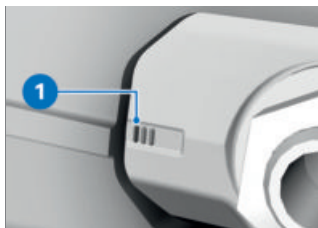


- ワッシャー 4 が完全にボルトの頭 3 と接触しているか点検し、必要に応じて修正します。

チェーンの摩耗状態を点検する前提条件

チェーンの張り具合は正しく調整されています。

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。



- 三つ目のマークライン 1 が完全に見えるかどうかを点検します。

三つ目のマークライン 1 が完全に見える場合、チェーン長さを点検します：

- 1速に入れます。
- リヤホイールを進行方向に回し、チェーンがピンと張った状態になるようにします。
- リヤスイングアーム下側のチェーン長さを 10 リベットの中心の上で測定します。
- リヤホイールを進行方向に回し、チェーン長さを 3 箇所測定します。

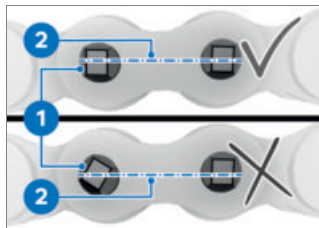


許容チェーン長

max 144 mm (10 リベットの中央で測定、チェーンは引っ張った状態)

チェーンが許容長に達している場合：

- BMW Motorrad デイラーにお問い合わせください。



- リベット頭部 1 がねじ曲がっていないか確認してください。

170 メンテナンス

リベット頭部はチェーン中心線 2 と平行位置にあります。

- リベット打ちは正常です。

1 個または複数のリベット頭部がねじ曲がっています。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

ライトバルブ

LED バルブを交換する



警告

車両バルブ機能停止による道路交通での車両の見過ごし安全に関わる危険

- 故障したライトバルブはできるかぎり早く交換してください。この件につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

当該モーターサイクルのすべてのライトバルブは LED バルブです。LED バルブはご利用のモーターサイクルより長寿命です。LED バルブの不具合については、BMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場にお問い合わせください。

ジャンプスタート

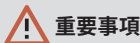


注意

エンジン作動時に、イグニッションシステムの電圧を伝導する部品に接触

感電

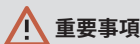
- エンジン作動時は、イグニッションシステムの部品に決して触れないでください。



重要事項

モーターサイクルでジャンプスタートを行う際の強すぎる電流車両電装系の損傷やケーブルの燃焼

- モーターサイクルのジャンプスタートは電源ソケットからではなく、必ずバッテリーターミナルから行ってください。



重要事項

ジャンパーコードのターミナルクランプと車両間の接触ショートのおそれ

- ジャンパーコードは完全に絶縁されているターミナルクランプとともに使用してください。

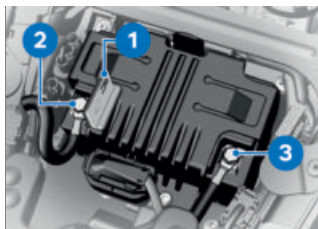
⚠ 重要事項

ジャンプスタートを 12 V より高い電圧で行う

車両電装系の損傷

- 供給側車両のバッテリー電圧が、12 Vであることを確認してください。

- シートを取り外す (▶▶ 72)。
- ジャンプスタートを行う際、バッテリーを車両電装システムから切り離さないでください。



- ロックを押し込み、プラスターミナルカバー **1** を開きます。
- ジャンパーコード(赤)の一方の先端を、まず放電したバッテリーのプラスターミナルに接続します。その後、もう一方の先端を供給側バッテリーのプラスターミナルに接続します(当該車両のプラスターミナル：ポジション **2**)。
- ジャンパーコード(黒)の一方の先端を供給側バッテリーのマイナスターミナルに接続します。その後、もう一方の先端を放電

したバッテリーのマイナスターミナルに接続します(当該車両のマイナスターミナル：ポジション **3**)。

i バッテリーマイナスターミナルの代わりに、サスペンションストラットのボルトを使用することもできます。

- ジャンプスタートを行っている間、供給側バッテリー車両のエンジンを作動させておきます。
- 放電したバッテリー側の車両のエンジンを、通常の方法で始動させます。正常に始動しなかった場合は、スターターと供給側バッテリーの保護のため、数分経ってから再始動させてください。
- ジャンパーコードの接続を外す前に、両車両のエンジンをそのまま数分間作動させておいてください。
- ジャンパーコードは、まずマイナスターミナルから外し、その後プラスターミナルから外します。

i エンジンを始動するために、スタートアシストスプレーや類似の補助剤は使用しないでください。

- シートを取り付ける (▶▶ 73)。

172 メンテナンス

バッテリー

メンテナンスに関する注意

正しいメンテナンス、充電、保管は、バッテリーの寿命を延ばし、また、保証のための前提条件となります。


バッテリーの寿命を延ばすために、以下のことに注意してください：

- バッテリーの表面を、清潔で乾いた状態に保つ。
- バッテリーを開けない。
- バッテリーに水を補充しない。
- バッテリーの充電を行う場合は、必ず、次ページ以降の注意事項に従う。
- バッテリーを逆さまにしない。

重要事項

車両エレクトロニクス(時計など)により、接続されているバッテリーが放電する過放電、それによる保証要件からの除外

- 4週間以上、走行しない場合：トリクルチャージャーをバッテリーに接続してください。

 BMW Motorradでは、ご使用のモーターサイクルの電子機器専用にトリクルチャージャーを開発しました。このチャージャーを使用すれば、車両を長期間使用しない場合でも、バッテリーを接続した状

態で充電しておくことができます。詳しい情報につきましては、BMW Motorradディーラーにお問合せください。

接続しているバッテリーを充電する

- 電源ソケットに接続されている機器を取り外します。

重要事項

車両に接続されているバッテリーをバッテリーターミナルで充電

車両電装系の損傷

- 充電前にバッテリーをバッテリーターミナルから接続を外してください。

重要事項

電源ソケットに接続されている、不適切なバッテリーチャージャー

チャージャーおよび車両電装系の損傷

- 適切なBMWチャージャーを使用します。対応する適切なチャージャーはBMW Motorradディーラーで入手することができます。

**重要事項****電源ソケットまたは補助コネクタから完全に放電したバッテリーを充電する**

車両エレクトロニクスの損傷

- 完全に放電したバッテリー（バッテリー電圧 12 V 未満、イグニッションオン時に表示灯およびマルチファンクションディスプレイがオフのまま）を必ず**分離した**バッテリーのターミナルで充電します。

- 接続しているバッテリーに電源ソケットから充電します。



バッテリーがフル充電されると、車両の電子機器が検知します。この場合、電源ソケットの回路は遮断されます。

- バッテリーチャージャーの取扱説明書を確認し、遵守してください。



電源ソケットからバッテリーの充電ができない場合、使用されたチャージャーがモーターサイクルの電子機器に適合していない可能性があります。この場合は、車両から分離したバッテリーのターミナルから、直接バッテリーを充電してください。

外したバッテリーを充電する

- 適切なチャージャーを使用し、バッテリーを充電します。
- バッテリーチャージャーの取扱説明書を確認し、遵守してください。
- 充電後、バッテリーチャージャーのターミナルクランプをバッテリーターミナルから外します。



長期間車両を使用しない場合は、バッテリーを定期的に充電する必要があります。その場合には、そのバッテリーの取扱い規定に従ってください。また、再使用する前に必ずバッテリーをフル充電してください。

バッテリーを取り外す

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。
- シートを取り外す (▶▶ 72)。
- 盗難防止装置 (DWA)^{OE} 装備
- 必要に応じて、盗難警報装置を OFF にします。◀
- イグニッションを OFF にします。




重要事項

バッテリーの接続を不適切な方法で切る

ショートのおそれ

- 接続を切る手順を遵守してください。
- 最初にバッテリーマイナス配線 **1** を取り外します。
- ロックを押し込み、プラスターミナルカバー **5** を開きます。
- その後、バッテリープラス配線 **4** を取り外します。
- コネクター **3** を外します。
- ボルト **2** を取り外します。
- ロック **6** を後方へ押しします。
- バッテリーホルダー **7** を取り外します。
- バッテリーを持ち上げて取り外します。スムーズに外せない場合は、前後に動かすと外しやすくなります。

バッテリーを取り付ける

 車両にバッテリーが入っていない期間が長かった場合は、サービスインジケータの適切な機能が保証されるように、現在の日付をメーターパネルに登録する必要があります。

- イグニッションを OFF にします。
- バッテリーのプラスターミナルを進行方向で右側にして、バッテリーをバッテリー収納部に組み込みます。



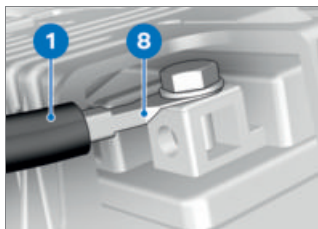
- バッテリーホルダー **7** をのせます。ホルダー **6** が音をたててかみ合います。
- ボルト **2** を取り付けます。
- コネクター **3** を接続します。
- プラスターミナルカバー **5** を開きます。

重要事項

バッテリーの不適切な接続 ショートのおそれ

- 取付け順序を守る。

- バッテリープラス配線 4 を取り付けます。
- プラスターミナルカバー 5 を閉じます。



- バッテリーマイナス配線 1 を 8 の向きに合わせて取り付けます。

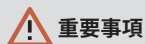
-盗難防止装置 (DWA)^{OE} 装備

- 必要に応じて、盗難警報装置を ON にします。◁

- シートを取り付ける (▶▶▶ 73)。
- 時計を調整する (▶▶▶ 85)。
- 日付を設定する (▶▶▶ 84)。

ヒューズ

メインヒューズを交換する



重要事項

故障しているヒューズのバイパス


ショートや火災の危険

- 故障しているヒューズは交換してください。
- 故障ヒューズは新品のヒューズと交換してください。

- イグニッションを OFF にします。
- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。
- シートを取り外す (▶▶▶ 72)。



- 故障したヒューズ 1 を交換します。

 ヒューズが頻繁に故障する場合には、電装システムの点検を専門の整備工場またはBMW Motorrad ディーラーに依頼してください。

176 メンテナンス

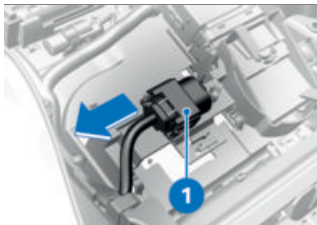


メインヒューズ

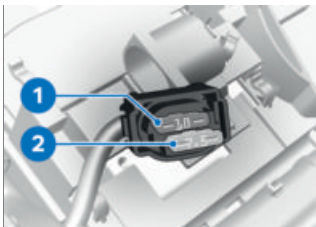
40 A (電圧レギュレーター)

- シートを取り付ける (▶▶▶ 73)。

ヒューズを交換する



- イグニッションを OFF にします。
- シートを取り外す (▶▶▶ 72)。
- ヒューズボックス 1 を取り外します。



重要事項

故障しているヒューズのバイパス

ショートや火災の危険

- 故障しているヒューズは交換してください。
- 故障ヒューズは新品のヒューズと交換してください。

- 故障したヒューズ 1 または 2 を割り当てに従って交換します。

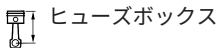


ヒューズが頻繁に故障する場合には、電装システムの点検を専門の整備工場またはBMW Motorrad ディーラーに依頼してください。



ヒューズボックス

10 A (スロット 1: メーターパネル、盗難警報装置 (DWA)、イグニッションスイッチ、診断ソケット、メインリレーコイル)



ヒューズボックス

7.5 A (スロット 2: 左コンビ
ネーションスイッチ、タイヤ空
気圧コントロール (RDC))

- ヒューズボックスを組み込みま
す。
- シートを取り付ける (▶▶▶ 73)。

診断コネクタ

診断コネクタを外す



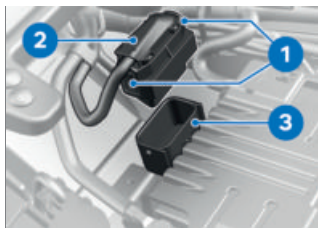
注意

オンボード診断用診断コネク ターを外す際の手順の誤り

モーターサイクルの機能障害

- 診断コネクタの取り外し
は、必ず、専門の整備工場
またはその他の認定されて
いるメカニックに依頼し、
BMW Motorrad サービス中
に行ってもらうようにしてく
ださい。
- 適切なトレーニングを受けた
メカニックに作業の実行を依
頼します。
- モーターサイクルメーカーの
規定を確認し、遵守してくだ
さい。

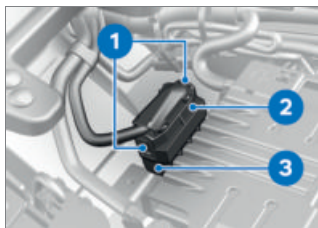
- シートを取り外す (▶▶▶ 72)。



- ロック **1** の両側を押します。
- 診断コネクタ **2** をホルダー **3**
から外します。
- ▶▶▶ 診断システム／情報システム用
インターフェースを診断コネク
ター **2** に差し込むことができ
ます。

診断コネクタを取り付ける

- 診断システム／情報システム用
インターフェースを取り外しま
す。



- 診断コネクタ **2** をホルダー **3**
に差し込みます。
- ▶▶▶ ロック **1** がかみ合います。
- シートを取り付ける (▶▶▶ 73)。

アクセサリー

10

一般的な情報	180
電源ソケット	180
ソフトケース	181
トップケース	182
ナビゲーションシステム	184

一般的な情報



注意

他社製品の使用

安全に関わる危険

- BMW Motorrad では、すべての他社製品について、BMW 車両において安全性の問題なく使用できるかどうか判定することはできません。国別仕様により公的な許可が与えられている場合にも、これは認められていません。それらのようなテスト／点検では、常にBMW 車両におけるすべての使用条件を考慮に入れるということはできず、そのため部分的に十分でないところがあります。
- 必ず、BMW が BMW 車両用に承認している部品およびアクセサリ製品のみご利用ください。

これらの部品およびアクセサリは、BMW により、その安全性、機能、適性に関する試験が行われたものです。そのため、BMW が製造責任を保証いたします。承認されていない部品やアクセサリにつきましては、いかなる種類であれ、BMW は一切の責任を負いません。変更を加える場合にはすべてにおいて、必ず法規制に従ってくだ

さい。各国の道路交通法を遵守してください。

BMW Motorrad ディーラーは、皆様がBMW 純正部品、アクセサリ、その他の製品を選択されるにあたり、専門的なアドバイスをいたします。

アクセサリに関する詳しい情報については、以下を参照してください：

bmw-motorrad.com/equipment

電源ソケット

電源ソケット使用時の注意事項

自動停止

以下の状況では、電源ソケットは自動的に OFF になります：

- バッテリー電圧が低すぎて、車両の始動性能を維持できない場合。
- テクニカルデータで規定されている最大定格負荷を超過している場合。
- 始動動作中。

追加装備機器の使用

電源ソケットに接続されている追加装備機器は、イグニッション ON の状態でのみ、作動させることができます。その後でイグニッションを OFF にしても、追加装備機器は作動し続けます。イグニッションを OFF にしてから約 15 分後に、電源ソケットは車両

電装システムの負荷を解除するためにOFFになります。

電流消費の少ない補助機器は車両エレクトロニクスによって検知されない可能性があります。その場合、イグニッションをOFFにした後に少し経ってから電源ソケットがOFFになります。

ケーブルの取り回し

電源ソケットから追加装備機器

にケーブルを取り回す際には、以下の点に注意してください：

- ケーブルがライダーの妨げになってはなりません。
- ケーブルがハンドルバーの動きやハンドリング性能を制限してはなりません。
- ケーブルが挟み込まれたりしてはなりません。

に掛けて取り付け、ロック 2 にあてがいます。



- キー 1 を進行方向と反対側に回し、ソフトケースをロックに押し込みます。
- »ソフトケースが音をたててロックにかみ合います。

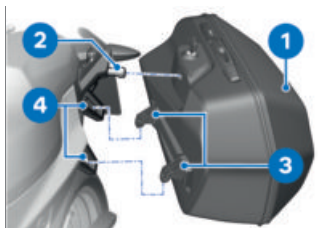
ソフトケースを取り外す

- 左/右ケースホルダー^{OE} 装備
- ケース^{OA} 装備

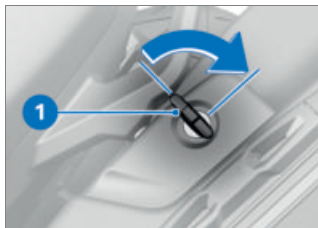
ソフトケース

ソフトケースを取り付ける

- 左/右ケースホルダー^{OE} 装備
- ケース^{OA} 装備

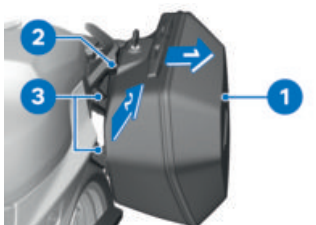


- ソフトケース 1 を突起部 3 を使用して上方からホルダー 4



- キー 1 を進行方向の反対側に回します。

182 アクセサリー



- ソフトケース 1 を矢印の方向 1 にロック 2 から外します。ソフトケース 1 を矢印の方向 2 に突起部 3 から持ち上げます。

最大積載荷重および最高速度

- 左/右ケースホルダー^{OE} 装備
- ケース^{OA} 装備

最大積載荷重および最高速度を確認し、遵守します。



ケースを装着して走行する場合の最高速度

max 180 km/h



ケースごとの積載荷重

max 5 kg



- トップケースロックのキーをポジション 1 に回します。



- ロックシリンダー 1 を前方へ押します。
» ロック解除レバー 2 が飛び出します。
- ロック解除レバー 2 を完全に引き上げ、トップケースリッドを開きます。

トップケース

トップケースを開く

- トップケース^{OA} 装備
- ラゲッジラック^{OA} 装備

トップケースを閉じる

- トップケース^{OA} 装備
- ラゲッジラック^{OA} 装備



- ロック解除レバー **1** を完全に引き上げます。
- トップケースリッドを押したまま保持します。中身が挟まっていないか確認します。

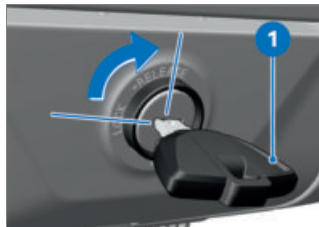
i ロックが**LOCK**位置にあるときに、トップケースが閉じられることもあります。この場合、車両キーがトップケースの中に入っていないことを確認してください。



- ロック解除レバー **1** を、かみ合うまで押し下げます。
- トップケースロックでキーを**LOCK**位置に回し、抜き取ります。

トップケースを取り外す

- トップケース^{OA} 装備
- ラゲッジラック^{OA} 装備



- キー **1** を時計回りにポジション **RELEASE** に回します。
 » キャリングハンドルが飛び出します。



- キャリングハンドル **1** を完全に上方向に開きます。
- トップケース後部を持ち上げ、ラゲッジラックから引いて外します。

184 アクセサリー

トップケースを取り付ける

- トップケース^{0A} 装備
- ラゲッジラック^{0A} 装備

- キャリングハンドルを完全に引き上げます。



- トップケースをラゲッジラックに組み込みます。フック **1** が対応するサポート **2** に確実に組み合っていることを確認します。




- キャリングハンドル **1** を、かみ合ってはまる音がするまで押し下げます。
- トップケースロックでキーを **LOCK** 位置に回し、抜き取ります。


最大積載荷重および最高速度

- トップケース^{0A} 装備
- ラゲッジラック^{0A} 装備

最大積載荷重および最高速度を確認し、遵守します。

 トップケース積載で走行時の最高車速

max 180 km/h


 トップケースの積載荷重


max 5 kg

ナビゲーションシステム

- NAV 取付けキット^{0E} 装備

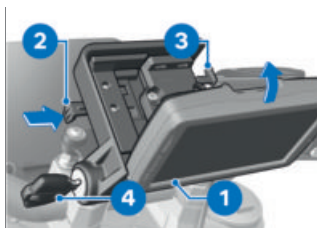
ナビゲーションユニットをしっかりと取り付ける

 BMW Motorrad Navigator IV 以降で、ナビゲーション準備部品に適合しています。

 Mount Cradle のロックシステムに盗難からの保護機能はありません。走行後には毎回、ナビゲーションシステムを取り外し、安全なところに保管してください。



- 車両キー 1 を反時計回りに回します。
- シャットオフ ロック 2 を左へ引きます。
- ロック 3 を押し込みます。
- » Mount Cradle はロック解除されており、カバー 4 を前方へ回転させて取り外すことができます。



- ナビゲーション装置 1 を下側のエリアに組み込み、回転させて後方へ動かします。
- » ナビゲーションユニットが音をたててかみ合います。
- シャットオフ ロック 2 を完全に右へスライドさせます。
- » ロック 3 が掛かります。

- 車両キー 4 を時計回りに回します。
- » ナビゲーションユニットはロックされており、車両キーを抜き取ることができます。

ナビゲーションユニットを取り外し、カバーを取り付ける

⚠ 重要事項

Mount Cradle の接触部の塵埃や汚れ

接触部の損傷

- 走行後には毎回、カバーを再度取り付けてください。




- 車両キー 1 を反時計回りに回します。
- シャットオフ ロック 2 を完全に左へ引きます。
- » ロック 3 が解除されます。
- ロック 3 を完全に左へスライドさせます。
- » ナビゲーション装置 4 がロック解除されます。
- ナビゲーション装置 4 を傾けながら下方向へ取り外します。


186 アクセサリー



- カバー 1 を下部領域に組み付け、回転させて上方へ回します。
» カバーが音をたててはまりません。
- シャットオフ ロック 2 を右へスライドさせます。
- 車両キー 3 を時計回りに回します。
» カバー 1 が固定されます。

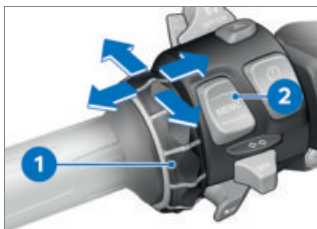
ナビゲーションシステムを操作する

 以下の説明はBMW Motorrad Navigator V およびBMW Motorrad Navigator VI に関するものです。BMW Motorrad Navigator IV は記載されていないすべての機能を有するものではありません。

 BMW Motorrad コミュニケーションシステムの最新バージョンのみがサポートされます。場合により、BMW Motorrad コミュニケーションシステム用のソフトウェア更新が必要です。その場合には、BMW Motorrad

ディーラーにお問い合わせください。

BMW Motorrad Navigator が取り付けられており、操作対象がNavigator に切り替えられている場合は (▶▶ 81)、その機能の一部をハンドルバーから直接操作することができます。



ナビゲーションシステムの操作は、マルチコントローラー 1 およびMENU ロックスイッチ 2 を介して行われます。

マルチコントローラー 1 を上下方向に回す

コンパス画面およびMediaplayer 画面で：Bluetooth を介して接続されているBMW Motorrad コミュニケーションシステムの音量を上げます/下げます。

BMW スペシャルメニュー：メニュー項目を選択します。

マルチコントローラー 1 を左右 に素早く傾ける

Navigator のメインページ間の切り替え：

- 地図表示部
- コンパス
- Mediaplayer
- BMW スペシャルメニュー
- My Motorcycle ページ

マルチコントローラー 1 を左右 にしばらくの間傾ける

Navigator ディスプレイで特定の機能を ON にします。この機能は、該当するタッチパッドの上側に左矢印または右矢印で示されています。



この機能は右方向へ長押しすることにより起動します。



この機能は左方向へ長押しすることにより起動します。

MENU ロッカーボタン 2 下側を押す

操作対象を Pure Ride 画面に切り替えます。

それぞれ以下の機能が操作できます：

地図表示部

- 上方向へ回す：地図表示を拡大する (Zoom in)。
- 下方向へ回す：地図表示を縮小する (Zoom out)。

BMW スペシャルメニュー


- 前回のナビゲーションアナウンスを繰り返します。
- ウェイポイント：現在位置をお気に入りとして保存します。
- ホーム：自宅住所へのナビゲーションを開始します(自宅住所が設定されていない場合にはグレー表示になっています)。
- ミュート：自動ナビゲーションアナウンス OFF または ON (OFF：ディスプレイ内の最上段に線で消されたリップマークが表示されます)。ナビゲーションアナウンスはその後「アナウンスする」を介してアナウンス可能になります。他のすべての音声出力は ON のままです。
- 表示を OFF にする：ディスプレイを OFF にします。
- 自宅に電話する：ナビゲーターに登録されている自宅電話番号に電話します(接続されている電話があるときのみ作動)。
- 迂回：迂回機能を ON にします(アクティブになっているルートがあるときのみ作動)。
- スキップ：次のウェイポイントをスキップします(そのルート

188 アクセサリー

にウェイポイントがある場合にのみ作動)。

My Motorcycle

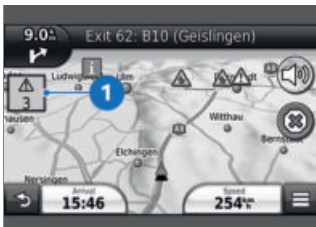
- 回数：表示されているデータ数を変更します。
- ディスプレイ上のデータ欄を軽く叩く(タップする)ことにより、データの選択用メニューが開きます。
- 選択用に表示されている値は、取り付けられているオプション装備品により異なります。

 **Mediaplayer** の機能は、A2DP 標準に従った Bluetooth デバイス(例：BMW Motorrad 通信システム)を使用した場合のみ、利用できます。


Mediaplayer

- 左方向へ長押しする：前のトラックを再生します。
- 右方向へ長押しする：次のトラックを再生します。
- 回数することにより、Bluetooth 経由で接続されている BMW Motorrad コミュニケーションシステムの音量が上がります／下がります。

インジケーターおよび警告メッセージ




モーターサイクルのインジケーターおよび警告メッセージは、マップ表示の左上の該当するアイコン **1** で表示されます。

 BMW Motorrad コミュニケーションシステムが接続されている場合、警告 1 件につきさらに注意音が 1 つ鳴ります。

複数のアクティブな警告メッセージがある場合には、メッセージ数が三角形の警告マークの下側に表示されます。

三角形の警告マークをクリックすると、2 個以上のメッセージがある場合に、すべての警告メッセージを掲載したリストが開きます。

メッセージを 1 個選択すると、さらに詳しい情報が表示されます。

 すべての警告について詳細な情報を表示することはできません。

特別機能

BMW Motorrad Navigator の統合により、Navigator 取扱説明書の記載に異なるところが出てきています。

燃料残量警告

フューエルレベル表示の設定は使用できません。残量警告は車両からNavigatorに伝送されるからです。メッセージが有効な場合、メッセージを押すと最寄りのガソリンスタンドが表示されます。

セキュリティ設定

BMW Motorrad Navigator V およびBMW Motorrad Navigator VI では、4桁のPINにより、第三者による操作から保護することができます(Garmin Lock)。この機能がアクティブになると、ナビゲーターが車両に取り付けられていてイグニッションがONの間に、ライダーに対して、この車両を保護されている車両のリストに追加するかどうか確認がなされます。この問いに対して「はい」で確定すると、Navigatorがこの車両の車両識別番号を保存します。

車両識別番号は5つまで登録することができます。

これらの車両の1台でイグニッションをONにすることによりNavigatorがONになる場合に

は、PIN入力は必要なくなります。

NavigatorがONの状態から取り外されると、セキュリティ上の理由からPINの照会が開始されます。

画面の明るさ

取り付けられている状態で、画面の輝度がモーターサイクルにより設定されます。手動入力はありません。

自動設定を希望しない場合は、Navigatorのディスプレイ設定でOFFにすることができます。

お手入れ

11

ケア用品	192
洗車	192
損傷しやすい車両部品のお手入れ	193
ペイントのお手入れ	194
保護コーティング	195
長期保管	195
モーターサイクルの再使用	195

ケア用品

BMW Motorrad は、ご使用になる洗剤やケア用品をBMW Motorrad ディーラーでお求めになることをお勧めします。BMW Care Products については、原料のテストや研究機関による製品テストおよび試用テストが行われており、お客様の車両に使用されている素材のケアと保護を最適に行います。



重要事項

不適切な洗剤およびケア用品の使用

車両部品の損傷

- ニトロ希釈液、コールドクリーナー、ガソリン、アルコールを含んだクリーナーなどを使用しないでください。



重要事項

強度の酸性またはアルカリ性の洗剤の使用について

車両部品の損傷

- 洗剤の包装に記載されている希釈濃度を確認し、遵守してください。
- 決して強度の酸性またはアルカリ性の洗剤を使用しないでください。

洗車

BMW Motorrad は、ペイントに付着している昆虫や硬化した汚れなどを、洗車の前に BMW 専用クリーナーで柔らかくして洗い流しておくことをお勧めします。

しみができるのを避けるため、強い直射日光にさらされた直後や日向での洗車は行わないでください。

フォークストラットは定期的に清掃し、汚れを取り除いてください。

特に冬季の間は、洗車をより頻繁に行ってください。

路面に散布された塩を除去するため、走行後は、直ちにモーターサイクルを冷水で洗車します。



雨天走行後や湿度が高い場合、あるいは洗車後には、ヘッドライトの内側に結露が生じることがあります。そのような場合、ヘッドライトが一時的に曇ることがあります。ヘッドライト内の水分が恒久的に集められているようにしたい場合には、BMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場にお問い合わせください。

警告

車両を水洗いしたり、水たまりの中を通過したり、雨の日に走行した後の、水分の付着したブレーキディスクおよびブレーキパッド

ブレーキの効きの低下、事故を起こす危険

- ブレーキディスクおよびブレーキパッドが乾いた状態でブレーキがかけられるようになるまでは、早めにブレーキングしてください。

重要事項

温水による塩の作用の増大腐食

- 散布された塩を除去するには、必ず冷水を使用してください。

重要事項

高圧クリーナーやスチームジェット機器の高い水圧による損傷

ラベル、シーリング、油圧式ブレーキシステム、電装系およびシートの腐食、ショートまたは損傷

- 高圧ジェットやスチームクリーナーは慎重に使用してください。

損傷しやすい車両部品のお手入れ

プラスチック

重要事項

不適切な洗剤の使用

プラスチック表面の損傷


- アルコールや溶剤、研磨剤を含んだクリーナーは使用しないでください。
- 虫取りスポンジや表面の硬いスポンジは使用しないでください。

フェアリング部

カバー部分の水とBMW Motorrad クリーナーで清掃します。

プラスチック製ウインドシールドおよびカバーレンズ

汚れや昆虫を、柔らかいスポンジと水を大量に使用して除去してください。

 硬化した汚れや昆虫などの付着は、湿らせた布などをかぶせて柔らかくしてください。

TFT ディスプレイ

TFT ディスプレイを湯と洗剤を使用して清掃します。続いて、ペーパータオルなどの清潔なウェスで拭き取って乾かします。

194 お手入れ

クローム

クローム部品を十分な水とBMW Motorrad ケア製品シリーズのモーターサイクルクリーナーで丁寧に清掃します。これは特に融雪塩の影響を受けている場合に該当します。さらに処置を施す場合には、BMW Motorrad メタルポリッシュを使用してください。

ラジエター

ラジエターは、定期的に清掃してください。冷却が不十分のために起こるエンジンのオーバーヒートを避けるためです。園芸用ホースなどを使い、低い水圧で清掃してください。

重要事項

ラジエタープレートを折り曲げる

ラジエタープレートの損傷

- ・清掃の際に、ラジエタープレートを折り曲げないように注意してください。

ラバー

ラバー部品の清掃には、水またはBMW ラバークリーナーを使用してください。

重要事項

ラバーシールのお手入れにシリコンスプレーを使用
ラバーシールの損傷

- ・シリコンスプレーやシリコンを含んだケア製品を使用しないでください。

ペイントのお手入れ

定期的に洗車を行うことにより、塗装部分に長期間にわたって影響を与え、ペイントを損傷する原因となる物質を除去することができます。特に、大気汚染が激しい地域や、樹脂や花粉などが付着するような地域を走行した場合などに効果的です。

特に侵食性の高い物質は、直ちに除去してください。ペイントの損傷や変色を引き起こすおそれがあります。侵食性の高い物質には、こぼれたフェューエルやオイル、グリース、ブレーキ液、鳥のふんなどがあります。これには、BMW Motorrad クリーナーと、続けて防錆処理のためにBMW Motorrad 光沢ポリッシュの使用をお勧めします。ペイントの表面仕上げに付着している汚れは、洗車後に特に見えやすくなります。このような汚れは、クリーニング用ベンジンまたはアルコールを清潔な布や綿球などに含ませて、直ちに除去

してください。BMW Motorrad は、タール系の汚れには、BMW タールリムーバーの使用をお勧めします。その後、その箇所のペイントを保護コーティングなどで保護します。


保護コーティング

ペイントから水が垂れなくなったら、防錆処理する必要があります。

BMW Motorrad は、ペイント保護コーティングのため、BMW Motorrad 光沢ポリッシュおよびカルナバワックス、合成ワックスを含むコーティング剤を使用することをお勧めします。

長期保管

- モーターサイクルを満タンにします。

 ガソリン添加剤はフューエルインジェクションシステムおよび燃焼エリアを洗浄する効果があります。低品質の燃料を給油した場合、または、長期間使用しなかった場合には、ガソリン添加剤を使用する必要があります。詳しい情報につきましては、BMW Motorrad デイラーにお問い合わせください。

- 洗車します。
- バッテリーを取り外します。
- ブレーキレバー、クラッチレバー、サイドスタンドのピボッ

ト部に、適切な潤滑剤を塗布します。

- 金属部品やクロームメッキ部品に中性のグリース(ワセリン)を塗布します。
- モーターサイクルを、両ホイールに負荷がかからない状態にして、乾燥した場所に保管します(できればBMW Motorrad が提供しているフロントホイールスタンドおよびリアホイールスタンドを使用)。

モーターサイクルの再使用

- 表面に塗布されている保護用コーティングを取り除きます。
- 洗車します。
- バッテリーを取り付けます。
- チェックリストを確認し、遵守する (▶▶ 111)。

テクニカルデータ

12

トラブルシューティング	198
ねじ止め部	200
燃料	202
エンジンオイル	202
エンジン	203
クラッチ	203
ギヤボックス	204
リヤホイールドライブ	204
フレーム	205
サスペンション	205
ブレーキ	206
ホイールとタイヤ	206
電装系	207
盗難警報装置	208
寸法	209
重量	210
性能	210

198 テクニカルデータ

トラブルシューティング

エンジンが始動しない：

原因	修理
サイドスタンドが出ていて、ギヤが入っている	ニュートラルに設定するか、サイドスタンドを格納します。
ギヤが入っていて、クラッチを切っていない	ギヤをニュートラルにするか、クラッチを切ります。
燃料が入っていない	給油します。
バッテリーが空になっている	接続しているバッテリーを充電します。
スターターに対する過熱保護が作動した。スターターを稼働させる時間は制限されています。	スターターが使用できるようになるまで約1分間冷却します。

Bluetooth 接続が確立されません。

原因	修理
ペアリングに必要なステップが踏まれませんでした。	コミュニケーションシステムの Operating instructions で、ペアリングに必要なステップに関する情報を入手してください。
ペアリングを行ってもコミュニケーションシステムが自動的に接続されません。	ヘルメットのコミュニケーションシステムを OFF にして、1～2分後に再度接続してください。
ヘルメットに保存されている Bluetooth 機器の数が多すぎます。	ヘルメットのすべてのペアリング登録を削除してください (コミュニケーションシステムの Operating instructions を参照)。
Bluetooth 対応機器を装備した他の車両が付近にあります。	複数の車両との同時ペアリングは避けてください。

Bluetooth 接続が阻害されています。

原因	修理
携帯端末機器との Bluetooth 接続が遮断されます。	省電力モードを OFF にしてください。
ヘルメットとの Bluetooth 接続が遮断されます。	ヘルメットのコミュニケーションシステムを OFF にして、1～2分後に再度接続してください。
ヘルメットの音量を調整することができません。	ヘルメットのコミュニケーションシステムを OFF にして、1～2分後に再度接続してください。

電話帳が TFT ディスプレイに表示されません。

原因	修理
電話帳が車両にまだ転送されていません。	モバイル端末機器でのペアリングの際に、電話データの伝送 (📶➡️ 96) を確定します。

アクティブ目的地ガイドが TFT ディスプレイに表示されません。

原因	修理
BMW Motorrad Connected App のナビゲーションが転送されませんでした。	接続されている携帯端末機器で、走行開始前に BMW Motorrad Connected App を呼び出してください。
目的地ガイドをスタートさせることができません。	携帯端末機器のデータ接続を確認して、携帯端末機器のマップデータを点検してください。

200 テクニカルデータ

ねじ止め部

フロントホイール	数値	有効
フロントホイール回転数センサーとフォーク		
M6 x 16、ボルトを交換する マイクロカプセル加工済	8 Nm	
フロントフェンダーとテレスコピックフォーク		
M5 x 14、ボルトを交換する マイクロカプセル加工済	2 Nm	
ブレーキキャリパーとテレスコピックフォーク		
M10 x 65	38 Nm	
アクスルシャフトのクランプ		
M8 x 35	締付け順序: ボルトを6回、交互に締め付ける 19 Nm	
フロントアクスルシャフト内のアクスルボルト		
M20 x 1.5	50 Nm	

リヤホイール	数値	有効
リヤホイール回転数センサーとブレーキキャリアパーサポート		
M6 x 16、ボルトを交換する マイクロカプセル加工済	8 Nm	
スイングアーム内リヤホイールアクスルシャフト		
M24 x 1.5 メカニズム部分	100 Nm	
ミラーアーム	数値	有効
ミラー(ロックナット)とクランプ		
M10 x 1.25	左ネジ、22 Nm	
アダプターとクランプ台		
M10 x 14 - 4.8	25 Nm	

202 テクニカルデータ

燃料

推奨フューエルグレード	無鉛プレミアムガソリン(ハイオク) (最大 15 %エタノール、E15) 95 ROZ/RON 90 AKI
フューエルタンク容量	約 13 l
フューエルリザーブ容量	約 3.5 l
燃費	4.2 l/100 km、WMTC に準拠
CO2 排出	99 g/km、WMTC 後
排ガス基準	EU 5

エンジンオイル

エンジンオイル容量	約 3.0 l、フィルター交換時
規格	SAE 5W-40、API SL / JASO MA2、 添加剤(例えばモリブデンベースのもの) は許可されていません。コーティングされているエンジン部品が損傷するためです、BMW Motorrad では、BMW Motorrad ADVANTEC Ultimate オイルを推奨しています。
オイル添加剤	オイル添加剤はクラッチ機能に支障をもたらすおそれがあるため、BMW Motorrad はオイル添加剤の使用をお勧めしません。ご愛用のモーターサイクルに適したエンジンオイルについては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

エンジン

エンジン番号位置	クランクケース上部、オイルヒートエクスチェンジャー近く
エンジン型式	A24A09A
エンジン型式	水冷 2 シリンダー 4 ストロークエンジン、シリンダーごとにロッカーアームを介して 4 バルブを操作、上部にある二個のカムシャフトおよびドライサンプ潤滑方式
排気量	895 cm ³
シリンダーボア	86 mm
ピストンストローク	77 mm
圧縮比	13.1:1
最高出力	77 kW、エンジン回転数: 8500 min ⁻¹
最大トルク	92 Nm、エンジン回転数: 6500 min ⁻¹
最高回転数	max 9000 min ⁻¹
アイドリング回転数	1250 ^{±50} min ⁻¹ 、エンジン作動温度時

クラッチ

クラッチの仕様	湿式多板クラッチ(アンチホッピング)
---------	--------------------

204 テクニカルデータ

ギヤボックス

ギヤボックスの仕様	シリンダーブロックに統合された常時噛み合い式ヘリカルギア6速マニュアルトランスミッション
ギヤ比	1.821、一次減速比 1:2.833、1速 1:2.067、2速 1:1.600、3速 1:1.308、4速 1:1.103、5速 1:0.968、6速

リヤホイールドライブ

駆動方式	チェーンドライブ
チェーンのたるみ量	35...45 mm、モーターサイクルをサイドスタンドで立てる(無負荷状態)
-ローダウン ^{OE} 装備	30...40 mm、モーターサイクルをサイドスタンドで立てる(無負荷状態)
許容チェーン長	max 144 mm、10 リベットの中央で測定、チェーンは引っ張った状態
リヤホイールドライブの歯数 (ドライブsprocket/ドリブンスprocket)	17/44
ファイナルドライブ	2.588

フレーム

フレーム型式	シェル構造スチール製ブリッジタイプフレーム
型式プレートの位置	左フロントフレームとステアリングヘッド
車両識別番号の位置	右フロントフレーム

サスペンション

フロントホイール

フロントサスペンション型式	倒立テレスコピックフォーク
スプリングトラベル(フロント)	135 mm、フロントホイールで
-ローダウン ^{OE} 装備	115 mm、フロントホイールで

リヤホイール

リヤサスペンション型式	アルミキャストダブルアームスイングアーム
リヤサスペンション構造	コイルスプリング付きセントラルスプリングストラット、調整式リバウンドダンピングおよびスプリングプリロード
リアホイールのスプリング	142 mm、リヤホイールで
-ローダウン ^{OE} 装備	122 mm、リヤホイールで

206 テクニカルデータ

ブレーキ

フロントホイール

フロントブレーキ型式	4ピストンラジアルブレーキ キャリパーを搭載した油圧式ダブルディスクブレーキ。ブレーキディスクはフローティングマウント式
フロントブレーキパッドの材質	焼結合金
フロントブレーキディスク厚	4.5 mm、新品時の状態 min 4.0 mm、摩耗限度
ブレーキ操作の遊び (フロントブレーキ)	0.7...1.7 mm、ピストンで測定

リアホイール

リアブレーキ型式	1ピストンフローティングキャリパーを装備した油圧式ディスクブレーキ。ブレーキディスクはリジッドマウント
リアブレーキパッドの材質	有機素材
リアブレーキディスク厚	5.0 mm、新品時の状態 min 4.5 mm、摩耗限度
ブレーキペダルのブローバイクリアランス	2.0...3.0 mm、進行方向に対して直角、ブレーキライトスイッチプレートとフットレストプレート間

ホイールとタイヤ

推奨されるタイヤの組み合わせ	最新の承認タイヤの一覧については、BMW Motorrad デイラーにお問い合わせください。または、インターネット bmw-motorrad.com でもご確認いただけます。
----------------	---

タイヤ速度カテゴリー(フロント／リヤ)	W、少なくとも下記の値以上が必要： 270 km/h
---------------------	----------------------------

フロントホイール

フロントホイールの仕様	アルミキャストホイール
フロントホイールリムサイズ	3.50" x 17"
タイヤサイズ(フロント)	120/70 ZR 17
タイヤ荷重指数(フロント)	58
フロントホイールのアンバランスの許容値	max 5 g

リヤホイール

リヤホイールの仕様	アルミキャストホイール
リヤホイールリムサイズ	5.50" x 17"
タイヤサイズ(リヤ)	180/55 ZR 17
タイヤ荷重指数(リヤ)	73
リヤホイールのアンバランスの許容値	max 45 g

タイヤ空気圧

タイヤ空気圧(フロント)	2.5 bar、タイヤ冷間時
タイヤ空気圧(リヤ)	2.9 bar、タイヤ冷間時

電装系

メインヒューズ	40 A、電圧レギュレーター
ヒューズボックス	10 A、スロット 1：メーターパネル、盗難警報装置 (DWA)、イグニッションスイッチ、診断ソケット、メインリレーコイル 7.5 A、スロット 2：左コンビネーションスイッチ、タイヤ空気圧コントロール (RDC)
電源ソケットの定格電気負荷	5 A

208 テクニカルデータ

バッテリー	
バッテリー型式	AGM バッテリー(Absorbent Glass Mat : グラスマット吸収式)
バッテリー電圧	12 V
バッテリー容量	12 Ah
バッテリータイプ (Keyless Ride 無線キー)	
-Keyless Ride ^{OE} 装備	CR 2032
スパークプラグ	
スパークプラグのメーカーおよび名称	NGK LMAR9J-9E
ライトバルブ	
ハイビーム用バルブ	LED
ロービームのバルブ	LED
ポジションライト／パーキングライトバルブ	LED
テールライト／ブレーキライトバルブ	LED
ライセンスプレートライト用バルブ	テールライトに内蔵
ウインカー用バルブ	LED
盗難警報装置	
再使用時に ON になるまでの時間	約 30 s
アラーム継続時間	約 26 s
バッテリータイプ	CR 123 A

寸法

全長	2140 mm、リヤホイールの上
-ローダウン ^{OE} 装備	2135 mm、リヤホイールの上
全高	1130 mm、KOMBI 上、DIN 空車重量のとき
-ローダウン ^{OE} 装備	1110 mm、KOMBI 上、DIN 空車重量のとき
全幅	815 mm、ハンドレバーを含む
フロントシート高さ	815 mm、ライダー非乗車時、DIN 空車時
-ローシート ^{OE} 装備	790 mm、ライダー非乗車時、DIN 空車時
-エクストラハイシート ^{OE} 装備	865 mm、ライダー非乗車時、DIN 空車時
-ローダウン ^{OE} 装備	770 mm、ライダー非乗車時、DIN 空車時
ライダーステップアーチレングス	1820 mm、ライダー非乗車時、DIN 空車時
-ローシート ^{OE} 装備	1785 mm、ライダー非乗車時、DIN 空車時
-エクストラハイシート ^{OE} 装備	1890 mm、ライダー非乗車時、DIN 空車時
-ローダウン ^{OE} 装備	1755 mm、ライダー非乗車時、DIN 空車時

210 テクニカルデータ

重量

空車重量	211 kg、DIN 空車時、走行可能状態、燃料満載時の 90 %、オプション非装備
フロント軸荷重(空車時)	106 kg
許容軸荷重(フロント)	max 180 kg
リヤ軸荷重(空車時)	105 kg
許容軸荷重(リヤ)	max 300 kg
許容総重量	430 kg
最大積載荷重	219 kg

性能

最高速度	>200 km/h
-ケース ^{0A} 装備	180 km/h
-トップケース ^{0A} 装備	180 km/h

サービス

13

リサイクル	214
BMW MOTORRAD サービス	215
BMW MOTORRAD サービス履歴	216
BMW MOTORRAD モビリティサービス	216
メンテナンス作業	216
メンテナンススケジュール	218
メンテナンスの確認	219
一般整備記録	231

214 サービス

リサイクル

二輪車を廃棄する場合は？

最寄りの「廃棄二輪車取扱店」のBMW Motorrad ディーラーにご相談ください。

廃棄二輪車取扱店とは(社) 全国軽自動車協会連合会の登録販売店で、広域廃棄物処理指定業指定店として登録されている廃棄二輪車取扱店です。廃棄二輪車を適正処理するための窓口であり、店頭に「廃棄二輪車取扱店の証」が表示されています。



廃棄二輪車取扱店の証

リサイクル料金と二輪車リサイクルマーク

リサイクル料金は廃棄二輪車を適正な処理を行い、再資源化する費用です。

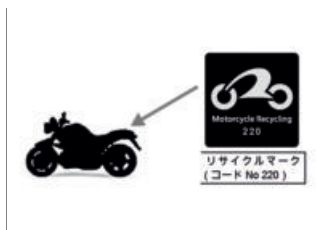
リサイクルマーク(3 cm × 3 cm)が車体(シートの下)に貼付されているBMW Motorradは、リサイクル費用がメーカー希望小売価格に含まれておりますので、再資源

化に必要なリサイクル料金はいたしません。

ただし、運搬および収集費用は含まれておりませんので、お客様から廃棄二輪車取扱店、および指定引取所迄の運搬および収集費用はお客様負担となります。

尚、運搬および収集費用は、依頼する廃棄二輪車取扱店にお問い合わせください。

また、お客様の都合で二輪車リサイクルシステムを活用されない場合に於いても、リサイクル料金は返還いたしません。



シート下のフレーム等に貼付しています

二輪車リサイクルマークの取扱い

二輪車を廃棄する際は、二輪車リサイクルマークが必要となります。

リサイクルマークは車体から剥がさないでください。尚、紛失、破損による再発行、部品販売の取扱いはございません。

リサイクルマークの剥がれ等により、リサイクルマーク付車両か否か不明の場合は、(財)自動車リサイクル促進センターのホームページおよび二輪車リサイクルコールセンターでご確認ください。

廃棄二輪車に関するお問い合わせ

廃棄二輪車に関するお問い合わせは、最寄りの「廃棄二輪車取扱店」のBMW Motorrad ディーラーまたは下記の二輪車コールセンターまでお問合せください。

(財)自動車リサイクル促進センター内

- 二輪車リサイクルコールセンター
- 電話番号 03-3598-8075
- 受付時間 9時30分～17時00分
(土日祝日、年末年始等を除く)
- インターネット：
www.jarc.or.jp

BMW MOTORRAD サービス

BMW Motorrad は広範囲にわたるディーラーネットワークにより、世界 100 か国以上で、お客様およびご使用のモーターサイクルのためのサービスを提供しています。BMW Motorrad ディーラーは、ご使用のBMW モーターサイクルにおいて、あらゆるメンテナンスおよび修理作業を確実に行うた

めの技術情報および技術的ノウハウを備えています。

最寄りのBMW Motorrad ディーラーについては、こちらのインターネットサイトをご参照ください：bmw-motorrad.com



警告

不適切に行われたメンテナンスや修理作業

損傷による事故の危険

- BMW Motorrad では、モーターサイクルに関する作業はBMW Motorrad ディーラーに依頼することをお勧めします。

ご使用のBMW モーターサイクルが常に最適な状態に保たれているようにするため、BMW Motorrad は、規定のメンテナンスインターバルを遵守することをお勧めします。

実施されるメンテナンスおよび修理作業については、本書の「サービス」の章でご確認ください。保証期間が満了した後で修理や点検を依頼される場合にも、それまで定期的に整備されていたことが必要条件になります。

216 サービス

BMW Motorrad サービスの内容につきましても、BMW Motorrad ディーラーにご確認ください。

BMW MOTORRAD サービス履歴

記入項目

実施したメンテナンス作業が整備手帳に記入されます。整備手帳の記入項目は、定期メンテナンスの証明になります。

車両の電子サービス履歴に記入が行われると、サービスに関するデータがドイツ・ミュンヘンにあるBMW AG 本部 IT システムに保存されます。

サービス履歴に記入されたデータは、車両所有者変更後、新しい所有者も見ることができます。BMW Motorrad ディーラーや専門の整備工場もサービス履歴に記載されているデータを見ることができます。

異議申し立て

車両所有者は、車両を所有する間BMW Motorrad ディーラーまたは専門の整備工場に対して、サービス履歴への記入およびそれに関わる車両データの保存および自動車メーカーへのデータ転送に関して異議を申し立てることができます。この場合、車両のサービス履歴の記入が行われなくなります。

BMW MOTORRAD モビリティサービス

BMW Motorrad の新車は、万が一のトラブル発生時にはBMW Motorrad エマージェンシーサービスによる各種のサービスを受けることができます(モバイルサービス、現場で対応可能な範囲での応急処置、車両の回送など)。

モビリティサービスの詳細につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

メンテナンス作業

BMW 納車前点検(PDI)

BMW 納車前点検(PDI) は、車両をお客様にお渡しする前に、BMW Motorrad ディーラーによって実施されます。

BMW 初回点検

500 km～ 1200 km の間に必ずBMW 初回点検を行ってください。

BMW Motorrad サービス

BMW Motorrad サービスは1年に1度実施されます。サービス項目は車両使用年数および走行した距離に応じて異なります。BMW Motorrad ディーラーがお客様にサービスの実施を確認し、次回のサービス時期を登録します。

1年間にかかなりの距離を走行する車両に関しては、場合によ

ては登録されている時期以前にサービスを実施する必要があります。その場合には、適合する最大限の走行距離が一般整備記録に追加で記入されます。次回のサービス時期の前にこの走行距離に達した場合には、予定を早めてサービスを実施する必要があります。

ディスプレイのサービス表示により、登録日の約1カ月前または登録距離の1000 km前に、次のサービスの時期が近づいていることが示されます。

サービスに関する詳しい情報については、以下をご覧ください：

bmw-motorrad.com/service

車両に必要なサービス範囲は、下記のメンテナンススケジュールで確認できます：

218 サービス

メンテナンススケジュール

	500 -1200 km 300 - 750 mls	10 000 km 6 000 mls	20 000 km 12 000 mls	30 000 km 18 000 mls	40 000 km 24 000 mls	50 000 km 30 000 mls	60 000 km 36 000 mls	70 000 km 42 000 mls	80 000 km 48 000 mls	90 000 km 54 000 mls	100 000 km 60 000 mls	12 months	24 months
①	X												
②												X	
③		X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X ^a	
④			X		X		X		X		X		
⑤			X		X		X		X		X		
⑥			X		X		X		X		X		
⑦				X			X			X			
⑧												X ^b	X ^b

- 1 BMW 初回点検
- 2 BMW Motorrad 標準サービス範囲
- 3 エンジンオイルを交換する(フィルター交換時)
- 4 バルブクリアランスを点検する
- 5 すべてのスパークプラグを交換する
- 6 エアクリーナーエレメントを交換する
- 7 テレスコピックフォークのオイル交換
- 8 システム全体のブレーキフルードを交換する

- a 1年に1回または10000 km ごと(どちらか先に該当した方)
- b 初回は1年後、その後は2年ごと

メンテナンスの確認

BMW Motorrad サービス標準範囲

次に、BMW Motorrad サービス標準範囲の作業が挙げられます。車両に該当するサービス範囲は、実際には異なる場合があります。

- BMW Motorrad 診断システムで車両テストを実施する
- クーラントレベルを点検する
- クラッチの遊びを点検／調整する
- ブレーキパッドとフロントブレーキディスクの摩耗点検
- リアブレーキパッドおよびブレーキディスクの摩耗を点検する
- フロント／リアのブレーキフルードレベルを点検する
- ブレーキライン、ブレーキホース、接続部の目視点検
- タイヤ空気圧およびトレッドの溝の深さを点検する
- チェーンドライブを点検し、潤滑する
- サイドスタンドがスムーズに動くか点検する
- メイン(センター) スタンドがスムーズに動くか点検する
- ステアリングヘッドベアリングを点検する
- 照明および信号装置を点検する
- エンジン始動抑止機能の機能点検
- 最終点検および走行安全性の点検
- BMW Motorrad 診断システムを用いて、サービス時期および残余走行距離をセットする
- バッテリー充電状態を点検する
- 車載書類に記載されているBMW Motorrad サービスについて確認する

220 サービス

BMW プリデリバリーチェック (PDI)

実施済み

日付 _____

押印、署名

BMW 初回点検

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

押印、署名

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

はい なし

BMW Motorrad サービス

エンジンオイルおよびフィルターの交換

バルブクリアランスの点検

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

テレスコピックフォークのオイル交換

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

注意事項

押印、署名

222 サービス

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

はい なし

BMW Motorrad サービス

エンジンオイルおよびフィルターの交換

バルブクリアランスの点検

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

テレスコピックフォークのオイル交換

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交

換

注意事項

押印、署名

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

はい なし

BMW Motorrad サービス

エンジンオイルおよびフィルターの交換

バルブクリアランスの点検

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

テレスコピックフォークのオイル交換

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

注意事項

押印、署名

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

はい なし

BMW Motorrad サービス

エンジンオイルおよびフィルターの交換

バルブクリアランスの点検

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

テレスコピックフォークのオイル交換

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交

換

注意事項

押印、署名

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

はい なし

BMW Motorrad サービス

エンジンオイルおよびフィルターの交換

バルブクリアランスの点検

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

テレスコピックフォークのオイル交換

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

注意事項

押印、署名

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

はい なし

BMW Motorrad サービス

エンジンオイルおよびフィルターの交換

バルブクリアランスの点検

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

テレスコピックフォークのオイル交換

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交

換

注意事項

押印、署名

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

はい なし

BMW Motorrad サービス

エンジンオイルおよびフィルターの交換

バルブクリアランスの点検

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

テレスコピックフォークのオイル交換

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

注意事項

押印、署名

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

はい なし

BMW Motorrad サービス

エンジンオイルおよびフィルターの交換

バルブクリアランスの点検

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

テレスコピックフォークのオイル交換

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交

換

注意事項

押印、署名

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

はい なし

BMW Motorrad サービス

エンジンオイルおよびフィルターの交換

バルブクリアランスの点検

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

テレスコピックフォークのオイル交換

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

注意事項

押印、署名

230 サービス

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

はい なし

BMW Motorrad サービス

エンジンオイルおよびフィルターの交換

バルブクリアランスの点検

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

テレスコピックフォークのオイル交換

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交

換

注意事項

押印、署名

電子式エンジン始動ロックシステム(イモビライザー)に関する認証	235
キーレスエントリーに関する認証	238
タイヤ空気圧コントロールに関する認証	242
TFTメーターパネル用認証	243

Declaration of Conformity

Radio equipment electronic immobiliser (EWS4)

For all countries without EU

Technical information

Frequency Band: 134 kHz
(Transponder: TMS37145 /
Type DST80, TMS3705
Transponder Base Station IC)
Output Power: 50 dB μ V/m

Manufacturer and Address

Manufacturer:
BECOM Electronics GmbH
Address: Technikerstraße 1,
A-7442 Hochstraß

Argentina

 **RAMATEL**

H-25246

Australia/New Zealand



R-NZ

Brunei



TA No: DTA-007061

United Arab Emirates

TRA
REGISTERED No:
ER89926/20

DEALER No:
DA96133I20

Philippiens



NTC

Type Approved

No.: ESD-RCE-2023298

South Africa



TA-2020/6131

APPROVED

India

ETA-SD-20200905860

Belarus



Indonesia

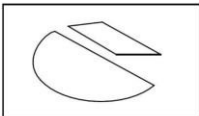
72790/SDPPI/2021

13349



Dilarang melakukan perubahan Spesifikasi yang dapat Menimbulkan gangguan fisik dan/atau elektromagnetik terhadap lingkungan sekitarnya

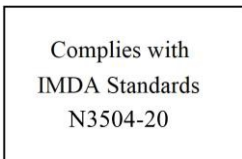
Paraguay



CONATEL

NR: 2020-11-I-0834

Singapore



Taiwan



低功 電波 射性電機管 辦法
第十二條 經型式認證合格之低
功率射頻電 機，非經許可，公
司、商號或使用者均不得擅自
變更頻率、加大功率或變更原
設計之特性及 功能。第十四條
低功率射頻電機之使用不得影
響飛航安全及干擾合法通信；
經發現有干 擾現象時，應立即
停用，並改善至無干擾時方得
繼續使用。前項合法通信，指
依電信法規定作業之無線電通
信。

Malaysia



RFCL/47A/0920/S(20-3358)

Israel

ספר אישור אלחוטי של משרד התקשורת הוא
51-7490
סמל להחליף את האנטנה המקורית של המכשיר
לא
עשות בו כל שינוי טכני אחר

United States (USA)

Contains FCC ID:

ODE-MREWS5012

FCC § 15.19 Labelling requirements

This device complies with part 15 of the FCC Rules and Industry Canada's licence-exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions:

- (1) this device may not cause interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

FCC § 15.21 Information to user

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

RF Exposure Requirements

To comply with FCC RF exposure compliance requirements, the device must be installed to provide a separation distance of at least 20 cm from all persons.

Serbia



P1620118300

Canada

Contains IC:

10430A-MREWS5012

This device complies with part 15 of the FCC Rules and Industry Canada license-exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions:

- (1) this device may not cause interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

Vietnam



A1109091120AF04A3

Certifications

BMW Keyless Ride ID Device



USA, Canada:

Product name: BMW Keyless Ride ID
Device FCC ID: YGOHUF5750
IC: 4008C-HUF5750



Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Canada:

Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

USA:

This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Argentina:

CNC COMISIÓN NACIONAL
DE COMUNICACIONES

H-17115

Declaration Of Conformity

We declare under our responsibility that the product

BMW Keyless Ride ID Device (Model: HUF5750)

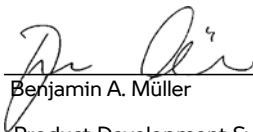
complies with the appropriate essential requirements of the article 3 of the R&TIE and the other relevant provisions, when used for its intended purpose. Applied Standards:

1. Health and safety requirements contained in article 3 (1) a)
 - EN 60950-1:2006+A11:2009+A1:2010+A12:2011; Information technology equipment-Safety
2. Protection requirements with respect to electromagnetic compatibility article 3 (1) b)
 - EN 301 489-1 (V1 .9.2, 09/2011), Electromagnetic compatibility and radio spectrum matters (ERM); Electromagnetic compatibility (EMC) standard for radio equipment and services; Part 1: Common technical requirements
 - EN 301 489-3 (V1.4.1, 08/2002) Electromagnetic compatibility and radio spectrum matters (ERM); Electromagnetic compatibility (EMC) standard for radio equipment and services; Part 3: Specific conditions for short range devices (SRD) operating on frequencies between 9 kHz and 40 GHz
3. Means of the efficient use of the radio frequency spectrum article 3 (2)
 - EN 300 220-1 & -2 (V2.4.1, 05/2012), electromagnetic compatibility and radio spectrum matters (ERM); Short range devices (SRD); Radio equipment to be used in the 25 MHz to 1000 MHz frequency range with power levels ranging up to 500 mW; Part 1: Technical characteristics and test methods. Part 2: Harmonized EN covering essential requirements under article 3.2 of the R&TIE directive

The product is labeled with the CE marking:

CE

Velbert, October 15th, 2013



Benjamin A. Müller

Product Development Systems
Car Access and Immobilization -
Electronics Huf Hülsbeck & Fürst
GmbH & Co. KG
Steeger Straße 17, D-42551
Velbert

Certification Tire Pressure Control (TPC)

FCC ID: MRXBC54MA4
IC: 2546A-BC54MA4

FCC ID: MRXBC5A4
IC: 2546A-BC5A4

This device complies with Part 15 of the FCC Rules and with Industry Canada license-exempt RSS standard(s).

Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

WARNING: Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment. The term "IC:" before the radio certification number only signifies that Industry Canada technical specifications were met.

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes:

- (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et
- (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

WARNING: Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment. The term "IC:" before the radio certification number only signifies that Industry Canada technical specifications were met.

Declaration of Conformity

Radio equipment TFT instrument cluster

For all Countries without EU

Technical information

BT operating frq. Range:
2402 – 2480 MHz
BT version: 4.2 (no BTLE)
BT output power: < 4 dBm
WLAN operating frq. Range:
2412 – 2462 MHz
WLAN standards:
IEEE 802.11 b/g/n
WLAN output power: < 20 dBm

Manufacturer and Address

Manufacturer:
Robert Bosch Car Multimedia
GmbH
Address: Robert Bosch Str. 200,
31139 Hildesheim, Germany

Turkey

Robert Bosch Car Multimedia
GmbH, ICC6.5in tipi telsiz
sistemini 2014/53/EU
nolu yönetmeliğe uygun olduğunu
beyan eder. AB Uygunluk
Beyanı'nın tam metni, aşağıdaki
internet adresinden görülebilir:
<http://cert.bosch-carmultimedia.net>

Argentina

 **RAMATEL**

C-24711

Brazil

Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito a proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário.

Canada

This device complies with Industry Canada's licence-exempt RSSs and part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) this device may not cause interference, and
- (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

Korea

적합성평가에 관한 고시
R-CMM-RBR-ICC65IN
상호 : Robert Bosch Car
Multimedia GmbH모델명 :
ICC6.5in
기자재명칭 : 특정소출력 무선기
기
(무선데이터통신시스템용 무선기
기)
제조사 및 제조국가 : Robert
Bosch Car Multimedia GmbH /
포르투갈
제조년월 : 제조년월로 표기
이 기기는 업무용 환경에서 사용
할 목적으로 적합성평가를 받은
기기로서 가정용 환경에
서 사용하는 경우 전파간섭의 우
려가 있습니
다.

Mexico

La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones:

- (1) es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y
- (2) este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.

Taiwan, Republic of

根據 NCC 低功率電波輻射性電機
管理辦法 規定: 第十二條
經型式認證合格之低功率射頻電
機, 非經許可, 公司、商號或使用
者均不得擅自變更頻率、加大功率
或變更原設計之特性及功能。
第十四條
低功率射頻電機之使用不得影響飛
航安全及干擾合法通信; 經發現有
干擾現象時, 應立即停用, 並改善
至無干擾時方得繼續使用。
前項合法通信,
指依電信法規定作業之無線電通
信。
低功率射頻電機須忍受合法通信或
工業、科學及醫療用電波輻射性電
機設備之干擾。

Thailand

เครื่องโทรคมนาคมและอุปกรณ์ นี้

มีความสอดคล้องตามข้อกำหนดของ กทช.

(This telecommunication equipments is in compliance with NTC requirements)

United States (USA)

This device complies with Industry Canada's licence-exempt RSSs and part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) this device may not cause interference, and
- (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

246 索引

A

ABS

- 技術情報, 130
- 自己診断, 114
- 表示, 40

ASC

- インジケーター／警告灯, 41
- 技術情報, 133
- 自己診断, 114
- 操作する, 57
- 操作部, 17

B

- Bluetooth, 86
- ペアリング, 86

D

DTC

- インジケーター／警告灯, 41
- 技術情報, 133
- 自己診断, 115
- 操作する, 57

DWA, 37

- 仕様(諸元), 208

Dynamic Brake Control, 138

- 技術情報, 138

Dynamic ESA

- 操作する, 58
- 操作部, 17

K

Keyless Ride, 34

- イグニッションを OFF にする, 51
- イグニッションを ON にする, 50
- 警告表示, 33, 34
- ステアリングロックをロックする, 50

タンクキャップをロック解除する, 123, 124

無線キーのバッテリーが空になっているか、または無線キーの紛失, 51

L

Laptimer, 66

- 時間計算を終了する, 67
- タイム計測を開始する, 66
- 調整する, 67

P

- Pairing, 86
- Pre-Ride-Check, 113

U

USB 充電ソケット

- 車両における位置, 14

あ

アクセサリ
一般的な情報, 180

値

- 表示, 27
- アダプティブヘッドライト, 140
- 技術情報, 140
- 安全に関する注意事項
- ブレーキ, 118
- ライディングにあたって, 108

い

イグニッション

- OFF にする, 49
- ON にする, 48

イグニッションキルスイッチ

- 操作する, 54
- 操作部, 18

インジケーター／警告灯, 19
全体図, 22

う

- ウインカー
 - 操作する, 56
 - 操作部, 17

え

- エンジン, 38
 - エンジンエレクトロニクス警告表示, 38
 - エンジン制御系警告表示, 39
 - 駆動システム故障警告灯, 38
 - 始動, 112
 - 仕様(諸元), 203
- エンジンオイル
 - オイルレベルゲージ, 14
 - 充填レベルを点検する, 146
 - 仕様(諸元), 202
 - 注入口, 14
 - 補充する, 148
- エンジン回転数表示, 19
 - エンジン回転数表示, 83
- エンジン始動ロック
 - スペアキー, 53
- エンジンブレーキトルクレギュレーター, 134

お

- お手入れ
 - クローム, 194
 - ペイント保護コーティング, 195
- オンボードコンピューター, 92

か

- 外気温度
 - 外気温度警告, 33
 - 表示, 33
- 型式プレート
 - 車両における位置, 15

き

- キー, 48, 49
- 記号と意味, 4
- ギヤチェンジ
 - シフトアップ推奨, 84
 - シフトポイント用フラッシュ, 118
- ギヤボックス
 - 仕様(諸元), 204
- 給油する, 122
 - Keyless Ride 装備, 123, 124
 - 燃料品質, 121
- 緊急ブレーキ, 119

く

- クーラント
 - 異常高温用警告表示, 37
 - 充填レベル表示, 15
 - 充填レベルを点検する, 154
 - 補充する, 154
- 駆動システム故障警告灯, 38
- クラッチ
 - 遊びを調整する, 153
 - 遊びを点検する, 153
 - 機能を点検する, 153
 - クラッチレバーを調整する, 101
 - 仕様(諸元), 203
- グリップヒーター
 - 操作する, 72
 - 操作部, 18
- クルーズコントロール
 - 操作する, 64

け

- 警告灯, 19
 - 全体図, 22
- 警告表示, 38
 - ABS, 40
 - ASC, 41

248 索引

- ASC/DTC, 41
- DWA, 37
- Keyless Ride, 34
- My Motorcycle, 89
- エンジンエレクトロニクス, 38
- エンジンコントロール, 39
- 外気温度警告, 33
- ギヤが学習されていない, 44
- 駆動システム故障警告灯, 38
- 車両電装システム電圧, 34, 35
- 盗難警報装置, 37
- 表示, 27
- フューエルリザーブ容量, 43
- ライトバルブの故障, 36
- 冷却水温, 37
- 警告表示一覧, 29
- ケース, 181
- こ**
- コンビネーションスイッチ
 - 左側面, 17
 - 右側面, 18
- さ**
- サービス, 215
 - サービス履歴, 216
- サービス表示, 44
- サスペンション
 - 仕様(諸元), 205
- し**
- シート
 - 取り付ける, 72
 - 取り外す, 72
 - ロック, 14
- 始動, 112
 - 操作部, 18
- シフトアシスト
 - 技術情報, 139
 - ギヤが学習されていない, 44
 - 走行, 117
- シフト表示, 68
 - ONにする / OFFにする, 68
 - 調整する, 68
- 締め付けトルク, 200
- 車両識別番号
 - 車両における位置, 15
- 車両電装システム電圧
 - 警告表示, 34, 35
- ジャンプスタート, 170
- 重量
 - 仕様(諸元), 210
 - 積載荷重一覧, 16
- 仕様(諸元)
 - 一般的な情報, 5
 - エンジン, 203
 - エンジンオイル, 202
 - 規格, 5
 - ギヤボックス, 204
 - クラッチ, 203
 - サスペンション, 205
 - 重量, 210
 - スパークプラグ, 208
 - 寸法, 209
 - 性能, 210
 - 電装系, 207
 - 盗難警報装置, 208
 - 燃料, 202
 - バッテリー, 208
 - ブレーキ, 206
 - フレーム, 205
 - ホイールとタイヤ, 206
 - ライトバルブ, 208
 - リヤホイールドライブ, 204

ショックアブソーバー
調整エレメント, 14

診断コネクタ—
固定する, 177
車両における位置, 16
外す, 177

す

ステアリングロック
ロックする, 48
ステータスバー(上側)
調整する, 81, 82
スパークプラグ
仕様(諸元), 208
スピードメーター, 19
スプリングプリロード, 60
調整エレメント, 15
調整する, 102

寸法

仕様(諸元), 209

せ

制限速度情報
ON または OFF にする, 83

性能

仕様(諸元), 210

全体図

My Motorcycle, 89
TFT ディスプレイ, 23, 24
インジケーター／警告灯, 22
シート下, 16
左コンビネーションスイッチ, 17
左側面, 14
右コンビネーションスイッチ, 18
右側面, 15
メーターパネル, 19

そ

走行モード, 60
走行モードPRO を設定する, 63
走行モードの事前選択, 61
設定する, 61
操作焦点
交換する, 81
装備, 5
それまでで最高のラップ, 68

た

タイヤ
充填圧, 207
充填圧を点検する, 155
仕様(諸元), 206
推奨, 156
トレッドの溝の深さを点検する, 155
慣らし走行, 116
タンクキャップ緊急ロック解除
機構, 125, 126

ち

チェーン
潤滑する, 167
たるみ量を調整する, 168
たるみ量を点検する, 167
摩耗状態を点検する, 169
チェックコントロール
ダイアログ画面, 27
表示, 27
駐車, 120

つ

ツールキット
車両における位置, 16

250 索引

- て**
TFT ディスプレイ, 19
全体図, 23, 24
操作する, 80, 81
操作部, 17
表示を選択する, 77
- 電源ソケット
使用上の注意, 180
- 電装系
仕様(諸元), 207
- 電話
操作する, 95
- と**
盗難警報装置(DWA)
インジケーター/警告灯, 19
警告表示, 37
操作する, 69
- 時計
調整する, 85
- トップケース
操作する, 182
- トラクションコントロール
ASC, 133
DTC, 133
- トラブルシューティング, 198
- な**
ナビゲーション
操作する, 92
- 慣らし走行, 116
- に**
荷物
積載に関する注意, 109
- ね**
燃料
Keyless Ride 装備の場合の給油, 123, 124
給油する, 122
仕様(諸元), 202
燃料品質, 121
- は**
パーキングライト, 55
- ハザードランプ
操作する, 55
操作部, 17
- バッテリー
仕様(諸元), 208
接続しているバッテリーを充電する, 172
取り付ける, 174
取り外す, 173
外したバッテリーを充電する, 173
ボードエレクトリック電源電圧に関する警告表示, 34, 35
メンテナンスに関する注意, 172
- バルブ
LEDバルブを交換する, 170
仕様(諸元), 208
ライトバルブの故障用警告表示, 36
- ひ**
Pure Ride
全体図, 23
- ヒューズ
交換する, 175
車両における位置, 16
- ふ**
フォロミーホームライト, 55

- フューエルリザーブ容量
 - 警告表示, 43
 - 航続可能距離, 84
- ブレーキ
 - ABS Pro の詳細, 132
 - ABS Pro は走行モードに対応, 119
 - 安全に関する注意事項, 118
 - 機能を点検する, 148
 - 仕様(諸元), 206
 - ブレーキレバーを調整する, 102
- ブレーキパッド
 - 慣らし走行, 116
 - フロントを点検する, 149
 - リヤを点検する, 150
- ブレーキフルード
 - フロント充填レベルを点検する, 150
 - フロントリザーバタンク, 15
 - リヤ充填レベルを点検する, 152
 - リヤリザーバタンク, 15
- フレーム
 - 仕様(諸元), 205
- フロントホイールスタンド
 - 取り付ける, 145
- へ
- ヘッドライト
 - 光軸, 100
 - 光軸を調整する, 101
- ほ
- ホイール
 - サイズ変更, 156
 - 仕様(諸元), 206
 - フロントホイールを取り付ける, 159
 - フロントホイールを取り外す, 156
 - ホイールリムを点検する, 156
 - リヤホイールを取り付ける, 165
 - リヤホイールを取り外す, 163
- ホーン, 17
- ボルト, 200
- 本書の記述について, 6
- み
- ミラー
 - 調整する, 100
- め
- メンテナンス
 - メンテナンススケジュール, 218
 - メンテナンススケジュール, 216
 - メンテナンスの確認, 219
- メーターパネル
 - 周囲輝度センサー, 19
 - 全体図, 19
- メディア
 - 操作する, 94
- メニュー
 - 呼び出す, 80
- も
- モーターサイクル
 - お手入れ, 190
 - 固定する, 126
 - 再使用, 195
 - 清掃する, 190
 - 駐車, 120
 - 長期保管, 195
- モビリティサービス, 216

252 索引

ら

ライト

アダプティブヘッドライト, 140

操作部, 17

パーキングライトを操作する, 55

ハイビームを操作する, 55

パッシングライトを操作する, 55

フォロミーホームライト, 55

ポジション／パーキングライト, 54

ロービーム, 54

り

リサイクル, 214

リモートコントロール
バッテリーを交換する, 52

リヤホイールスタンド
取り付ける, 146

リヤホイールドライブ
仕様(諸元), 204

ろ

ローダウンサスペンション
制限, 108

ご購入いただきました車両の装備、アクセサリー、仕様は、本書の説明や図と異なる場合があります。これらについてのクレームはご容赦ください。

本書に記載されている寸法、重量、燃費、性能などのデータには、一般に認められている許容誤差が含まれています。

デザイン、装備、アクセサリーなどは、製品を改良するために予告なく変更することがあります。印刷の誤りや誤字、脱字に起因するクレームはご容赦ください。

© 2021 Bayerische Motoren
Werke Aktiengesellschaft
80788 München, Germany

本書はその全部について、たとえ一部であっても、BMW Motorrad After Sales から書式による承諾を得た場合を除き、転載や複製することは禁じられています。
オリジナル Rider's Manual、
Printed in Germany

燃料補給用データ：

燃料

推奨フューエルグレード	無鉛プレミアムガソリン(ハイオク) (最大 15 %エタノール、E15) 95 ROZ/RON 90 AKI
-------------	---

フューエルタンク容量	約 13 l
------------	--------

フューエルリザーブ容量	約 3.5 l
-------------	---------

タイヤ空気圧

タイヤ空気圧(フロント)	2.5 bar、タイヤ冷間時
--------------	----------------

タイヤ空気圧(リヤ)	2.9 bar、タイヤ冷間時
------------	----------------

ご使用の車両に関する詳細情報については、こちらのサイトをご覧ください：
bmw-motorrad.com

